

Portable Grand™

DGX-500

DGX-300

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはヤマハ Portable Grand™ DGX-500/300 をお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。DGX-500/300 のさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。
なお、読み終わったあとも、保証書とともに大切に保管して、
操作のしかたがわからないときにお読みください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様をご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源 / 電源アダプター



電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターを使用する場合は、必ず指定のもの (PA-5D) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

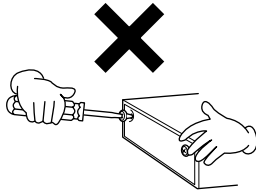
禁止

分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。
感電や火災、または故障の原因になります。

禁止



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)

必ず実行

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

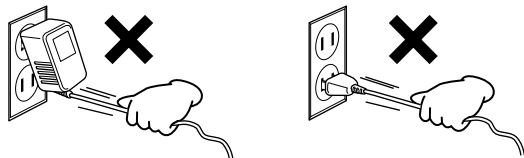
注意

電源 / 電源アダプター



電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

必ず実行



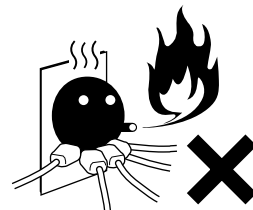
長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

必ず実行



たこ足配線をしな。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

禁止



乾電池



乾電池はすべて+ / - の極性表示どおりに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、火災、液漏れのおそれがあります。

必ず実行



必ず実行

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、火災、液漏れの原因になります。



禁止

乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが目に入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。



禁止

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合や乾電池を使い切った場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



禁止

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。



禁止

乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。

設置



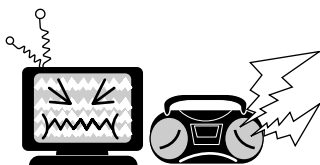
禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。



必ず実行

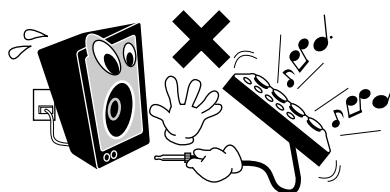
本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。

接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

使用時の注意



ご注意ください

本体のすき間に手や指を入れない。お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネルや鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをした原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

禁止



データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合は、電源を切っても内部のデータは保持されます。乾電池もアダプターもない状態では、このデータは消えてしまいます。大切なデータは、フロッピーディスクに保存してください。乾電池を交換する場合は、データを消してしまわないために、電源アダプターを接続した状態で行ってください。

フロッピーディスクのバックアップ



必ず実行

保存したフロッピーディスクは万一の事故に備えて、予備のフロッピーディスクにバックアップとして保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源アダプターをご使用の場合、電源スイッチを切った状態（電源スイッチが「STANDBY」の状態）でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

使用済みの乾電池は、各自自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本文中のイラストは、ことわりのない限り DGX-500 を使用しています。DGX-300 とは鍵盤数が異なりますのでご注意ください。（DGX-500：88 鍵、DGX-300：76 鍵）

デモ曲について

曲名： Look Of Love
作曲者： Bacharach/David 0093316
著作権者： Screen Gems - EMI Music Ltd

曲名： Ribbon In The Sky
作曲者： Wonder 0404386
著作権者： Black Bull Music / Jobete Music Co Ltd

曲名： Just The Way You Are
作曲者： Joel 0273671
著作権者： EMI MUSIC PUBLISHING LTD

ご注意： この曲の権利者の許諾なく、複製したり、公の場で演奏したり、放送することは、法律で禁じられています。

この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVE データ、音声記録データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

- ・ Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

DGX-500/300の特長

ミュージックデータベース 46ページ

演奏したいジャンルの音楽を選ぶことにより、自動的にそのジャンルにあったパネル設定(楽器や自動伴奏)になります。

フロッピーディスクドライブ 67ページ

演奏データをフロッピーディスクにセーブ(保存)したりロード(読み出す)して再生することができます。

同梱のディスク、別売りのGMソフトやYAMAHA DOC(ディスクオーケストラコレクション)ソフトを再生することができます。

また、Standard MIDI File(SMF) format 0のデータを再生、保存することもできます。



GM 67ページ

音楽表現の可能性を広げるMIDI機能(GMシステムレベル1対応)。



XGLite

「XGLite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGLite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGLite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



グランドピアノ 23ページ

ワンタッチでピアノの音色に切り替える機能です。

演奏した音の音程をリアルタイムに変えるピッチベンドホイール。

余裕の鍵盤数(DGX-500: 88鍵、DGX-300: 76鍵)+鍵盤を弾く強さで音量をコントロールできるタッチレスポンス付きの鍵盤を採用。

高音質でバラエティ豊かな楽器122音色+12ドラムキット+480XG+5DJ音色。最大発音数は32音。

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる135種類のスタイル機能。

最大16種類のパネル設定(楽器・スタイルなどの設定)が記憶でき、演奏中もワンタッチで呼び出せるレジストレーション機能。

演奏に効果的なデジタルエフェクト(リバーブ/DSP/ハーモニー)を内蔵。

弾いた演奏をテープレコーダーに録音するように記録できるソングメモリー機能。

ユーザーソング5曲、6トラック(5メロディトラック+1伴奏トラック)

パネルの設定状態、コード表示などを一目で確認できる大型液晶ディスプレイ。

自分の感覚でテンポの設定ができるタップテンポ機能。

もくじ

演奏の準備	8
電源の準備	8
電源を入れる	8
ヘッドフォン / 外部出力端子について	9
フットスイッチ端子について	9
MIDI 端子について	9

各部の名称	10
--------------	----

早見表

ステップ 1 楽器	12
グランドピアノの音で弾いてみましょう	12
いろいろな音色で弾いてみましょう	13
ステップ 2 ソング	14
ソングを鳴らしましょう	14
ディスクのソングを鳴らしましょう	15
ステップ 3 ミュージックデータベース	16
ミュージックデータベース	16
コードを調べよう (コードディクショナリー)	17
ステップ 4 レッスン	18
レッスン機能を使ってみましょう	18

基本操作とディスプレイの見かた	20
------------------------	----

グランドピアノボタンを押して演奏しましょう	23
------------------------------	----

メトロノームを使用して練習する	23
テンポの設定	23
メトロノームの拍子の設定	24
メトロノーム音量の設定	24

楽器 (音色) を選んで演奏しましょう	25
----------------------------	----

楽器を選ぶ	25
ソングやスタイルに最適な楽器を選ぶ (ワンタッチセッティング)	26
デュアルボイス	26
メインボイスとデュアルボイスの設定	27
スプリットボイス	28
スプリットポイントの変更	28
トランスポーズ	29
チューニング	29
ピッチベンドレンジの設定	30
タッチレスボンスのオン / オフ	31
タッチ感度を設定する	31

効果を付けて演奏しましょう	32
----------------------	----

リバーブのタイプを選ぶ	32
DSP のタイプを選ぶ	33
ハーモニーのオン / オフとタイプを選ぶ	34

いろいろなスタイルで演奏しましょう	35
--------------------------	----

スタイルを選ぶ	35
スタイルのスタート	36
シンクロスタート	36
スタート	36
タップスタート	37
スタイルのストップ	37
テンポの調整	38
タップ機能	38
伴奏コードの押さえ方	39
シングルフィンガー	39
フィンガード	39
コードディクショナリーでコードを調べる	41
コード (和音) について	42
スタイルに合わせてメロディ演奏	43
スタイル音量の設定	43
スタイルパターンの切り替え	44
イントロ	44
メイン A, B	44
エンディング	45

ミュージックデータベースを使って演奏してみよう	46
--------------------------------	----

ミュージックデータベース設定内容	48
------------------	----

パネルの設定を記憶させましょう (レジストレーションメモリー)	49
--	----

パネル設定を記録する	49
記録したパネル設定を呼び出す	50

ソングを鳴らしましょう	51
--------------------	----

デモソングを聞くには	51
好きなソングを 1 曲ずつ聞くには	51
ソングのメロディ音色を変更する (メロディ音色の変更)	52
テンポの調整	53
タップ機能	53
ソング音量	54
くり返し練習	55

ソングを弾いてみましょう (ソングレッスン)	56
-------------------------------	----

レッスンを始めましょう	56
レッスントラックの選択	58
レッスン 1 (タイミング)	58
レッスン 2 (ウェイトイング)	59
レッスン 3 (マイナスイオン)	60
レッスン 4 (ボースハンド)	60
採点	61

ソングのトラック構成について覚えましょう	62
-----------------------------	----

録音しましょう	63
----------------	----

演奏を録音する	63
ソングの消去	65
ソングクリア	65
トラッククリア	66

ディスクを活用しましょう	67
---------------------	----

ディスクのソングを鳴らす	69
セーブ	70
SMF Format 0 でセーブする	72
ロード	73
ユーティリティ - デリート	74
ユーティリティ - フォーマット (フロッピーディスクの初期化)	75
未フォーマットのフロッピーディスクのフォーマット	75
フォーマット済みのフロッピーディスクのフォーマット	76

MIDI 機器を接続して演奏しましょう	78
----------------------------	----

MIDIって何?	78
パーソナルコンピューターと接続する	80
ローカルオン / オフを設定する	81
DGX-500/300 のパネル設定を送信する (イニシャルセント)	82
クロックを設定する	83

バックアップデータと初期化 (イニシャライズ) の方法	84
------------------------------------	----

バックアップデータ	84
初期化 (イニシャライズ) の方法	84

同梱ディスクの内容	84
-----------	----

楽器リスト	85
最大同時発音数について	85

スタイルリスト	92
---------	----

ミュージックデータベースリスト	93
-----------------	----

ドラムキットリスト	94
-----------	----

エフェクトタイプリスト	96
-------------	----

MIDI インプリメンテーションチャート	98
エフェクトマップ	100

故障かな? と思ったら	101
-------------	-----

キーボードスタンドの組み立てかた (DGX-500 のみ)	102
-------------------------------	-----

オプション (別売) 商品のご紹介	105
-------------------	-----

仕様一覧	106
------	-----

インデックス	107
--------	-----

保証とアフターサービス	108
-------------	-----



演奏の準備

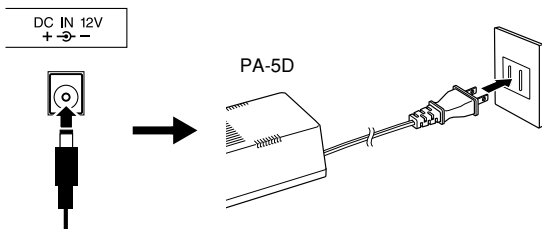
電源を入れる前に必要な準備について説明します。

■ 電源の準備

DGX-500/300は電源として電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている)ことを確認してください。
 - 電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプター PA-5D をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分ご注意ください。
- ② アダプターの DC プラグをリアパネルの DC IN 12V (電源アダプター接続) 端子にさし込みます。
- ③ アダプターの AC プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。
 - 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

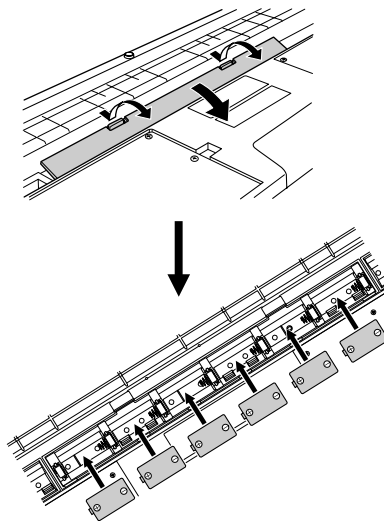


乾電池を使うときは

- ① DGX-500/300 を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池ブタを閉めます。

メモ

● 乾電池が入っている状態で、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

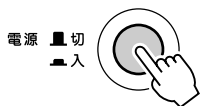


乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりディスプレイの表示が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

- 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。
- 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。
- 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。
- フロッピーディスクドライブを使用する場合(ソングの録音/再生やデータのセーブ、ロードなど)、特に電力消費が大きいため、電源アダプターのご使用をおすすめします。乾電池でご使用中に、乾電池が消耗すると、ディスクに録音/セーブしようとしたデータだけでなく、内蔵メモリーに録音されていたユーザーソング、レジストレーションメモリーなどのデータも失われますので、ご注意ください。
- スタンドにキーボードをのせたままの状態、電池のふたを開けないでください。乾電池が落ちてくる恐れがあり、危険です。電池のふたを開けるときは、必ずキーボードを裏返しにした状態で開けてください。

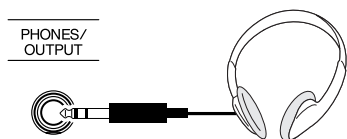
■ 電源を入れる

[電源入/切](STANDBY/ON)スイッチを押すと、電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。



- スイッチが「切」の状態でも微電流が流れています。DGX-500/300 を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。

■ ヘッドフォン / 外部出力端子について

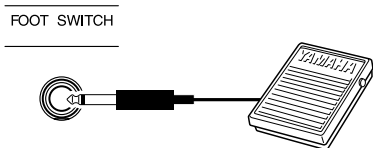


接続すると自動的に DGX-500/300 のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT 端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT 端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、DGX-500/300 の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。
- ❗ DGX-500/300 を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

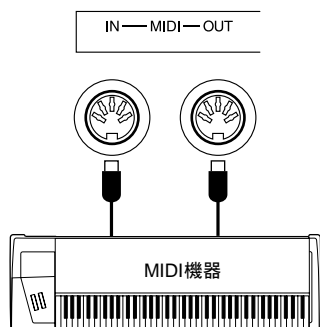
■ フットスイッチ端子について



フットスイッチ (FC5 または FC4) をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン / オフができます。DGX-500 には FC5 が同梱されています。DGX-300 のお客様は別途お買い求めください。(105 ページ参照)

- メモ**
- ・フットスイッチを使用するときは、FOOT SWITCH 端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
 - ・フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

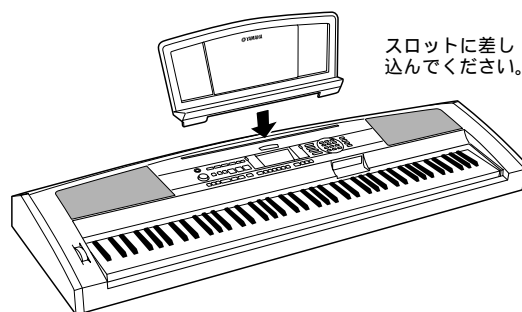
■ MIDI 端子について



MIDI IN 端子は外部の MIDI 機器から MIDI 信号を受信します。MIDI OUT 端子は DGX-500/300 から MIDI 信号 (DGX-500/300 で演奏した音符やキーをたたいた強さなど) を他の機器に送ります。

- ❗ MIDI ケーブルは楽器店などでお買い求めください。
- ・MIDI ケーブルは 15m が限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

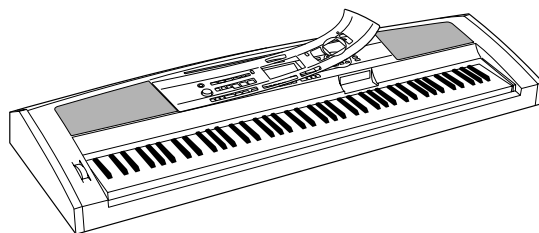
譜面立ての取り付け方



スロットに差し込んでください。

和文シート

付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



同梱品について

DGX-500/300 の同梱品を確認してください。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・本体 ・電源アダプター ・譜面立て ・フロッピーディスク ・和文シート | <ul style="list-style-type: none"> ・フットスイッチ (DGX-500 のみ) ・スタンド (DGX-500 のみ) ・取扱説明書 ・ソングブック ・保証書 |
|--|--|



各部の名称

フロントパネル

- ① [電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチ 8ページ
- ② [全体音量](MASTER VOLUME)コントロール 20ページ
- ③ [タッチレスポンス](TOUCH)ボタン 31ページ
- ④ [ハーモニー](HARMONY)ボタン 34ページ
- ⑤ [スプリット](SPLIT)ボタン 34ページ
- ⑥ [デュアル](DUAL),
[設定 ▲/▼](SETTING ▲/▼)ボタン 26ページ
- ⑦ メニュー [L], [R]ボタン 20ページ
- ⑧ [デモ](DEMO)ボタン 51ページ
- ⑨ レッスン[左手], [右手]ボタン 56ページ
- ⑩ [コードディクショナリー](DICTIONARY)ボタン 41ページ
- ⑪ [メトロノーム](METRONOME)ボタン 23ページ
- ⑫ [グランドピアノ](PORTABLE GRAND)ボタン 23ページ
- ⑬ [SONG]ボタン 51ページ
- ⑭ [STYLE]ボタン 35ページ
- ⑮ [VOICE]ボタン 25ページ
- ⑯ [M.D.B.](ミュージックデータベース)ボタン 46ページ
- ⑰ 数字ボタン[0]~[9], [+], [-] 21ページ

伴奏のとき

- ⑱ [伴奏 オン/オフ](ACMP)ボタン 36ページ
- ⑲ [シンクロストップ](SYNC STOP)ボタン 36ページ
- ⑳ [シンクロスタート](SYNC START)ボタン 36ページ
- ㉑ [スタート/ストップ](START/STOP)ボタン 36ページ
- ㉒ [イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタン 44ページ
- ㉓ [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタン 44ページ

ソングのとき

- ⑳ [くり返し練習](A-B REPEAT)ボタン 55ページ
- ㉑ [一時停止](PAUSE)ボタン 52ページ
- ㉒ [スタート/ストップ](START/STOP)ボタン 52ページ
- ㉓ [巻戻し](◀REW)ボタン 52ページ
- ㉔ [早送り](FF▶)ボタン 52ページ

- ㉕ [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタン 53ページ
- ㉖ ソングメモリー (SONG MEMORY)
[録音](REC), [1]~[5], [A]ボタン 64ページ
- ㉗ レジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY)
[メモリー](MEMORY),
[1],[2],[バンク](BANK)ボタン 49ページ
- ㉘ [ディスクドライブ](DISK DRIVE) 67ページ
- ㉙ ディスクコントロールボタン 67ページ
- ㉚ [ピッチベンド](PITCH BEND)ホイール 30ページ

リアパネル

- ㉛ MIDI IN/OUT端子 9ページ
- ㉜ FOOT SWITCH(フットスイッチ)端子 9ページ
- ㉝ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子 9ページ
- ㉞ DC IN 12V(電源アダプター)端子 8ページ

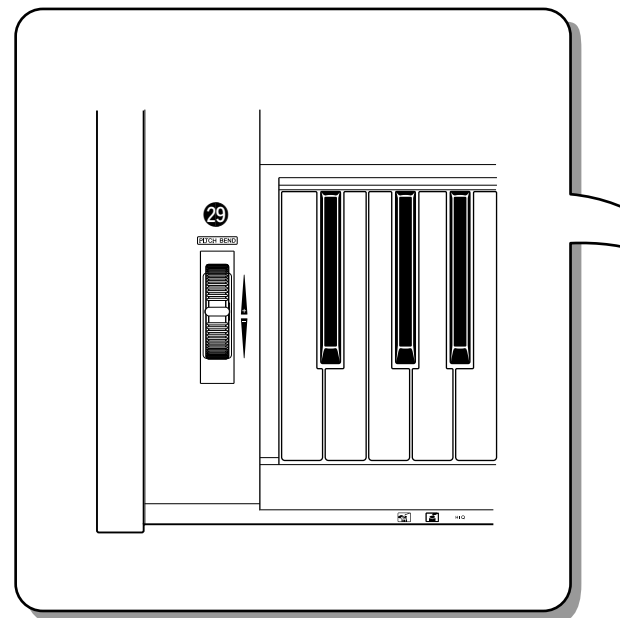
ソングカテゴリリスト スタイルカテゴリリスト

ソング
001-003 デモ
004-008 初音に入り
009-018 オークストラ
019-038 ピアニスト
039-068 練習曲
069-082 デュエット

083-100 コード レッスン
101- ディスク
201 ユーザー1
202 ユーザー2
203 ユーザー3
204 ユーザー4
205 ユーザー5

スタイル
001-010 8ビート
011-016 16ビート
019-026 バラード
027-040 タンゴ
041-047 ディスコ
048-060 スワング&ジャズ

061-070 リズム
071-077 カント
078-089 ラテン
090-100 ホール
101-111 トラデ
112-118 ワルツ
119-123 DJ



楽器カテゴリーリスト

ミュージックデータベースカテゴリーリスト

ム&ブルース 124-135 ピアニスト
トリー 136 ディスク
ン
ルルーム
ディショナル
ツ



楽器

001-007 ピアノ
008-013 エレピ
014-026 オルガン
027-030 アコーディオン
031-040 キター
041-048 ベース

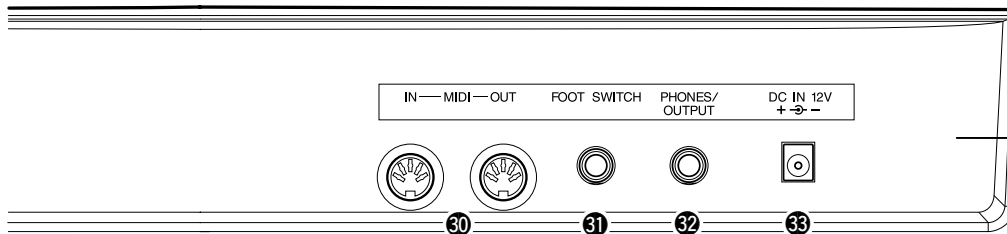
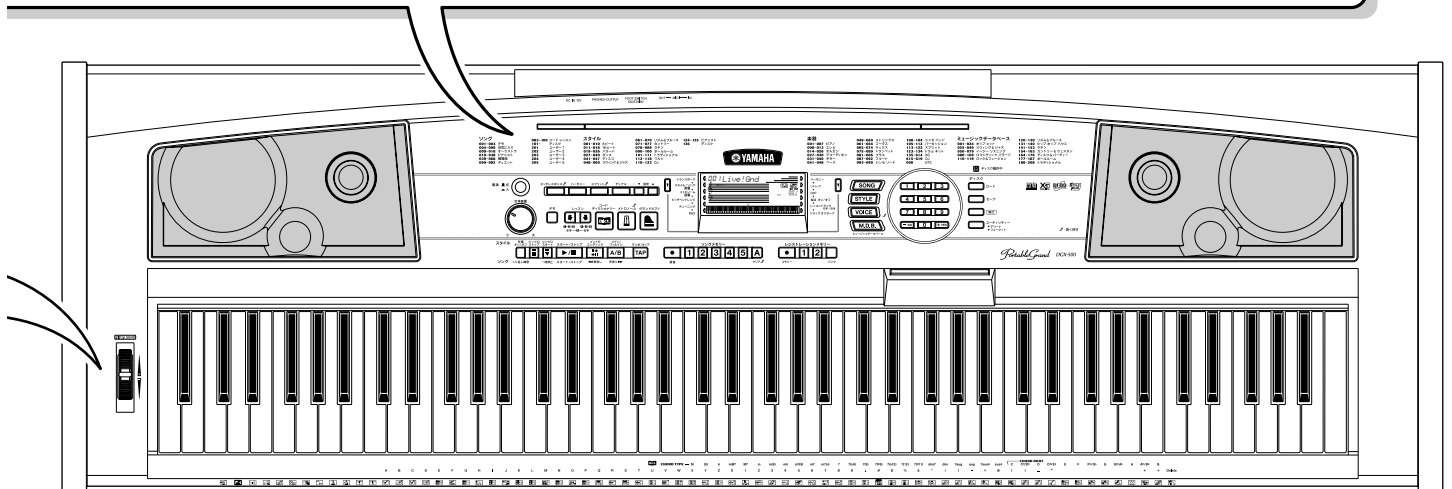
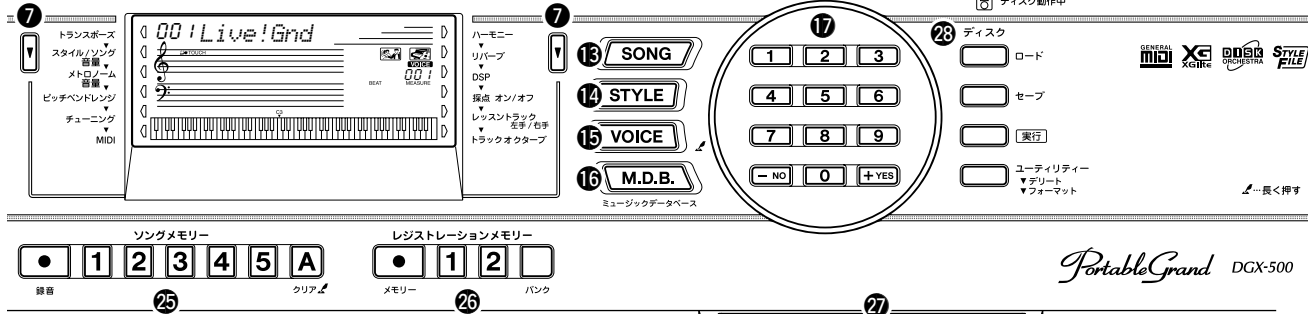
049-060 ストリングス
061-064 コーラス
065-074 サックス
075-080 トランペット
081-086 ブラッ
087-092 フルード
093-099 シンセリード

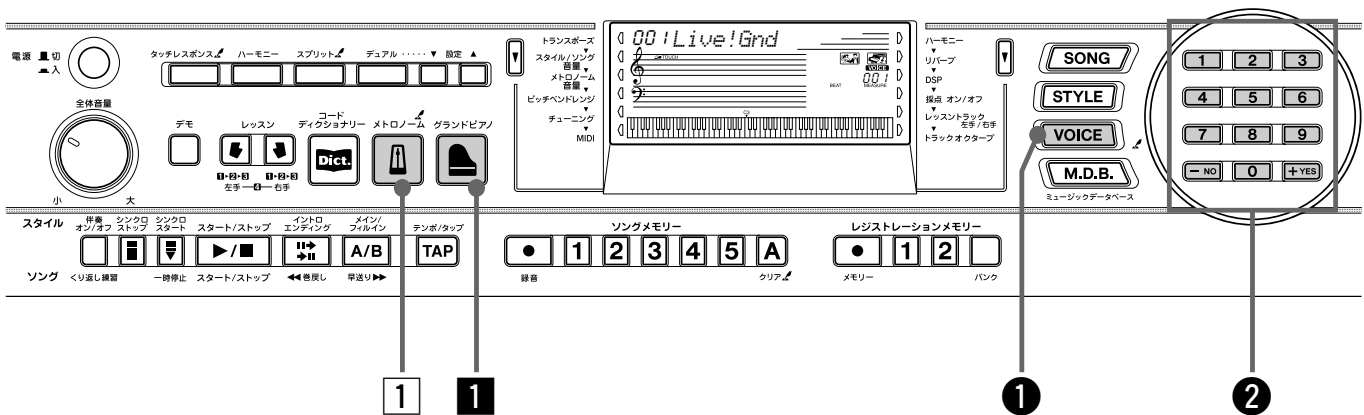
100-104 シンセパッド
105-112 パーカッション
113-122 スプリット
123-134 ドラムキット
135-614 XG
615-619 DJ
000 OTS

ミュージックデータベース

001-024 ポップヒット
025-049 スウィング&ジャズ
050-079 イージーリスニング
080-109 ロマンティックバラード
110-119 ロック&フュージョン

120-130 リズム&ブルース
131-140 ヒップホップハウス
141-153 ラテン
154-163 カントリー&ウェスタン
164-176 ディスコ&パーティー
177-187 ホールルーム
188-208 トラディショナル





グランドピアノの音で弾いてみましょう

[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押すと、ピアノ演奏用に切り替わります。

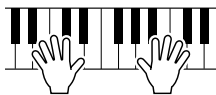
- 1 [グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押します。

グランドピアノ



00!Live!Grnd

- 2 演奏しましょう。



詳しくは23ページをご覧ください。

メトロノームを鳴らしながら練習しましょう

- 1 [メトロノーム](METRONOME) ボタンを押します。



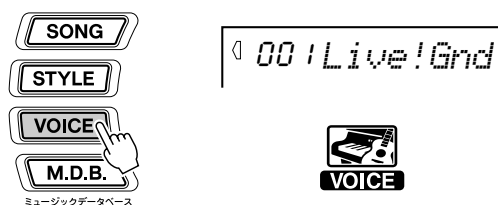
もう一度押すとメトロノームが止まります。

詳しくは23ページをご覧ください。

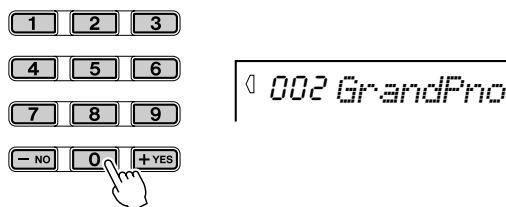
いろいろな音色で弾いてみましょう

DGX-500/300 には 619 種類の楽器 (音色) が入っています。好みの楽器を選んで弾いてみましょう。

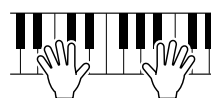
① [VOICE]ボタンを押します。



② 楽器を選びます。



③ 演奏しましょう。



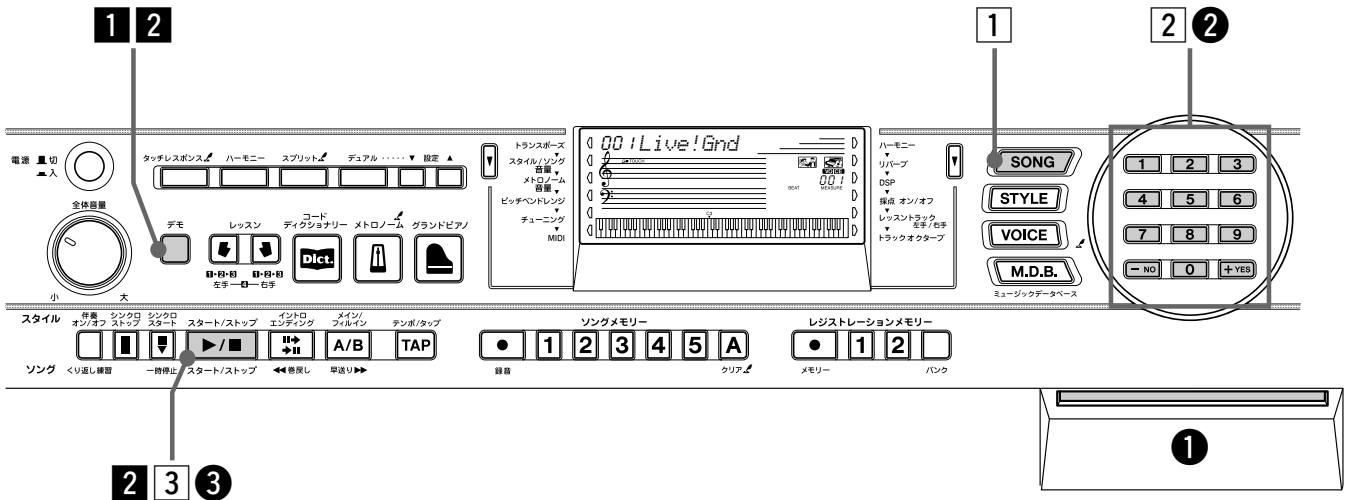
詳しくは25ページをご覧ください。

[楽器リスト]

楽器 No.	楽器名	楽器 No.	楽器名	楽器 No.	楽器名	楽器 No.	楽器名
	ピアノ	033	12弦ギター	069	テナー サックス	104	ダーク ムーン
001	ライブ! ピアノ	034	ジャズギター	070	バリトン サックス		パーカッション
002	グランドピアノ	035	オクターブギター	071	オーボエ	105	ビブラフォン
003	ブライトピアノ	036	クリーンギター	072	イングリッシュホルン	106	マリンバ
004	ホンキートンクピアノ	037	60年代風クリーンギター	073	バスーン	107	シロフォン
005	ミディグランドピアノ	038	ミュートギター	074	クラリネット	108	スチールドラム
006	CP 80	039	オーバードライブギター		トランペット	109	チェレスタ
007	ハーブシコード	040	ディストーションギター	075	トランペット	110	チューブラーベル
	エレクトリックピアノ		ベース	076	ミュートトランペット	111	ティンパニ
008	ギャラクシー エレクトリックピアノ	041	アコースティックベース	077	トロンボーン	112	ミュージックボックス
009	ファンキー エレクトリックピアノ	042	フィンガーベース	078	トロンボーンセクション		スプリット
010	DXモダン エレクトリックピアノ	043	ピックベース	079	フレンチホルン	113	アコースティックベース/ ライブ!ピアノ
011	ハイパーダイナミクス	044	フレットレスベース	080	チューバ	114	フィンガーベース/ グランドピアノ
012	ビーナス エレクトリックピアノ	045	スラップベース		ブラス	115	フレットレスベース/DXモダン エレクトリックピアノ
013	クラブ	046	シンセベース	081	ブラスセクション	116	アコースティックベース/ ビブラフォン
	オルガン	047	ハイQベース	082	ビッグバンドブラス	117	フレットレスベース/ ブラスセクション
014	クール!オルガン	048	ダンスベース	083	メローホーン	118	アナログン/ ノコギリ波リード
015	ジャズオルガン1		ストリングス	084	シンセブラス	119	スラップベース/クラブ
016	ジャズオルガン2	049	ストリングス	085	ジャンプブラス	120	クラシックギター/ スイートフルート
017	クリックオルガン	050	チェンバーストリングス	086	テクノブラス	121	ストリングス/ライブ!ピアノ
018	ブライトオルガン	051	シンセストリングス		フルート	122	ヴォクスフマーナ/コーラス
019	ロックオルガン	052	スローストリングス	087	スイートフルート		ドラムキット
020	パープルオルガン	053	トレモロストリングス	088	フルート	123	スタンダードキット1
021	16' + 2' オルガン	054	ピチカートストリングス	089	ピッコロ	124	スタンダードキット2
022	16' + 4' オルガン	055	オーケストラヒット	090	パンフルート	125	ルームキット
023	シアターオルガン	056	バイオリン	091	リコーダー	126	ロックキット
024	チャーチオルガン	057	チェロ	092	オカリナ	127	エレクトロニックキット
025	チャペルオルガン	058	コントラバス		シンセリード	128	アナログキット
026	リードオルガン	059	パンジョー	093	矩形波リード	129	シンフォニーキット
	アコーディオン	060	ハーブ	094	ノコギリ波リード	130	ジャズキット
027	トラディショナル アコーディオン		コーラス	095	ボイスリード	131	ブラッシュキット
028	ミュゼットアコーディオン	061	コーラス	096	スターダスト	132	シンフォニーキット
029	バンドネオン	062	ボーカルアンサンブル	097	ブライトネス	133	SFXキット1
030	ハーモニカ	063	ヴォクスフマーナ	098	アナログン	134	SFXキット2
	ギター	064	エアコーラス	099	ファーゴ		
031	クラシックギター		サックス		シンセパッド		
032	フォークギター	065	ソプラノサックス	100	ファンタジア		
		066	アルトサックス	101	ベルパッド		
		067	スイートテナー	102	ゼノンパッド		
		068	プレッシャーテナーサックス	103	イクイノックス		

ここに記載しているのは、楽器リストの一部です。すべてのリストは85ページを参照してください。

ステップ2 ソング



ソングを鳴らしましょう

DGX-500/300 には、デモソングが 3 曲入っています。

デモソングを鳴らしましょう

ソング番号 001 ~ 003 には、DGX-500/300 の機能をフルに活用したデモソングが入っています。

- [デモ](DEMO) ボタンを押します。
001 番のデモソングがスタートします。001 番が終了すると、002 番 003 番...と続けてデモソングが鳴ります。



- ソングを止めます。



詳しくは51ページをご覧ください。

メモ

- ・[デモ](DEMO) ボタンを押しながら電源を入れると、[デモ](DEMO) ボタンを押してもデモソングが鳴らないようにすることができます。電源を入れ直すと通常の状態に戻ります。

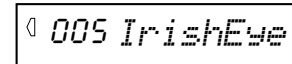
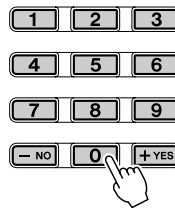
1 曲ずつ鳴らしましょう

好みの曲(ソング番号 001 ~ 205)を選んで聞くことができます。

- [SONG] ボタンを押します。



- ソングを選びます。



- ソングをスタート/ストップします。

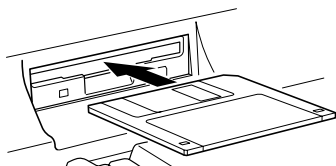


詳しくは51ページをご覧ください。

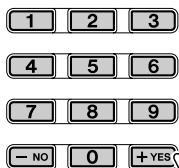
ディスクのソングを鳴らしましょう

同梱のディスクや他のソングディスクを鳴らしてみましょう。

① ディスクを挿入口に差し込みます。



② 聞きたいソングの番号を選びます。



◀ 10 | Filename

③ ソングをスタート/ストップします。



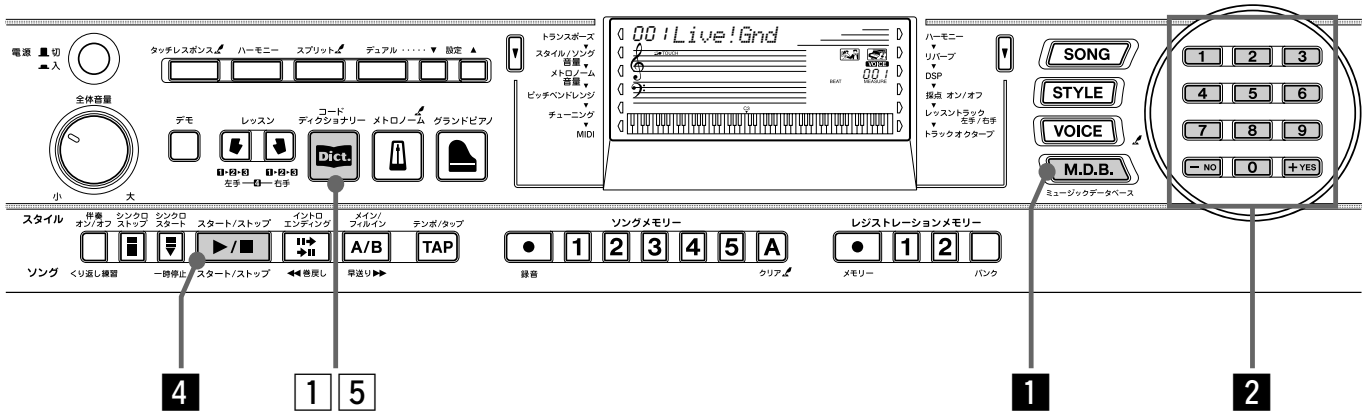
詳しくは69ページをご覧ください。
同梱ディスクの内容は、84ページをご
覧ください。

[ソングリスト]

ソング No.	ソング名	ソング No.	ソング名	ソング No.	ソング名	ソング No.	ソング名
	デモ	025	ブルグミュラー：25の練習曲から 6番 進歩 (J.F.Burgmüller)	056	よろこびのうた (L.v. Beethoven)	090	花のワルツ(くるみ割り人形より) (F.I. Tchaikovsky)
001	ザ・ルック・オブ・ラブ(DGX-500)	026	ブルグミュラー：25の練習曲から 20番 タランテラ (J.F.Burgmüller)	057	真珠採りの歌 (G. Bizet)	091	アロハ・オエ*
002	素顔のままで	027	ブルグミュラー：25の練習曲から 25番 貴婦人の乗馬 (J.F.Burgmüller)	058	ゴセックのガボット (F.J. Gossec)	092	線路は続くよどこまでも*
003	リボン・イン・ザ・スカイ(DGX-500)	028	別れの曲 (F.Chopin)	059	ハイドンのセレナーデ (F.J. Haydn)	093	愛しのクレメンタイン*
	ザ・ルック・オブ・ラブ(DGX-300)	029	ベートーベンのトルコ行進曲 (L.v. Beethoven)	060	バッハのメヌエット (J.S. Bach)	094	蛍の光*
	お気に入り	030	ベートーベンのトルコ行進曲 (L.v. Beethoven)	061	パッヘルベルのカノン (J. Pachelbel)	095	大きな古時計 (H.C. Work)
004	ビル・ベイリ(帰っておいでよ) (H. Cannon)	031	モーツァルトのトルコ行進曲 (W.A. Mozart)	062	ドナウ川のさざ波 (I. Ivanovici)	096	アメーzing・グレース*
005	アイルランド人のほほ笑みはほほ笑 むアイルランドの娘 (E.R. Ball)	032	小犬のワルツ (F.Chopin)	063	歌劇「魔笛」より (W.A. Mozart)	097	マイ・ボニー*
006	ダウン・バイ・ザ・リバーサイド*	033	ボッケリーニのメヌエット (L. Boccherini)	064	月光の曲 (L.v. Beethoven)	098	アルプス一万尺*
007	アメリカ・ザ・ビューティフル (S.A. Ward)	034	夜想曲 第2番 (F. Chopin)	065	びっくりシンフォニー (F.J. Haydn)	099	もろびとこざりて (G.F. Händel)
008	聖者の行進*	035	楽興の時 第3番 (F. Schubert)	066	野ばらに寄す (E.A. MacDowell)	100	シューベルトのアベマリア (F.Schubert)
	オーケストラ	036	エンターテイナー (S. Joplin)	067	闘牛士の歌 (G. Bizet)		
009	円舞曲「春の声」 (J. StraussII)	037	平均律第1巻第1番 プレリユード (J.S. Bach)	068	私のお父さん(ジャンニ・スキッキより) (G. Puccini)		
010	簧笛の踊り(くるみ割り人形より) (F.I. Tchaikovsky)	038	すみれ (Streabbog)		デュエット		
011	「天国と地獄」序曲 (J. Offenbach)	039	エリーゼのために (L.v. Beethoven)	069	こげこげボート*		
012	スラヴ舞曲第10番 (A. Dvořák)		練習曲	070	オン・トップ・オブ・オールド・スモーカー*		
013	四季より「春」 (A. Vivaldi)	040	茶色的小瓶*	071	おめでとくクリスマス*		
014	タイスの瞑想曲 (J. Massenet)	041	ロツボ・ローモンド*	072	スカガロ・フェア*		
015	ウィリアム・テル序曲 (G. Rossini)	042	おお、スザンナ (S.C. Foster)	073	ちょうちょ*		
016	草競馬 (S.C. Foster)	043	グリーンスリーブス*	074	もみの木*		
017	春の歌 (F. Mendelssohn)	044	オーラ・リー (G. Poulton)	075	メリーさんのひつじ*		
018	ハンガリー舞曲 第5番 (J. Brahms)	045	ロンドンデリーの歌*	076	10人のインディアン (Septimus Winner)		
	ピアニスト	046	パンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)	077	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル*		
019	お人形の夢と目覚め (T.Oesten)	047	バンジョーをかき鳴らせ (S.C. Foster)	078	きらきら星*		
020	ブルグミュラー：25の練習曲から 1番 すなおな心 (J.F.Burgmüller)	048	小鳥ならば*	079	むすんでひらいて (J.J. Rousseau)		
021	ブルグミュラー：25の練習曲から 2番 アラベスク (J.F.Burgmüller)	049	ローレライ (F. Silcher)	080	かっこう*		
022	ブルグミュラー：25の練習曲から 3番 牧歌 (J.F.Burgmüller)	050	フニクリ・フニクラ (L. Denza)	081	かわいしいオーガスティン*		
023	ブルグミュラー：25の練習曲から 4番 こどもの集會 (J.F.Burgmüller)	051	わらの中の七面鳥*	082	ロンドン橋*		
024	ブルグミュラー：25の練習曲から 5番 無邪気 (J.F.Burgmüller)	052	故郷の人々 (S.C. Foster)		コードレスン		
		053	きよしこの夜 (F. Gruber)	083	きらきら星*		
		054	ジングル・ベル (J.S. Pierpont)	084	かっこう*		
		055	別れ (F. Silcher)	085	ロンドン橋*		
			愛の夢 第3番 (F. Liszt)	086	アメリカンパトロール (F.W. Meacham)		
			主よ、人の望みの喜びよ (J.S. Bach)	087	夢見る君 (S.C. Foster)		
				088	リバブリック讃歌*		
				089	墳生の宿 (H. Bishop)		

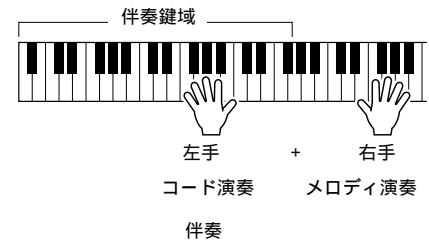
ソング(ソングNo. 004 - 100)は楽譜付きです。ソングブックを参照してください。
*の付いた曲は民謡などの曲です。

ステップ3 ミュージックデータベース

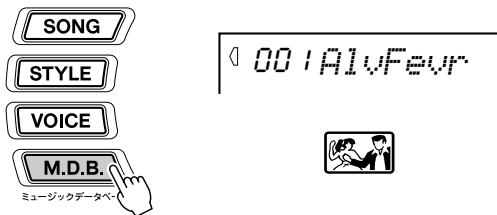


ミュージックデータベース

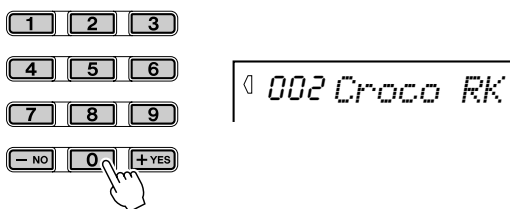
自分の好きなジャンルの音楽を演奏したいけれども、楽器 (25 ページ) やスタイル (35 ページ) などのパネル設定をどのようにしたらよいか、わからない。そんな時は、ミュージックデータベースの中から、あなたの好きなジャンルの音楽を選んでください。DGX-500/300 は、ジャンルに合ったパネル設定になります！



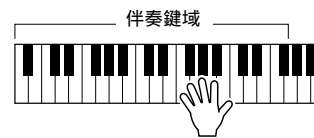
1 [M.D.B.] (ミュージックデータベース) ボタンを押します。



2 ミュージックデータベースの番号を選びます。ミュージックデータベースリストは、93ページをご覧ください。



3 左手でコードを演奏します。スタイルがすぐスタートします。コード名がわかっていて、コードの押さえ方がわからない場合は、次ページのコードディクショナリー機能を使用すると押さえ方を調べることができます。



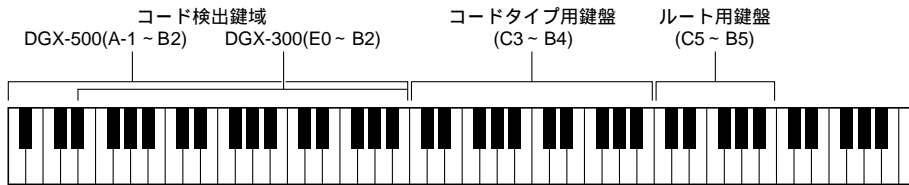
4 スタイルをストップします。



詳しくは46ページをご覧ください。

コードを調べよう(コードディクショナリー)

コード(和音)名がわかっていて、コードの弾き方がわからないとき、「コードディクショナリー機能」が役立ちます。



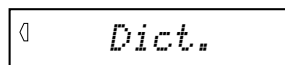
コードの押さえ方を勉強しましょう

コード例

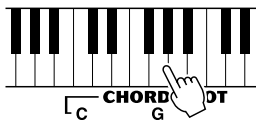


- 1 [コードディクショナリー](DICTIONARY) ボタンを押します。

コードディクショナリー

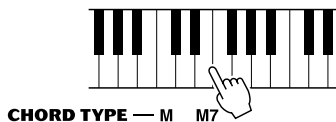


- 2 知りたいコードのルート音(根音)を押します。



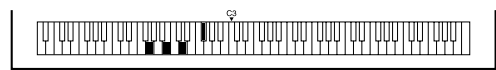
G

- 3 知りたいコードのコードタイプを押します。



G M7

- 4 ディスプレイの鍵盤ガイドにしたがって、鍵盤(コード検出域)を押さえます。
正しく押さえると、ディスプレイのコード名が点滅します。



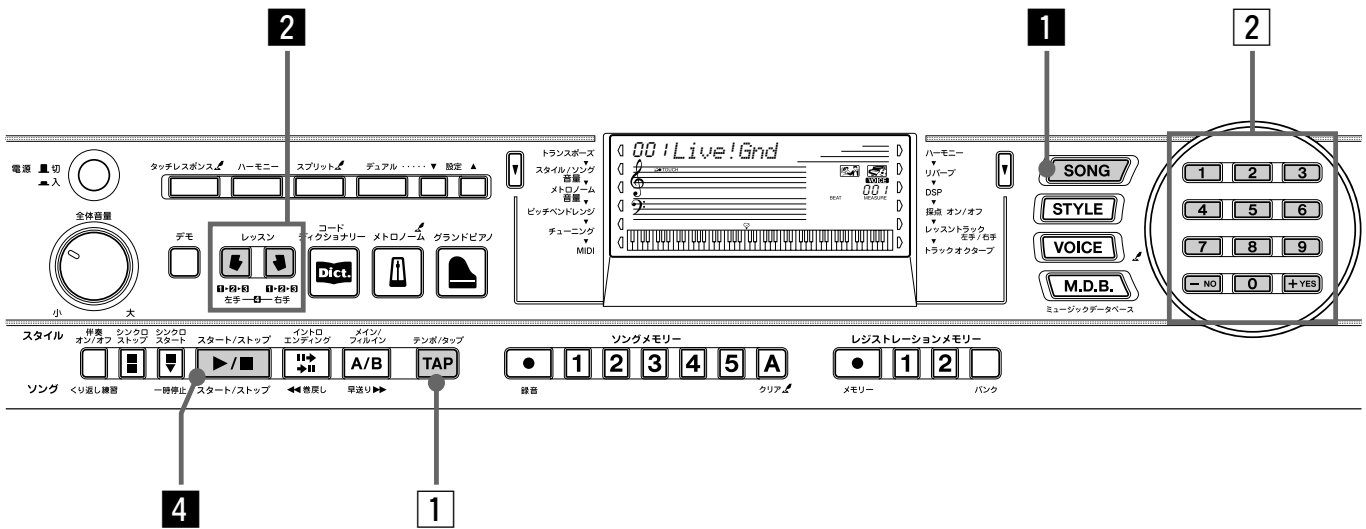
- 5 [コードディクショナリー](DICTIONARY) ボタンを押して、コードディクショナリー機能を終了します。

コードディクショナリー



詳しくは41ページをご覧ください。

ステップ4 レッスン



レッスン機能を使ってみましょう

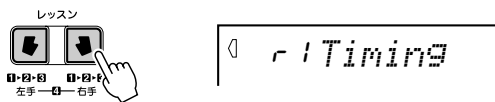
ソング番号 001 ~ 100 のソングは、レッスン機能付きです。この機能を使ってソングを弾けるようになります。右手を練習するときは [右手] ボタン、左手を練習するときは [左手] ボタンを押します。右手・左手ともに以下のレッスン機能で練習ができます。

- レッスン1「タイミング」..... 鍵盤を弾くタイミングを練習します。
- レッスン2「ウェーティング」..... ディスプレイの音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。音符どおりの鍵盤が弾かれるまで、伴奏は進まず待ってしてくれます。
- レッスン3「マイナスイオン」..... カラオケのように伴奏に合わせて弾く練習をします。
- レッスン4「ポーズハンド」..... レッスン3で右手と左手が弾けるようになったら、両手で弾く練習をします。

1 レッスン曲を選びます。
ソングの選び方は51ページをご覧ください。



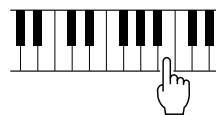
2 レッスン方法を選びます。
右手の練習には [右手] ボタン、左手の練習には [左手] ボタンを押します。両手で練習するとき(レッスン4)は、[右手] と [左手] ボタンを同時に押します。



メモ

・ [左手] または [右手] ボタンを押したとき、レッスン1 レッスン2 レッスン3 「オフ」(ソング) レッスン1...の順番で変わります。

3 鍵盤を弾きます。

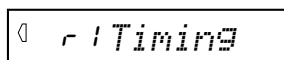
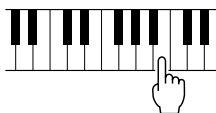


4 レッスンを終了します。



レッスン1：タイミング

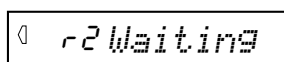
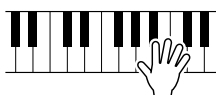
鍵盤を弾くタイミングを練習します。
レッスン1では、どの鍵盤を弾いてもかまいません。
メロディに合わせて鍵盤を弾きます。



詳しくは58ページをご覧ください。

レッスン2：ウェイティング

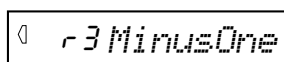
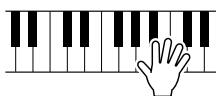
鍵盤を弾く練習をします。
正しい鍵盤が押されるまで、伴奏は進まず待ってくれます。



詳しくは59ページをご覧ください。

レッスン3：マイナスイワン

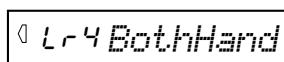
伴奏に合わせて弾きます。
伴奏はカラオケのようにテンポどおりに進んでいきます。



詳しくは60ページをご覧ください。

レッスン4：ボースハンド

両手で弾く練習をします。



詳しくは60ページをご覧ください。

レッスン1から4まで、レベルに応じてチャレンジしてください。

採点機能

レッスンが終わると、その演奏を DGX-500/300 が採点し、ディスプレイに、「OK」「Good」「VeryGood!」「Excellent!」と、4段階で表示します。

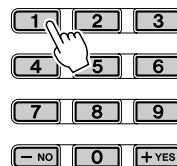
詳しくは61ページをご覧ください。

テンポ(速さ)を変えてみましょう

- [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。



- 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、テンポを変更します。



メモ

- ・ボタンを押すタイミングでテンポを設定できるタップ機能があります。
詳しくは53ページをご覧ください。



基本操作とディスプレイの見かた

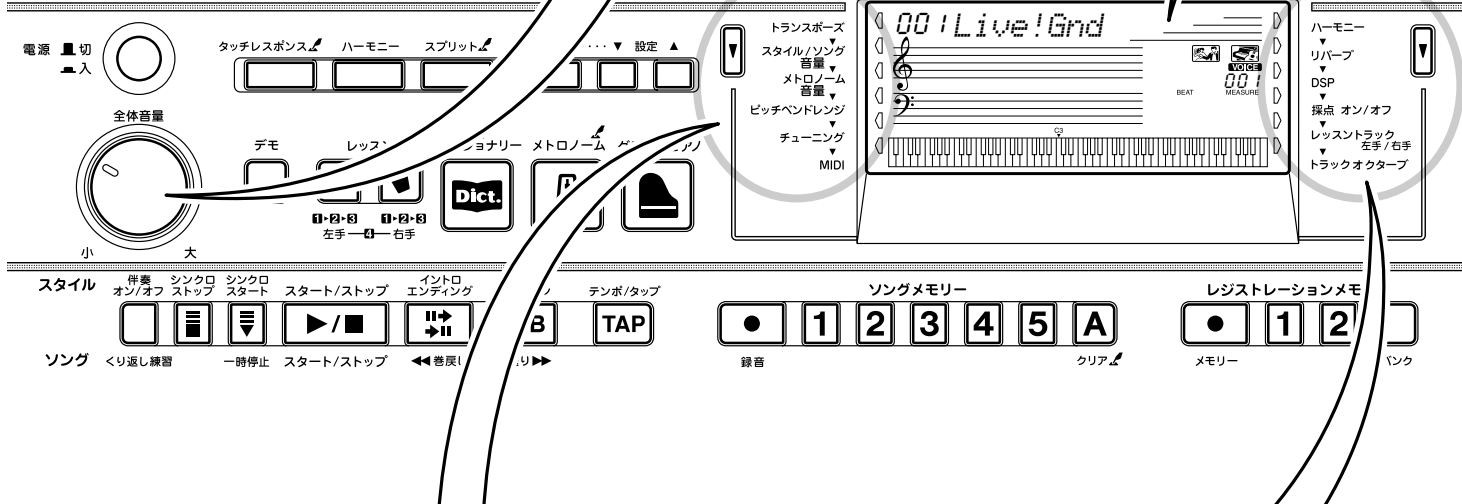
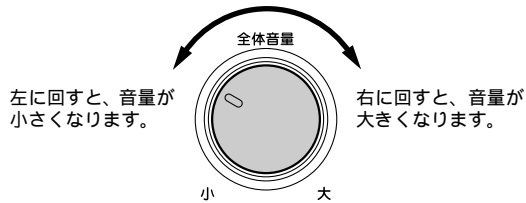
プレスアンドホールド(長く押し)



このマークの付いたボタンを 1 秒以上押し続けると、特別の機能が実行されます。

音量の調節

[全体音量](MASTER VOLUME) コントロールを回します。



メニュー [L], [R] 表示

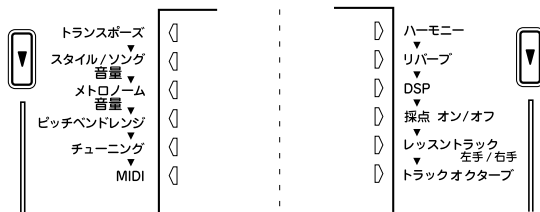
メニュー[L], [R]で、DGX-500/300のさまざまな設定を行ないます。

メニュー-L

- ・トランスポーズ.....29 ページ
- ・スタイル/ソング音量.....54 ページ
- ・メトロノーム音量.....24 ページ
- ・ピッチベンドレンジ.....30 ページ
- ・チューニング.....29 ページ
- ・MIDI.....78 ページ

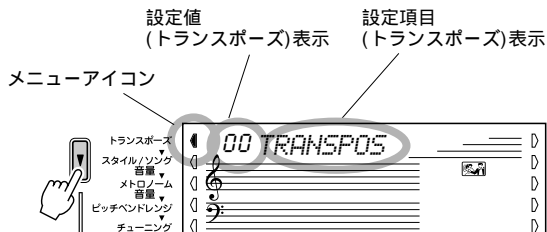
メニュー-R

- ・ハーモニー.....34 ページ
- ・リバーブ.....32 ページ
- ・DSP.....33 ページ
- ・採点 オン/オフ.....61 ページ
- ・レックストラック 左手/右手.....58 ページ
- ・トラックオクターブ.....70 ページ



メニュー[L]または[R]ボタン(ディスプレイの左右にある)を押すと、メニューアイコン(◀, ▶)が移動し、ディスプレイ上段には現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。さらにメニュー [L]または [R] ボタンを押すと、設定項目が変わります。

例)トランスポーズの場合



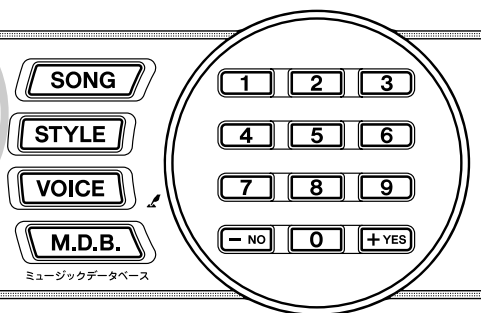
名前と番号表示(ソング/スタイル/楽器/M.D.B)

ディスプレイ上段には、現在選ばれている機能の「名前と番号」が表示されます。

例) ソングの場合

ソング番号表示

ソング名表示



基本的な機能の選びかた

- [SONG], [STYLE], [VOICE], [M.D.B.] ボタンを押すと、DGX-500/300の基本的な機能を選ぶことができます。(選ばれている機能のアイコンが表示されます。)



SONG

聞きたいソングや練習したいソングを選ぶとき



STYLE

スタイルを選ぶとき



VOICE

鍵盤で演奏する楽器(音色)を選ぶとき



M.D.B.

ミュージックデータベースを選ぶとき



- ソングやスタイルを選んだあとに楽器を選ぶと、次のような表示になります。

SONG → VOICE

数字ボタンで楽器を選びます。



[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンでソングがスタート

STYLE → VOICE

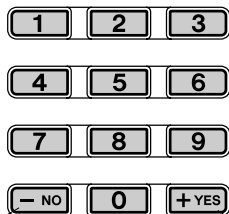
数字ボタンでスタイルを選びます。



[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンでスタイル、またはM.D.B. がスタート

設定値の変えかた

設定値の変更は、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を使用します。



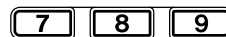
一度押すと、ひとつ小さな値に

一度押すと、ひとつ大きな値に

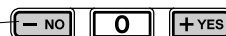
※押し続けると、値が連続で変わります。

番号の選びかた

- 番号をひとつずつ変えるには、数字ボタン [+], [-] を使用します。



一度押すと、ひとつ小さな番号に



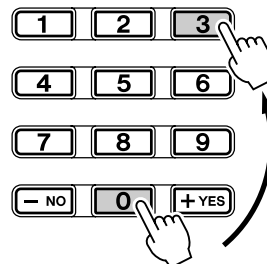
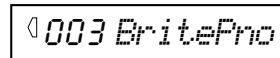
一度押すと、ひとつ大きな番号に

※押し続けると、番号が連続で変わります。

- 直接番号で選ぶには、数字ボタン [0] ~ [9] を使用します。

例) 「003 : BritePno」を選ぶ場合

数字ボタンの [0], [0], [3] を押します。



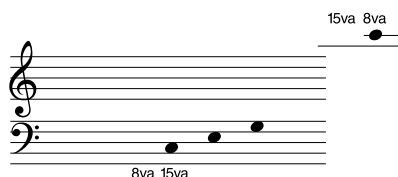
メモ

・「100の位」が [0] の場合、0 を省略できます。同様に「100の位」と「10の位」が [0] の場合も [00] を省略して入力できます。

基本操作とディスプレイの見かた

音符表示

レッスン機能のときは、ソングのメロディ符やコード符を、ディクショナリー機能のときは、コードの構成音を表示します。通常は押した鍵盤を表示します。



メモ

- ・1音でも1オクターブ上の音が存在する場合は五線譜の上に「8va」が、2オクターブ上の音が存在する場合は「15va」が表示されます。同様にオクターブ下の音が存在する場合は五線譜の下に「8va」、「15va」が表示されます。
- ・表示の制約により、和音の一部が表示されない場合があります。

小節(MEASURE)表示

ソングの小節番号や、スタイルの小節番号を表示します。フリーテンポのソングが選ばれると「F t」と表示します。



コード表示

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



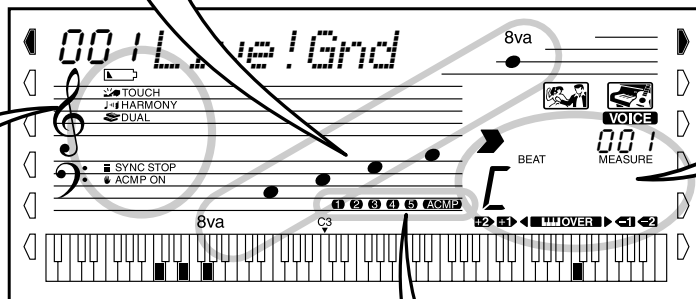
ビート表示

スタイルやソングのビート(拍)を、矢印で点滅表示します。



トラックオクターブ表示

ディスクソングを再生しているとき、再生されている音の鍵域が本体鍵域より高い(または低い)とき「OVER」が点滅し矢印が表示されます。オクターブを上げて(下げて)再生しているとき、設定している「+2, +1, -1, -2」が表示されます。



電池交換の表示

電池が消耗すると表示します。



タッチレスポンス (TOUCH) 表示

タッチレスポンスのオン/オフを表示します。



ハーモニー (HARMONY) 表示

ハーモニーのオン/オフを表示します。



デュアル (DUAL) 表示

デュアルのオン/オフを表示します。



シンクロストップ (SYNC STOP) 表示

シンクロストップのオン/オフを表示します。



ソングトラック表示

ソングトラックに関する情報を表示します。



伴奏「オン」(ACMP ON)表示

伴奏機能のオン/オフを表示します。





グランドピアノボタンを押して演奏しましょう

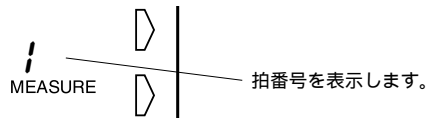
DGX-500/300 はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」というときには、[グランドピアノ](PORTABLE GRAND)ボタンを押します。

[グランドピアノ](PORTABLE GRAND)ボタンを押すと、グランドピアノの音色にワンタッチで切り替わります。



メトロノームを使用して練習する

[メトロノーム](METRONOME)ボタンを押すと、ソングやスタイルのテンポに合わせてメトロノームの音が鳴ります。ピアノの練習に活用しましょう。
メトロノームは、1拍目に「チーン」という音が鳴ります。



もう一度[メトロノーム](METRONOME)ボタンを押すとメトロノームの音がストップします。

■ テンポの設定.....

テンポを変更する場合は、[テンポ / タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押し、数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]を使って変更します。(38ページ参照)



・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値に戻ります。

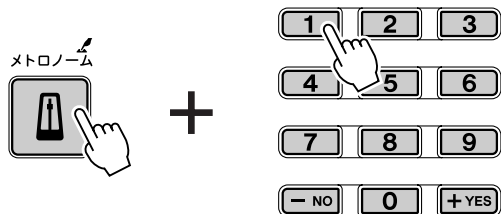
グランドピアノボタンを押して演奏しましょう

■ メトロノームの拍子の設定

リズム停止時に、拍子を設定することができます。

[メトロノーム](METRONOME)ボタンを1秒以上押すと、メトロノームの拍子設定になります。

数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して拍子を設定します。



現在の拍子 (例: 4拍子) を表示

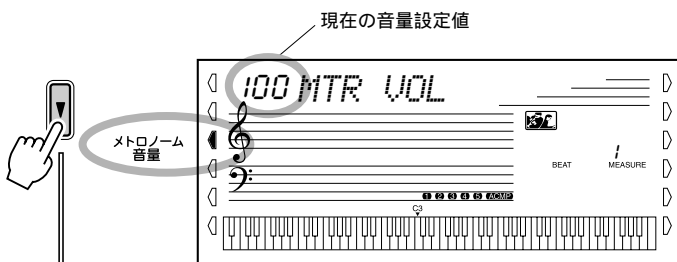
数字ボタン	拍子
00	- (チーンという音が鳴らない状態)
01	1拍子 (すべての拍でチーンという音が鳴ります。)
02	2拍子
03	3拍子
04	4拍子
05	5拍子
06	6拍子
07	7拍子
.	.
15	15拍子



・スタイルやソングを変更すると、自動的にスタイルやソングに合った拍子に切り替わります。

■ メトロノーム音量の設定

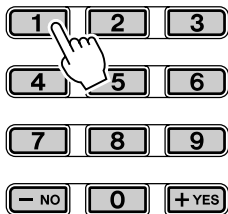
① メニュー [L]ボタンを押して、「メトロノーム音量」(METRONOME VOLUME)を選びます。



現在の音量設定値

メトロノーム音量

② 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、メトロノームの音量を000~127の範囲で変更します。



・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。



楽器(音色)を選んで演奏しましょう

楽器を選ぶ

DGX-500/300には、先進のAWM(アドバンスト・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な619種類の音色が入っています。

楽器.....001 ~ 122(122音色)、123 ~ 134(ドラムキット)

XG.....135 ~ 614(480音色)

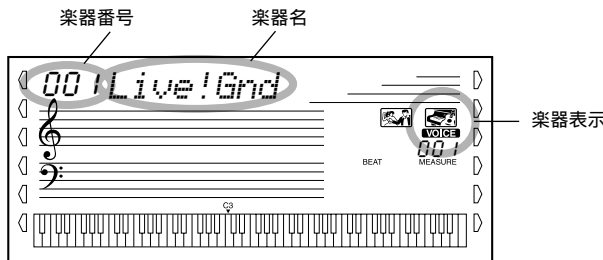
XG(86ページ参照)に準拠した音色配列です。

DJ.....615 ~ 619(5音色)

1 [VOICE]ボタンを押します。



ミュージックデータベース



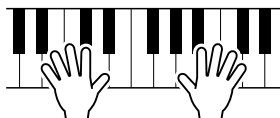
楽器表示

2 数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]で楽器番号を選びます。

番号の選びかた。(21ページ参照)

3 演奏してみましょう。

いろいろな楽器を選んで演奏してみましょう。



ドラムの音を鍵盤で鳴らす(ドラムキット)

ドラムキット(楽器番号123 ~ 134)を選び、鍵盤を押すとさまざまなパーカッション(打楽器音色)を鳴らすことができます。

[ドラムキットリスト]

123	スタンダードキット1	127	エレクトロニックキット	131	ブラッシュキット
124	スタンダードキット2	128	アナログキット	132	シンフォニックキット
125	ルームキット	129	ダンスキット	133	SFXキット1
126	ロックキット	130	ジャズキット	134	SFXキット2

例) 123 スタンダードキット1



メモ

ワンタッチセッティング(000)とは、スタイルやソングを選んだとき、自動的に最適な楽器が選ばれる機能です。(26ページ参照)

メモ

楽器(楽器番号001 ~ 122)を選択すると、その楽器に最適なDSPタイプやハーモニータイプが自動的に選ばれます。

メモ

各キットの具体的な内容は、94ページの「ドラムキットリスト」を参照してください

楽器(音色)を選んで演奏しましょう

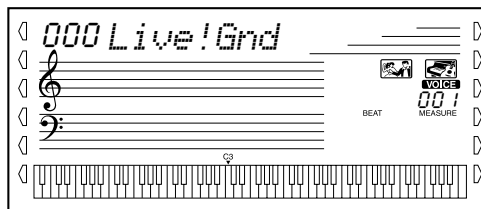
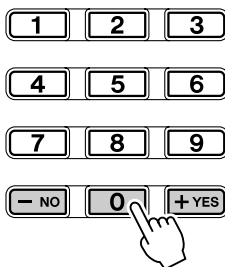
ソングやスタイルに最適な楽器を選ぶ(ワンタッチセッティング)

ワンタッチセッティングは、ソングやスタイルを選んだときに自動的に最適な楽器が選ばれる機能です。

- 1 [VOICE]ボタンを押します。
現在選ばれている楽器名が表示されます。



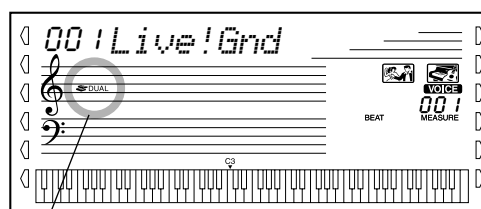
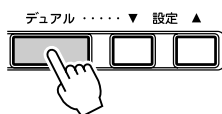
- 2 数字ボタン[0], [+], [-]で、楽器番号「000」を選びます。
これで、ワンタッチセッティングが「オン」になります。



デュアルボイス

デュアルボイスをオンにすると1音押した鍵盤に対して2つの音が鳴ります。
これにより幅広い音色を選ぶことができます。

- 1 [デュアル](DUAL)ボタンを押してデュアルボイスをオン/オフします。

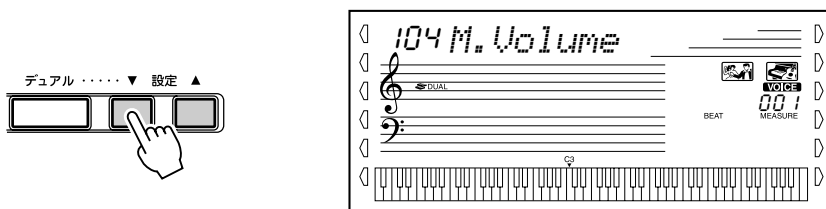


デュアルボイスがオンのとき表示します。

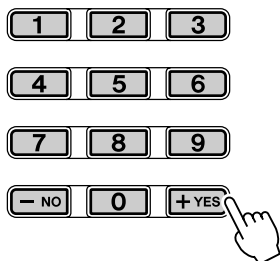
メインボイスとデュアルボイスの設定

メインボイスとデュアルボイスに関するさまざまな設定をします。

- 1** [設定 ▲/▼](SETTING ▲/▼)ボタンを押して、設定したい項目を選びます。
設定項目は以下のリストを参照ください。



- 2** 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、値を設定します。

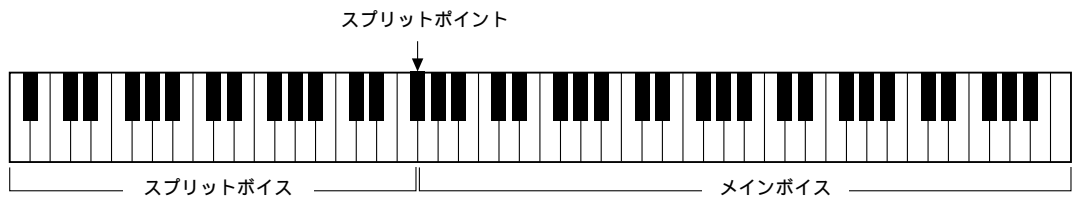


● メインボイスとデュアルボイスの設定項目

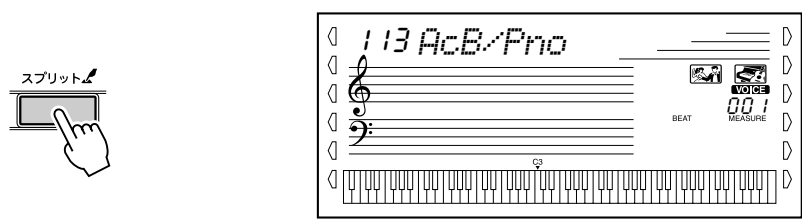
設定項目	LCD表示	設定値	
メインボイス ボリューム	M.Volume	0 ~ 127	メインボイスの音量を調節し、デュアルボイスとのバランスを調整します。
デュアルボイスDSP	D.DspLvl	0 ~ 127	デュアルボイスのDSPの深さを設定します。
メインボイスDSP	M.DspLvl	0 ~ 127	メインボイスのDSPの深さを設定します。
デュアルボイス リバーブ	D.RevLvl	0 ~ 127	デュアルボイスのリバーブの深さを設定します。
メインボイス リバーブ	M.RevLvl	0 ~ 127	メインボイスのリバーブの深さを設定します。
デュアルボイス オクターブ	D.Octave	-2 ~ 2 (Octaves)	デュアルボイスのオクターブを設定します。
デュアルボイス	デュアル ボイス名	1 ~ 619	デュアルボイスを何の音色にするかを選びます。
デュアルボイス ボリューム	D.Volume	0 ~ 127	デュアルボイスの音量を調節し、メインボイスとのバランスを調整します。

スプリットボイス

スプリットボイスをオンにすると、鍵盤のスプリットポイントを境に、右側の鍵盤ではメインボイスを、左側の鍵盤ではスプリットボイスを演奏できます。



1 [スプリット](SPLIT)ボタンを押します。



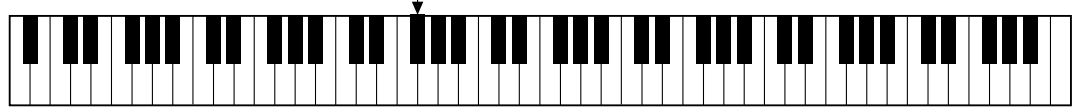
このボタンを押すと、前回の最後に使用していたスプリットボイスが呼び出されます。

■ スプリットポイントの変更.....

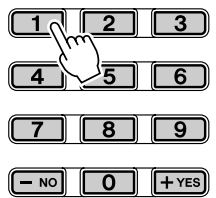
[スプリット](SPLIT)ボタンを1秒以上押すと、スプリットポイントの設定になります。



スプリットポイント初期設定値：54(F#2)



数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、スプリットポイントを設定します。



メモ

- ・スプリットポイントを変更すると、伴奏スプリットポイントも同時に変更されます。
- ・スタイル演奏時は、右側の鍵盤でメロディを、左側の鍵盤では伴奏を演奏します。

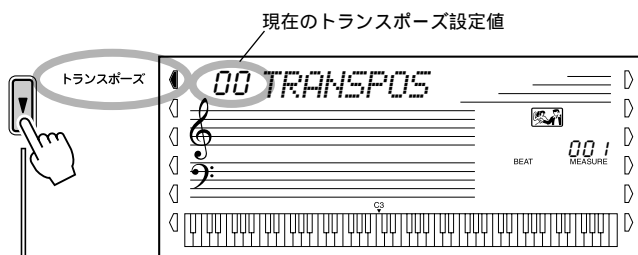
スプリットポイントを境に、右側の鍵盤ではメインボイスが鳴り、左側の鍵盤ではスプリットボイスが鳴ります。

スプリットポイントの鍵盤(たとえば54 : F#2)はスプリットボイスが鳴ります。

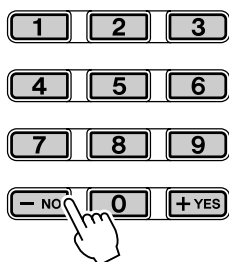
トランスポーズ

楽器全体の音程(トランスポーズ)を変更します。

- 1 メニュー [L] ボタンを押して、「トランスポーズ」(TRANPOSE)を選びます。



- 2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、トランスポーズの値を - 12 ~ 12(単位: 半音、± 1オクターブ)の範囲で変更します。



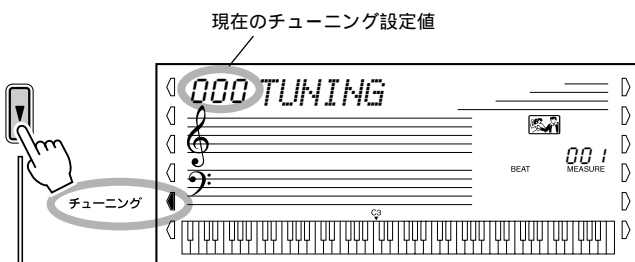
メモ

- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]~[9]で設定します。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。
- ・DJ(615~619)や、ドラムキット(123~134)を選んでいるときは、トランスポーズは機能しません。

チューニング

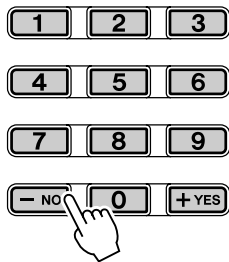
楽器全体のチューニング(ピッチ[音程]の微調整)をします。

- 1 メニュー [L] ボタンを押して、「チューニング」(TUNING)を選びます。



楽器(音色)を選んで演奏しましょう

2 数字ボタン[0]~[9],[+],[-]を押して、チューニングの値を-100~100(単位:セント)の範囲で変更します。



メモ

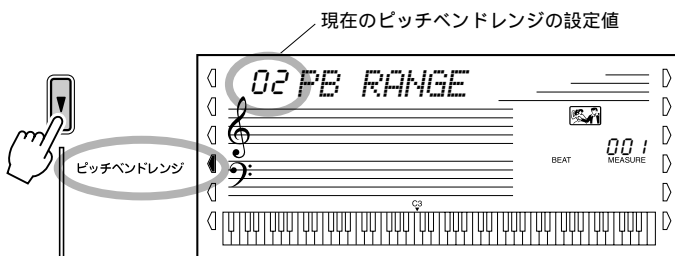
- ・チューニングの単位: 100 セント=半音
- ・数字ボタン[+],[-]を同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。
- ・マイナスの値を設定するときは、数字ボタン[-]を押しながら数字ボタン[0]~[9]で設定します。
- ・ドラムキット(123~134)を選んでいるときは、チューニングは機能しません。

ピッチベンドレンジの設定

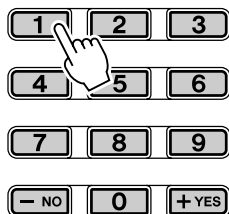
[ピッチベンド](PITCH BEND)ホイールを回すと、鍵盤で弾いた音の音程を連続的に上下させることができます。ホイールを上に戻すと音程が上がり、下に戻すと音程が下がります。

ピッチベンドレンジは、ピッチベンドホイールを上下に動かしたときに変化する音程の幅を、半音単位で設定します。たとえば、ピッチベンドレンジを「2」と設定すると、ピッチベンドホイールを上最大に戻すと音程が半音2個(1音)上がり、下最大に戻すと音程は半音2個(1音)下がります。最大の「12」を設定すると、上下とも1オクターブずつ音程を変化させることができます。

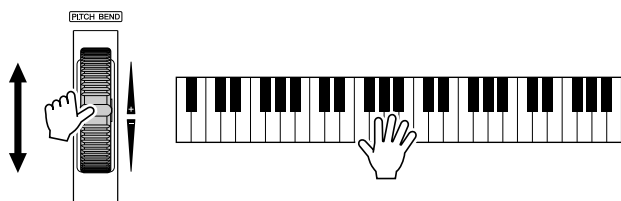
1 メニュー[L]ボタンを押して、「ピッチベンドレンジ」(PITCH BEND RANGE)を選びます。



2 数字ボタン[0]~[9],[+],[-]を押して、ピッチベンドの値を1~12の範囲で変更します。

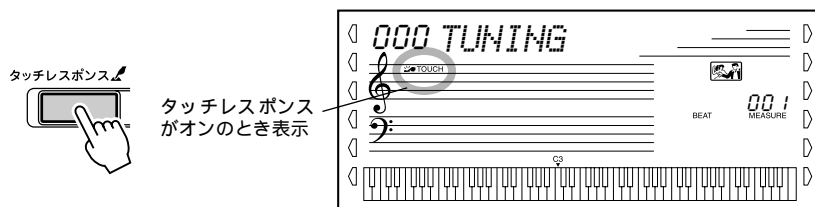


3 鍵盤を弾きながら、[ピッチベンド](PITCH BEND)ホイールを動かし演奏します。



タッチレスポンスのオン/オフ

[タッチレスポンス](TOUCH)ボタンを押してTOUCHアイコンを表示させると、タッチレスポンスが「オン」になります。「オン」になると微妙なタッチニュアンスを表現する(鍵盤を押さえる強弱で音量が変わる)ことができます。



もう一度[タッチレスポンス](TOUCH)ボタンを押すと、タッチレスポンスが「オフ」になり、鍵盤を押さえる強弱に関係なく一定音量で演奏できます。

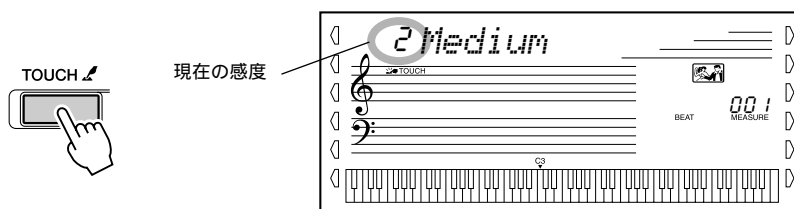


■ タッチ感度を設定する.....

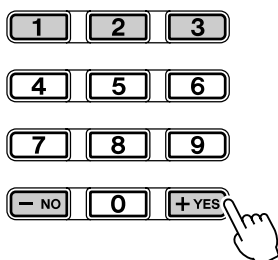
タッチレスポンスが「オン」の場合のタッチ感度(鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する割合)を設定することができます。

タッチレスポンスの感度(鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する)を、3段階(1~3)に設定することができます。設定値が大きくなるほど、弾く強さに比例して音量変化が大きくなります。初期設定値は感度2です。

[タッチレスポンス](TOUCH)ボタンを1秒以上押すと、タッチ感度設定画面になります。



数字ボタン[1]~[3], [+], [-]で感度を設定します。





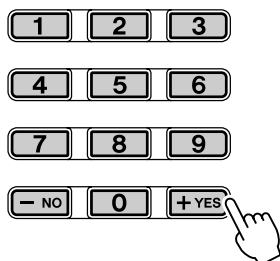
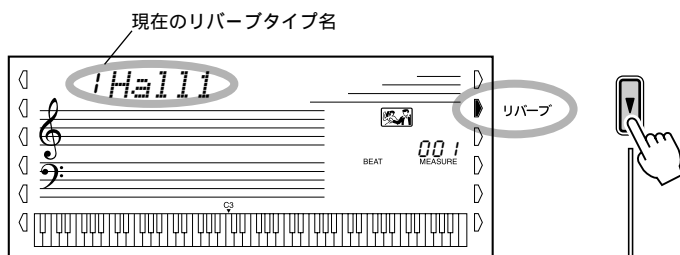
効果を付けて演奏しましょう

リバーブのタイプを選ぶ

メニュー [R] ボタンを押して「リバーブ」(REVERB)を選び、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、タイプを選びます。

メモ

・スタイルやソングを選ぶと、その楽器に合ったリバーブタイプが自動的に選ばれます。



「9」を選ぶと、リバーブが「オフ」になります。

[リバーブタイプリスト]

タイプ番号	タイプ名
1	ホール1
2	ホール2
3	ルーム1
4	ルーム2
5	ステージ1
6	ステージ2
7	プレート1
8	プレート2
9	リバーブオフ

(96ページ参照)

メモ

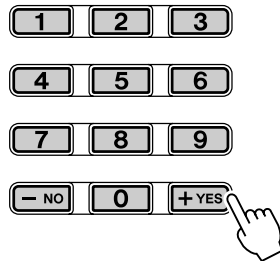
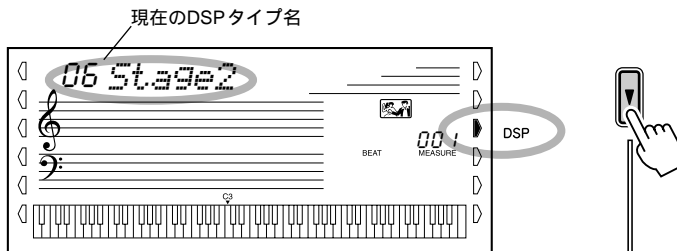
・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、選ばれているスタイルに合ったリバーブタイプになります。
・リバーブの深さはメインボイスリバーブとデュアルボイスリバーブで設定できます。(27ページ参照)

DSPのタイプを選ぶ

メニュー [R] ボタンを押して「DSP」を選び、数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、DSP(デジタルシグナルプロセッサー)タイプを選びます。

メモ

・楽器を選ぶと、その楽器に合ったDSPタイプが自動的に選ばれます。



「39」を選ぶと、DSPが「オフ」になります。

[DSPタイプリスト]

タイプ番号	タイプ名	タイプ番号	タイプ名
01	ホール1	22	トレモロ2
02	ホール2	23	ギタートレモロ
03	ルーム1	24	オートパン
04	ルーム2	25	オートワウ
05	ステージ1	26	ディレイ Left - Center - Right
06	ステージ2	27	ディレイ Left - Right
07	プレート1	28	エコー
08	プレート2	29	クロスディレイ
09	アーリーリフレクション1	30	カラオケ
10	アーリーリフレクション2	31	ディストーションハード
11	ゲート1	32	ディストーションソフト
12	ゲート2	33	オーバードライブ
13	コーラス1	34	ギターアンプシミュレーション
14	コーラス2	35	イコライザーディスコ
15	フランジャー1	36	イコライザーテレフォン
16	フランジャー2	37	3バンドイコライザー
17	シンフォニック	38	2バンドイコライザー
18	フェーザー	39	DSPオフ
19	ロータリースピーカー1		
20	ロータリースピーカー2		
21	トレモロ1		

メモ

・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、選ばれている楽器に合ったDSPタイプになります。
 ・DSPの深さはメインボイスDSPとデュアルボイスDSPで設定できます。(27ページ参照)

(96ページ参照)

効果を付けて演奏しましょう

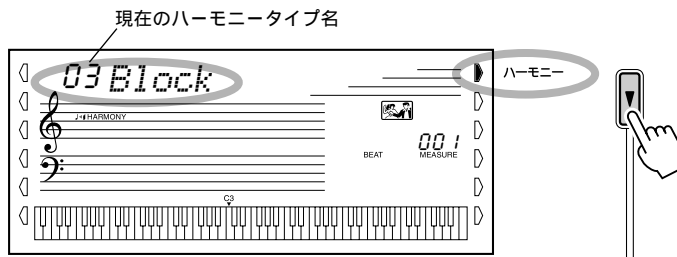
ハーモニーのオン/オフとタイプを選ぶ

右手鍵域での押鍵に対していろいろなハーモニーが自動的に付きます。ハーモニーのタイプによっては左手鍵域(伴奏鍵域)で検出されたコードに合わせてハーモニーが付くものもあります。

[ハーモニー](HARMONY)ボタンを押して「オン」にします。



メニュー [R] ボタンを押して「ハーモニー」(HARMONY)を選び、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、ハーモニータイプを選びます。



もう一度[ハーモニー](HARMONY)ボタンを押すと、ハーモニーが「オフ」になります。

[ハーモニータイプリスト]

タイプ番号	タイプ名	タイプ番号	タイプ名
01	デュエット	14	トレモロ1/6
02	トリオ	15	トレモロ1/8
03	ブロック	16	トレモロ1/12
04	カントリー	17	トレモロ1/16
05	オクターブ	18	トレモロ1/24
06	トリル1/4	19	トレモロ1/32
07	トリル1/6	20	エコー 1/4
08	トリル1/8	21	エコー 1/6
09	トリル1/12	22	エコー 1/8
10	トリル1/16	23	エコー 1/12
11	トリル1/24	24	エコー 1/16
12	トリル1/32	25	エコー 1/24
13	トレモロ1/4	26	エコー 1/32

(97ページ参照)

メモ

- ・コードディクショナリー機能を使用しているときは、ハーモニーは「オフ」になります。
- ・楽器を選ぶと、その楽器に合ったハーモニータイプが自動的に選ばれます。
- ・ハーモニー音色で効果がかかるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん高い音、または最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。
- ・ハーモニーのタイプは、音色ごとにセットされています。

メモ

- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、選ばれている楽器に合ったハーモニータイプになります。
- ・[1]~[5]のタイプは伴奏のコードに合ったハーモニーになります。
- ・トリル、トレモロ、エコーはテンポ設定に同期します。



いろいろなスタイルで演奏しましょう

スタイルって何？

DGX-500/300には、135種類のスタイルが入っています。
この機能を使用すると、選択したスタイルと伴奏鍵域で押さえられたコードに合わせて、伴奏(ベース音とコード音)が自動的に演奏されます。また同梱ディスクにはスタイルファイルが入っています。このデータをロードする(読み込む)と、自動的に136番のスタイルとしてその他のスタイル同様に使用することができます。(データの読み込み73ページ参照、同梱ディスク内のスタイル名は84ページ参照)

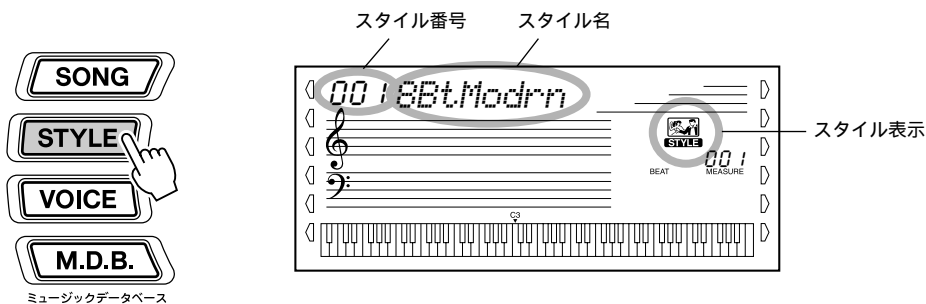


好みのスタイルを選び、演奏してみましょう。

スタイルを選びます。	スタイルを選ぶ	35ページ
↓		
スタイルをスタートします。	スタイルのスタート	36ページ
↓		
コード(左手)を演奏します。	コードの押さえ方	39ページ
↓		
メロディ(右手)を演奏します。	スタイルに合わせてメロディ演奏	43ページ
↓		
スタイルパターンを切り替えます。	スタイルパターンの切り替え	44ページ
↓		
スタイルをストップします。	スタイルのストップ	37ページ

スタイルを選ぶ

1 [STYLE] ボタンを押します。



2 数字ボタン[0]～[9],[+],[−]でスタイル番号を選びます。
番号の選びかた。(21ページ参照)



・「ピアニスト」の 카테고리 を選ぶと、スタイルをスタートしてもリズム音は鳴りません。

いろいろなスタイルで演奏しましょう

スタイルのスタート

[伴奏 オン/オフ](ACMP)ボタンを押して、伴奏を「オン」にします。



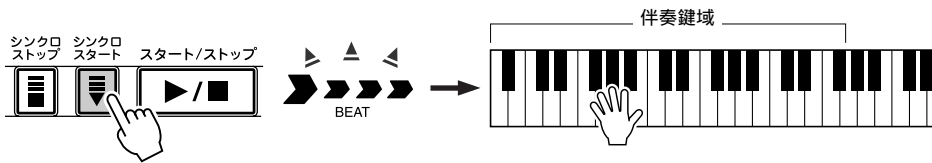
スタイルのスタート方法には、次の4種類があります。

■ シンクロスタート.....

[シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。
伴奏鍵域でコードを弾くと、スタイルがスタートします。

メモ

・シンクロスタート待機状態で、もう一度 [シンクロスタート] (SYNC START) ボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、伴奏鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音(和音)が鳴ります。



シンクロストップ

伴奏鍵域から手を離したり弾いたりするのに同期して、スタイルがストップ、スタートする機能です。
[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押すと、シンクロスタートが自動的に「オン」になり、伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします。伴奏鍵域から手を離すとスタイルが止まり、シンクロスタート待機状態になります。伴奏が「オン」になっていないと、この効果はかかりません。

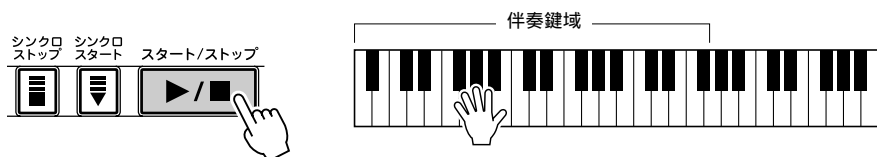


■ スタート.....

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとリズムがすぐにスタートします。
伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードが鳴ります。

メモ

・[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけがスタートします。



■ タップスタート.....

4拍子なら4回、3拍子なら3回、弾きたいテンポで[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。

ボタンを押すタイミングでリズムがスタートします。



イントロシンクロスタート

[シンクロスタート](SYNC START)ボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビート表示が点滅します。

この状態で[イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタンを押すとイントロのスタイルパターンで始まるシンクロスタート待機状態になります。

伴奏鍵域でコードを弾くと、イントロで始まるスタイルがスタートし、イントロのあと、メインA(またはB)のスタイルパターンへ移行します。(44ページ参照)



スタイルのストップ

スタイルのストップ方法には、以下の3種類があります。

[スタート/ストップ]
(START/STOP)ボタン



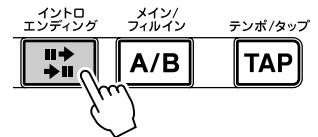
すぐにストップします。

[シンクロスタート]
(SYNC START)ボタン



すぐにストップします。
ビート表示が全点滅して、シンク
ロスタート待機状態になります。

[イントロ エンディング]
(INTRO ENDING)ボタン

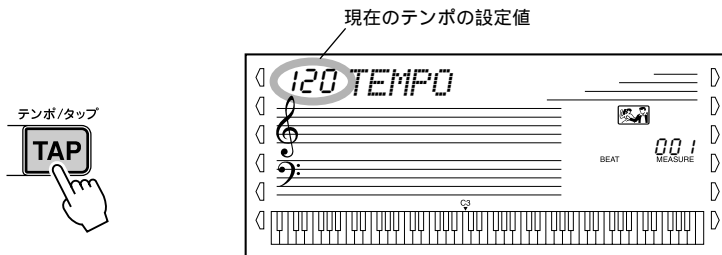


エンディングセクションを演奏して
からストップします。

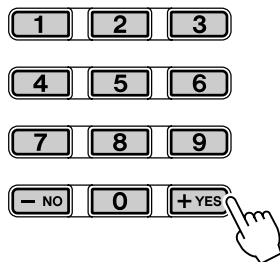
テンポの調整

スタイルのテンポを「♩=32～280(1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押します。



2 数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を押して、テンポ設定値を変更します。



メモ

- ・リズムがストップしているときにスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に設定されます。リズム演奏中にスタイルを変更した場合は、テンポは変わりません。
- ・ワンタッチセッティングが選ばれているときは、現在選ばれているスタイルやソングに最適なテンポが自動的に設定されます。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、現在選ばれているスタイルに最適なテンポ値が設定されます。

■ タップ機能.....

自分の感覚で自由にテンポを設定できます。

4拍子なら4回、3拍子なら3回、自分の感覚で[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。

ボタンを押すタイミングが、テンポとなってスタートします。

メモ

- ・タップ機能は、スタイル再生中でも使うことができます。



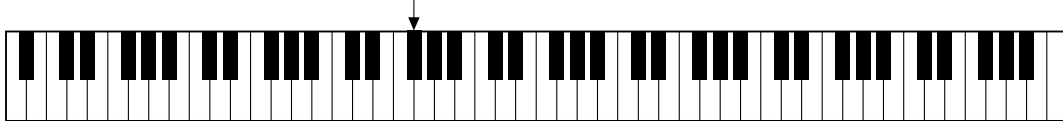
伴奏コードの押さえ方

基本的な押さえ方として、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。DGX-500/300は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を使用しています。

- シングルフィンガーコードの簡単な押さえ方
- フィンガード通常のコードの押さえ方

スプリットポイントより左の鍵盤(初期設定：54(F#2))でコードを弾いてください。

スプリットポイント初期設定値：54(F#2)

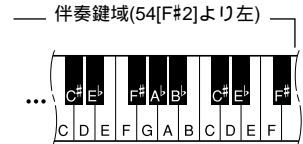


■ シングルフィンガー.....

伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。



・ルートキー(根音)と押さえる鍵盤



シングルフィンガーのコードの押さえ方



・メジャー (M)コード
ルートキー(根音)を押さえてください。



・セブンス (7)コード
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。



・マイナー (m)コード
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。



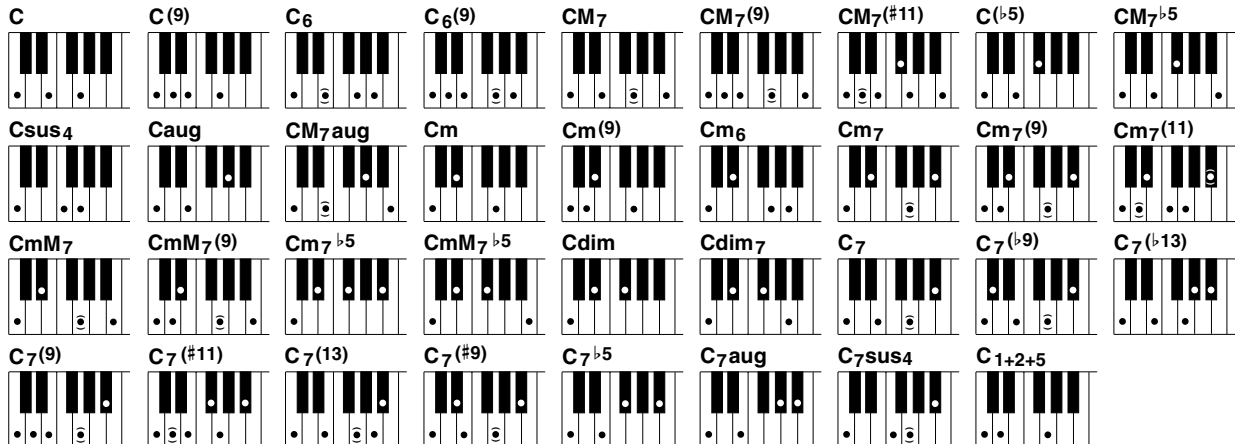
・マイナーセブンス (m7)コード
ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

■ フィンガード.....

伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出し伴奏が演奏されます。

フィンガードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[Cの押鍵例]



カッコ()で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。

いろいろなスタイルで演奏しましょう

フィンガードで認識されるコード

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー [M]	1 - 3 - 5	C	C
アドナインス [(9)]	1 - 2 - 3 - 5	C(9)	C(9)
シックス [6]	1 - (3) - 5 - 6	C6	C6
シックスナインス [6(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7 または 1 - (3) - 5 - 7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインス [M7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - 7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアドシャープイレブンス [M7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - 7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - 7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ [(b5)]	1 - 3 - b5	C(b5)	Cb5
メジャーセブンスフラットファイブ [M7b5]	1 - 3 - b5 - 7	CM7b5	CM7b5
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5	Csus4	Csus4
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント [M7aug]	1 - (3) - #5 - 7	CM7aug	CM7aug
マイナー [m]	1 - b3 - 5	Cm	Cm
マイナーアドナインス [m(9)]	1 - 2 - b3 - 5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス [m6]	1 - b3 - 5 - 6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス [m7]	1 - b3 - (5) - b7	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインス [m7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - b7	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアドイレブンス [m7(11)]	1 - (2) - b3 - 4 - 5 - (b7)	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス [mM7]	1 - b3 - (5) - 7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインス [mM7(9)]	1 - 2 - b3 - (5) - 7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7	Cm7b5	Cm7b5
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ [mM7b5]	1 - b3 - b5 - 7	CmM7b5	CmM7b5
ディミニッシュ [dim]	1 - b3 - b5	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス [dim7]	1 - b3 - b5 - 6	Cdim7	Cdim7
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - b7 または 1 - (3) - 5 - b7	C7	C7
セブンスフラットナインス [7(b9)]	1 - b2 - 3 - (5) - b7	C7(b9)	C7(b9)
セブンスアドフラットサーティーンズ [7(b13)]	1 - 3 - 5 - b6 - b7	C7(b13)	C7(b13)
セブンスナインス [7(9)]	1 - 2 - 3 - (5) - b7	C7(9)	C7(9)
セブンスアドシャープイレブンス [7(#11)]	1 - (2) - 3 - #4 - 5 - b7 または 1 - 2 - 3 - #4 - (5) - b7	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアドサーティーンズ [7(13)]	1 - 3 - (5) - 6 - b7	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインス [7(#9)]	1 - #2 - 3 - (5) - b7	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7	C7b5	C7b5
セブンスオーギュメント [7aug]	1 - 3 - #5 - b7	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - (5) - b7	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ [1+2+5]	1 - 2 - 5	C1+2+5	C

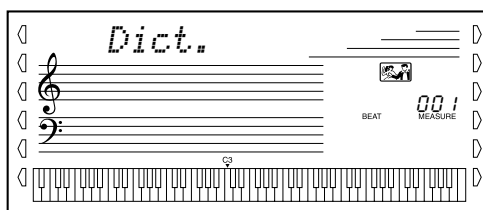
メモ

- ・カッコ () 内の音符は省略しても構いません。
- ・完全 5 度の押鍵ではルート音と 5 度の音による伴奏が演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。
- ・オクターブ(完全 8 度)の押鍵では、ルート音のみによる伴奏が演奏されます。
- ・コード押鍵はすべて基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。
m7, m7b5, 6, m6, sus4, aug, dim7, 7b5, 6(9), 1+2+5
- ・7sus4 と m7(11) は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。
- ・同じようなコードが連続した場合 (マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、伴奏が変化しないことがあります。
- ・鍵盤を 2 つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

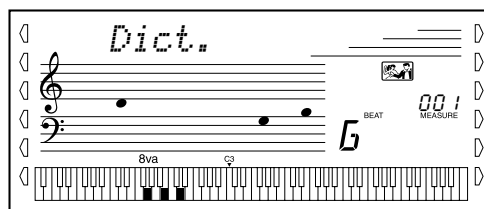
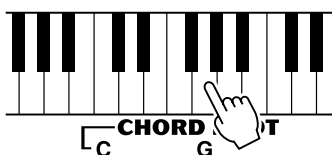
コードディクショナリーでコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コードディクショナリー機能で調べることができます。

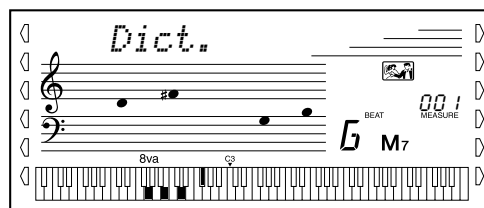
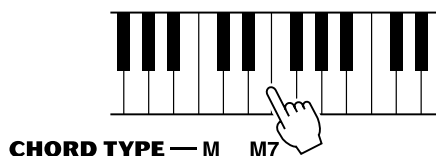
1 [コードディクショナリー](DICTIONARY)ボタンを押します。



2 たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の下に書かれた「**CHORD ROOT**」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音はディスプレイに表示されます。



3 鍵盤の下に書かれた「**CHORD TYPE**」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます。



ディスプレイにしたがって、コード検出鍵域でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

メモ

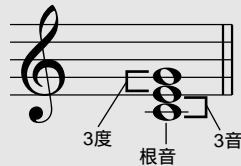
- メジャーコードについて
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。
- 例：Cの表記はCメジャーを意味します。
- メジャーコードを調べる場合、ルート音を押して、次に「M」を押してください。

いろいろなスタイルで演奏しましょう

■ コード(和音)について

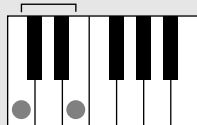
音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、确实によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

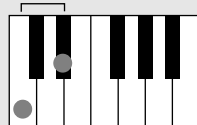


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

長3度...半音4つの間隔

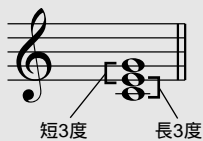


短3度...半音3つの間隔

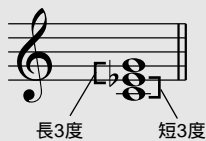


その組み合わせは次の4種類になります。

メジャーコード



マイナーコード



オーギュメントコード



ディミニッシュコード



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

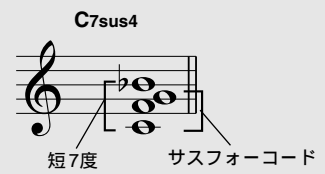
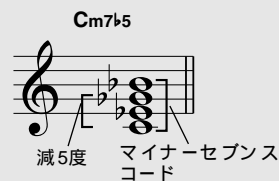
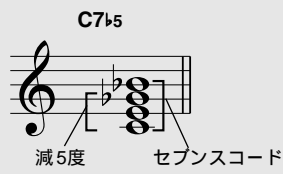
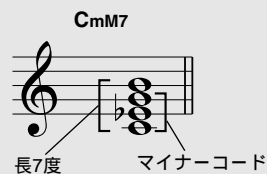
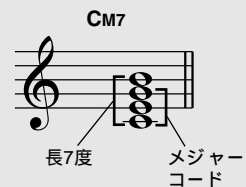
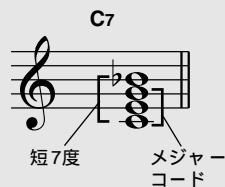
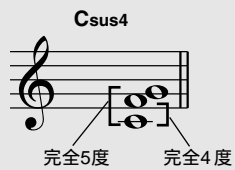
種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

和音の表記について

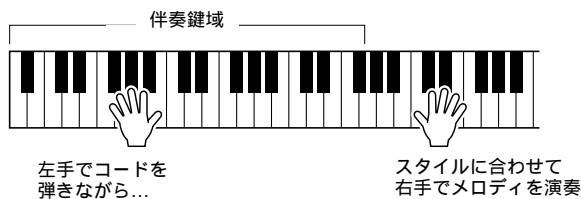
和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。



和音の種類(フィンガードで認識されるものの一部)



スタイルに合わせてメロディ演奏



メモ

・自分の演奏しやすいテンポに設定しましょう。(38ページ参照)

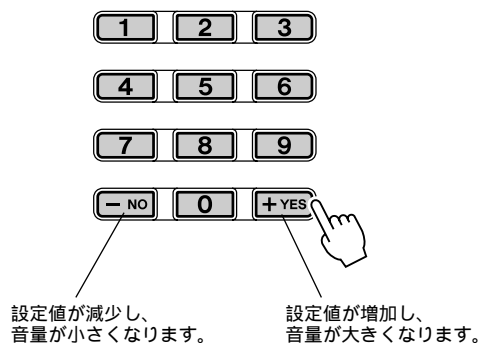
■ スタイル音量の設定

スタイル全体の音量を調節して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

- ① メニュー [L] ボタンを押して、「スタイル/ソング音量」(ACMP/SONG VOLUME) を選びます。



- ② 数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-] を押して、スタイルの音量を000 ~ 127の範囲で変更します。

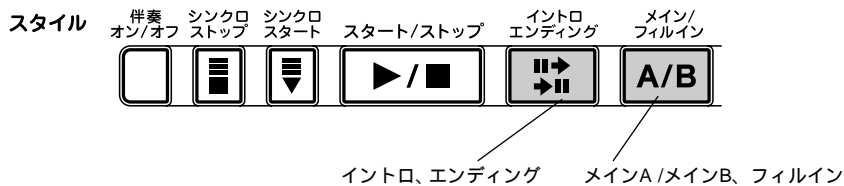


メモ

・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。
 ・スタイル音量は、スタイルが選ばれているとき、設定できます。

スタイルパターンの切り替え

スタイルには、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングのパターンがあります。曲の構成に合わせてパターンを変えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。



■ イントロ.....

曲のスタート前に[イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタンを押すと、イントロ(曲の始まりにふさわしいフレーズ)が、予約されます。

リズムスタート前に[イントロ エンディング]
(INTRO ENDING)ボタンを押します。



曲のスタート前に、[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタンを押すと、イントロ演奏後のパターン(メインA/メインB)を指定することもできます。

もう一度[イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタンを押すと、イントロがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるメインAまたはメインBが表示されます。

■ メインA, B.....

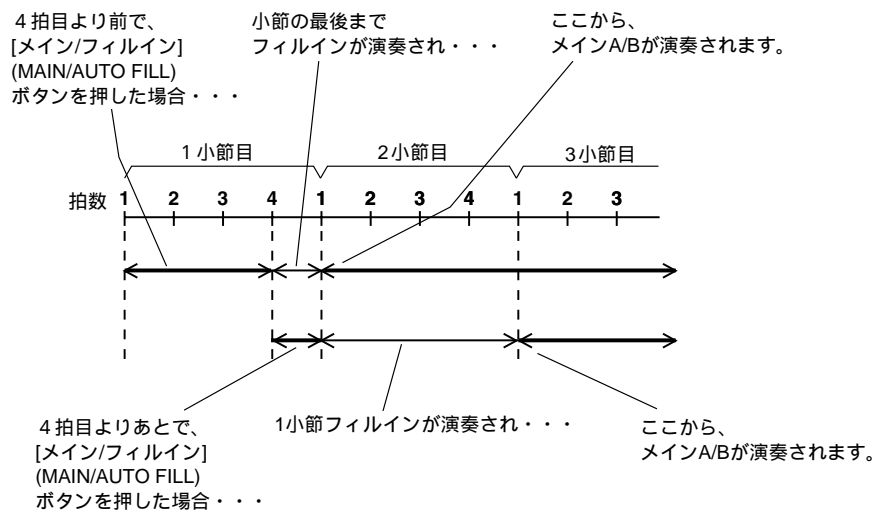
A/B、2つのバリエーションがあります。[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタンを押すと、違うバリエーションに替わります。(押すタイミングにより、フィルインパターンを演奏して、違うバリエーションに移ります)。



メモ

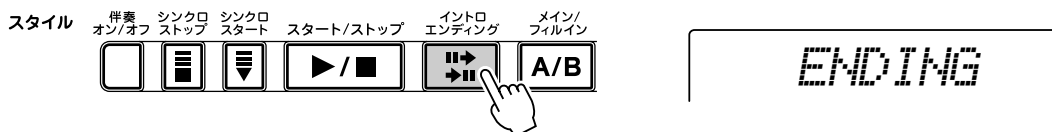
・スタート前(リズム停止中)に[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL)ボタンを押してパターンを予約することもできます。

[メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押すタイミング



■ **エンディング**.....

曲の最後に[イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタンを押すと、曲の終り(エンディング)にふさわしいフレーズになり、演奏が自動的にストップします。



リタルダンド

エンディング演奏中に [イントロ エンディング] (INTRO ENDING) ボタンを押すと、演奏にリタルダンド(だんだん遅くなる)がかかり、ストップします。

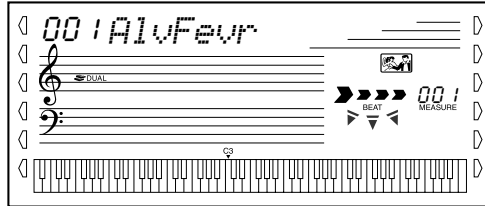
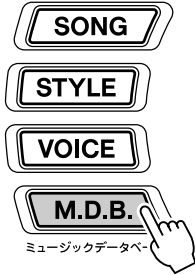




ミュージックデータベースを使って演奏してみよう

自分の好きなジャンルの音楽を演奏したいけれども、楽器やスタイルなどのパネル設定をどのようにしたらよいか、わからない。そんな時は、ミュージックデータベースの中から、あなたの好きなジャンルの音楽を選んでください。
DGX-500/300は、ジャンルに合ったパネル設定になります！

- 1** [M.D.B.](ミュージックデータベース)ボタンを押します。
DGX-500/300のディスプレイにミュージックデータベース名が表示されます。

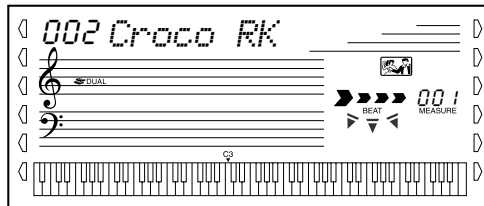
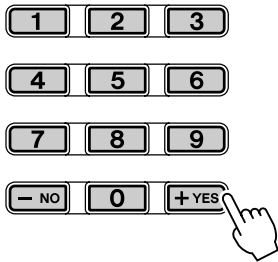


メモ

・[M.D.B.](ミュージックデータベース)ボタンを押すとスタイルモードになり、自動伴奏オン、シンクロ待機状態オンになります。

- 2** 数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]を使ってミュージックデータベースを選びます。

あなたが演奏したいと思う曲のイメージに合ったものを選んでみましょう。

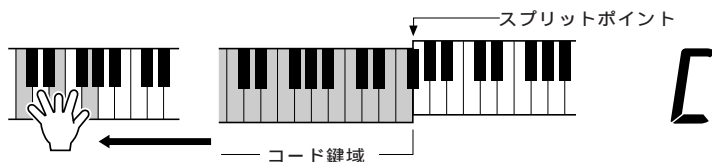


ここでは「208」を選び、下記の楽譜「きよしこの夜」を弾いてみましょう。

♩ = 82 きよしこの夜

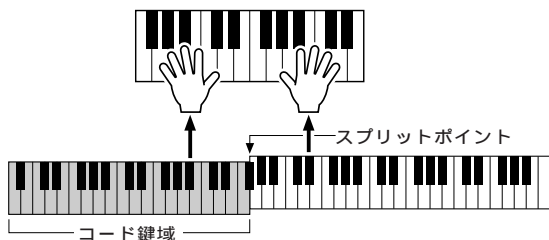
3 左手でコードを押すと、自動伴奏がスタートします。
たとえばCを押さえてみましょう。

メモ
・鍵盤の機能を左右で分割するポイントのことをスプリットポイントと言います。(28ページ参照)



4 楽譜にしたがって、左手でコードを押し、右手でメロディを弾いてみましょう。

コードの押さえ方については39ページを参照してください。



5 [イントロ エンディング](INTRO ENDING) ボタンを押すと、再生がストップします。

ミュージックデータベース設定内容

ミュージックデータベースを活用すれば、下記の設定をワンタッチで呼び出すことができます。したがって楽器やスタイルなどをひとつひとつ設定しなくても、あなたの好きな音楽ジャンルにぴったりのサウンドで、すぐに演奏を始めることができ、大変便利です。なお、各設定については下記ページで詳しく説明します。

楽器に関する設定

メイン 楽器, ボリューム, リバーブデプス, DSP デプス.....	25 ページ
デュアル オン / オフ, 楽器, オクターブ, ボリューム, リバーブデプス, DSP デプス.....	27 ページ
・ リバーブタイプ	32 ページ
・ DSP タイプ.....	33 ページ
・ ハーモニーオン / オフ	34 ページ
・ ハーモニータイプ	34 ページ
・ トランスポーズ.....	29 ページ
・ ピッチバンドレンジ.....	30 ページ

スタイルに関する設定

・ シンクロスタート = オン *	36 ページ
・ スタイル番号	35 ページ
・ 伴奏スプリットポイント.....	28 ページ
・ メイン A / メイン B.....	44 ページ
・ テンポ.....	38 ページ
・ スタイル音量.....	43 ページ

* スタイルが停止している時だけ設定できます。



パネルの設定を記憶させましょう (レジストレーションメモリー)

自由なパネル設定(楽器、スタイルなど本体パネル上で設定した内容)が16種類記録できます(8バンク×2)。記録したパネル設定は、いつでも呼び出すことができます。

パネル設定を記録する

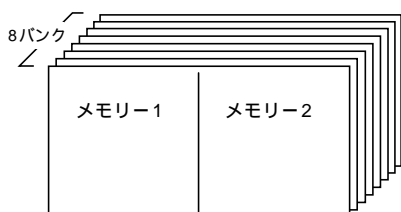
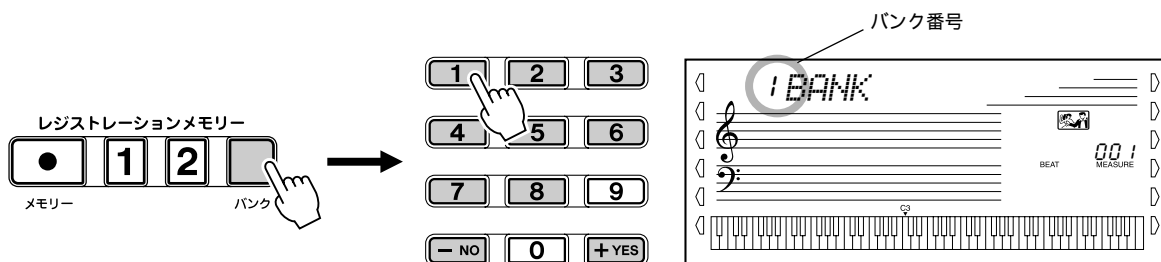
レジストレーションメモリーに記録/呼び出しできる設定内容

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器番号 ・ メインボイスボリューム ・ メインボイスリバーブレベル ・ メインボイスDSPレベル ・ デュアルボイスオン/オフ ・ デュアルボイス楽器番号 ・ デュアルボイスオクターブ ・ デュアルボイスボリューム ・ デュアルボイスリバーブレベル ・ デュアルボイスDSPレベル ・ スプリットポイント ・ リバーブタイプ | <ul style="list-style-type: none"> ・ DSPタイプ ・ ハーモニー オン/オフ、およびハーモニータイプ ・ スタイル番号 1 ・ 伴奏 オン/オフ 1 ・ 伴奏設定(メインA/B) 1 ・ スタイル音量 1 ・ テンポ 1 ・ トランスポーズ ・ ピッチベンドレンジ |
|--|--|

1 ソングでは機能しません。

1 パネル設定(楽器、スタイルなど本体パネル上で設定した内容)を記録させたい状態にします。

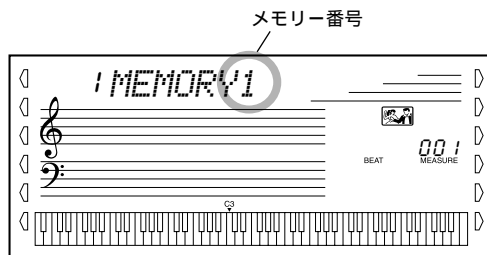
2 [バンク](BANK)ボタンを押して、バンク番号を表示させ、数字ボタン[1]~[8], [+], [-]を押して、記録したいバンク(1~8)を選択します。



16種類(8バンク×2)のパネルを記録できる

パネルの設定を記憶させましょう (レジストレーションメモリー)

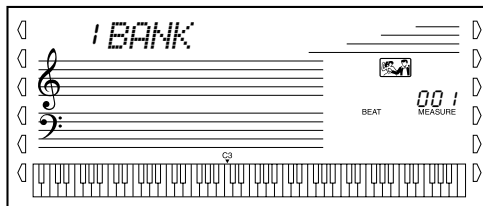
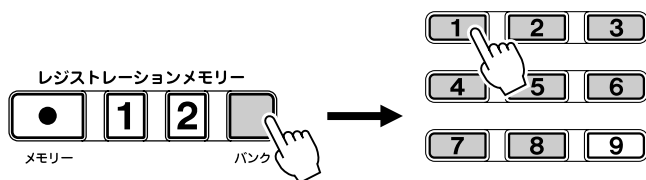
- 3** [メモリー](MEMORY)ボタンを押しながら、レジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY)[1]または[2]ボタンを押します。
これで現在のパネル設定が記録されました。



・すでにデータが記録されているレジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY) を選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消去されます。

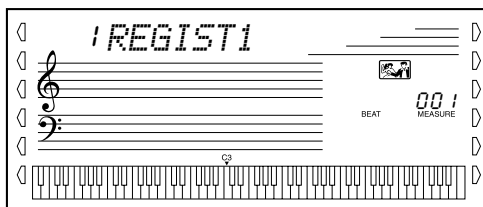
記録したパネル設定を呼び出す

- 1** [バンク](BANK)ボタンを押してバンク番号を表示させます。
数字ボタン[1]~[8], [+], [-]を押して、呼び出したいバンク(1~8)を選択します。



・レジストレーションメモリーで設定を呼び出すと、現在のパネル設定は失われます。大切な設定データは、他のレジストレーションメモリー番号に記録しておきましょう。

- 2** レジストレーションメモリー (REGISTRATION MEMORY)[1]または[2]ボタンを押すと、パネルに設定内容が呼び出されます。





ソングを鳴らしましょう

DGX-500/300にはデモソングが3曲入っています。まずデモソングを鳴らしてみましょう。
自分の演奏を録音する場合は録音機能を活用しましょう。(63ページ参照)

デモソングを聞くには...

[デモ](DEMO)ボタンを押します。
デモソングをソング番号順に、連続して再生します。

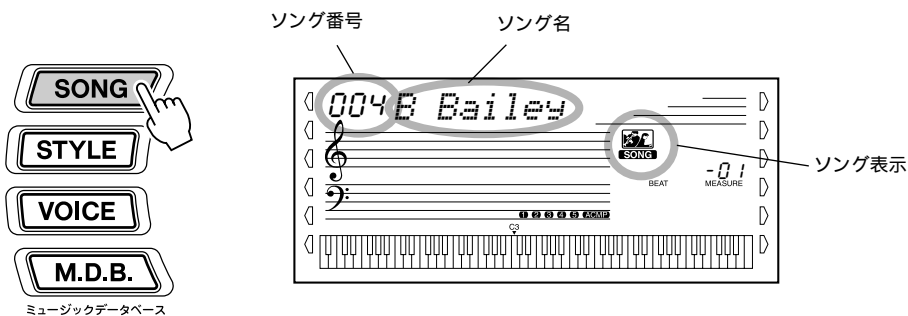


・[デモ](DEMO)ボタンを押しながら電源を入れると、[デモ](DEMO)ボタンを押してもデモソングが鳴らなくなります。電源を入れ直すと、通常の状態に戻ります。

[スタートストップ](START/STOP)ボタンまたは[デモ](DEMO)ボタンを押すと、デモソングがストップします。

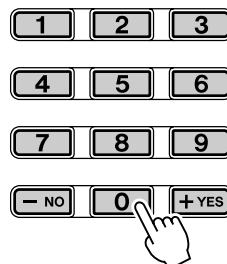
好きなソングを1曲ずつ聞くには...

1 [SONG]ボタンを押します。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]で番号を選びます。
番号の選びかた(21ページ参照)

001 ~ 003	デモソング
004 ~ 100	ソング
101 ~ 199	ディスクソング ソングデータが入ったディスクを差し込んだとき、この番号を使用します。
201 ~ 205	ユーザーソング (録音方法は63ページを参照してください。)



・自分で録音したユーザーソング1~5(ソング番号201~205)も同様に選んで再生できます。(63ページ参照)

ソングを鳴らしましょう

3 ソングをスタート/ストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤演奏もできます。もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングがストップします。



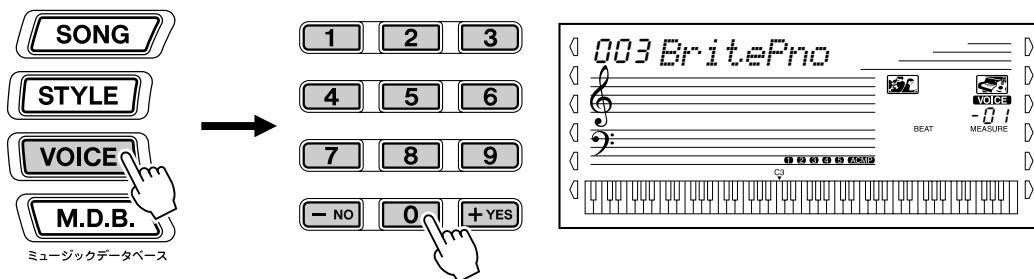
その他の操作

- [一時停止](PAUSE)ボタン ソングを一時停止します。もう一度押すと一時停止した位置から再生がスタートします。
- [早送り](FF ▶▶)ボタン 再生中に押すとソングを早送りします。停止中に押すと小節番号が増加します。
- [巻戻し](◀◀REW)ボタン 再生中に押すとソングを巻戻します。停止中に押すと小節番号が減少します。巻戻し中は、ソングは再生されません。

ソングのメロディ音色を変更する(メロディ音色の変更)

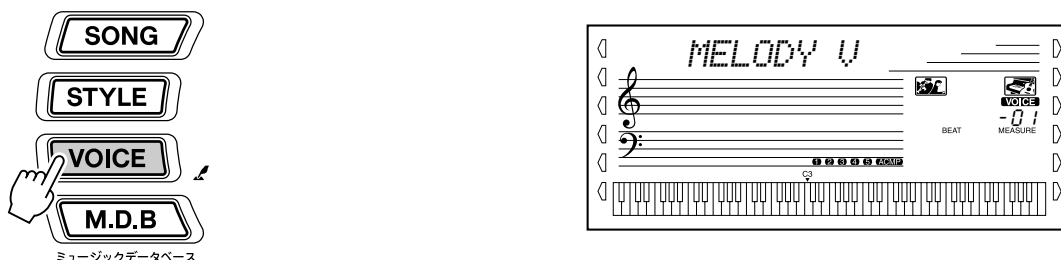
ソングのメロディ音色を、好みの楽器(音色)に変えることができます。

- 1 メロディ音色を変更したいソングを選んだあとで、[VOICE]ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]で好みの楽器を選びます。



鍵盤を弾く音色が設定された楽器になります。

- 2 [VOICE]ボタンを1秒以上押し続けます。「MELODY VOICE CHANGE」とディスプレイに表示されたあと、ソングのメロディ音色が手順1で選んだ楽器に変わります。



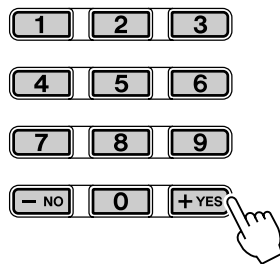
テンポの調整

ソングのテンポを「♩ = 32 ~ 280 (1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP) ボタンを押します。



2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、テンポ設定値を変更します。



メモ

- ・リズムが停止しているときにソングを選ぶと、そのソングに最適なテンポが自動的に設定されます。
- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、現在選ばれているソングに最適なテンポ値が設定されます。

■ タップ機能.....

自分の感覚で自由にテンポを設定できます。
4拍子なら4回、3拍子なら3回、自分の感覚で[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。
演奏したいテンポでボタンを押してください。

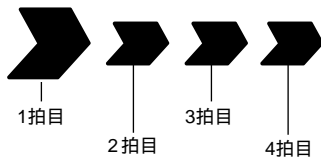
メモ

- ・タップ機能は、ソング再生中でも使うことができます。



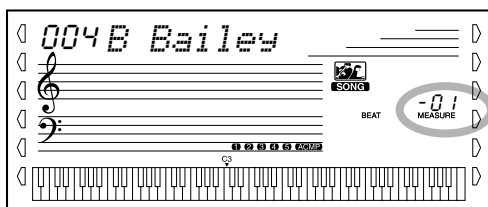
ビート表示について

演奏中は、テンポに合わせて4つのバー(4拍子の場合)が点滅します。



フリーテンポについて

ソングによっては、演奏表現をより豊かにするために、小節やビートに同期しないテンポで制作したソングがあります。この曲の再生中は、MEASUREの表示は、「F と」になります。



小節番号
フリーテンポの曲が選ばれているときは、「F と」を表示します。

ソングを鳴らしましょう

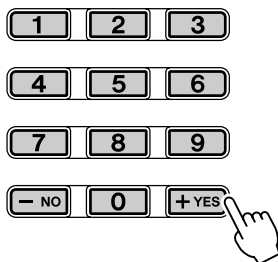
ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

- 1 メニュー [L] ボタンを押して、「スタイル/ソング音量」(ACMP/SONG VOLUME) を選びます。



- 2 数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して、ソングの音量を000~127の範囲で変更します。



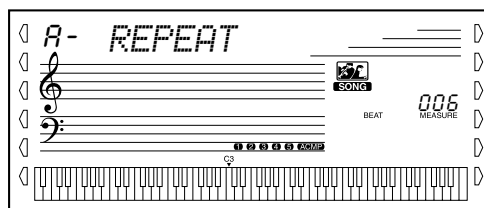
メモ

- ・数字ボタン[+], [-]を同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。
- ・ソング音量は、ソングが選ばれているとき、設定できます。

くり返し練習

ソングの一部分「A(くり返しの始まり)」、「B(くり返しの終わり)」を設定して、その間の演奏をくり返し再生させることができます。

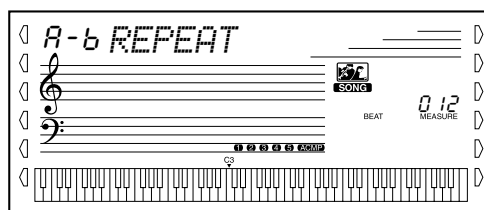
- 1 ソングを再生し、くり返しの始まりの位置で、[くり返し練習](A-B REPEAT) ボタンを押します。



メモ

- ・くり返しの設定は、小節単位で行ないます。
- ・くり返しの始まり位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[くり返し練習](A-B REPEAT) ボタンを押して設定します。

- 2 くり返しの終わりの位置で、もう一度[くり返し練習](A-B REPEAT) ボタンを押します。ソングは、A-B間でくり返し再生されます。



くり返し設定を取り消すには、くり返し再生中に[くり返し練習](A-B REPEAT) ボタンを押します。



ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

好みの曲を選んで、右手・左手別々に3段階のソングレッスンと両手のレッスンをすることができます。右手パートを練習するときは[右手]ボタン、左手パートを練習するときは[左手]ボタンを押します。

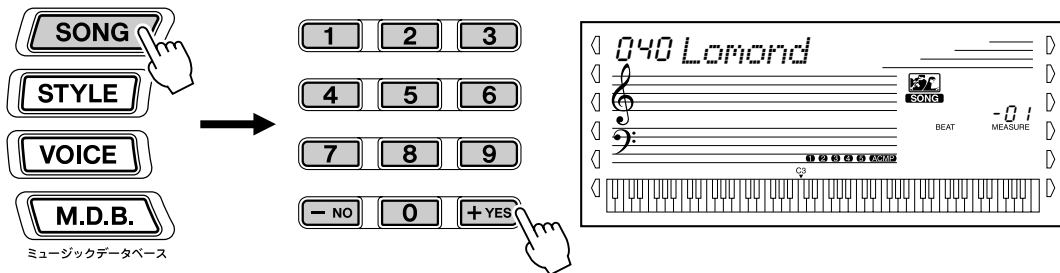
レッスン方法について

- レッスン1：タイミング..... 鍵盤を弾くタイミングを練習します。
- レッスン2：ウェイティング..... 音符どおりに正しく鍵盤を弾く練習をします。
- レッスン3：マイナスイオン..... 伴奏に合わせて、音符どおりに弾く練習をします。
- レッスン4：ポーズハンド..... 伴奏に合わせて、音符どおりに両手で弾く練習をします。

レッスンを始めましょう

1 レッスン曲を選びます。

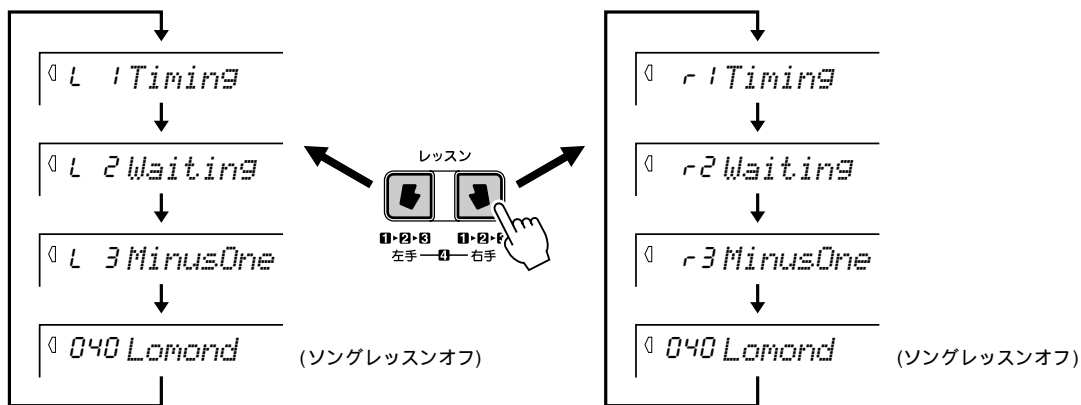
[SONG]ボタンを押し、数字ボタン[0]～[9],[+],[-]で、レッスン曲(ソング番号001～100)を選びます。フロッピーディスクのソングを選ぶ場合は、(ソング番号101～199)を選びます。



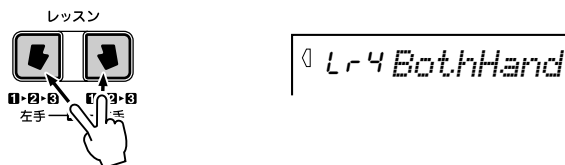
2 レッスン方法を選びます。

右手を練習したいときは[右手]ボタン、左手を練習したいときは[左手]ボタンを押します。

ボタンを押すごとに、レッスン1 レッスン2 レッスン3 「オフ」(ソング) レッスン1・・・の順番で変わり、ディスプレイにレッスン名が表示されます



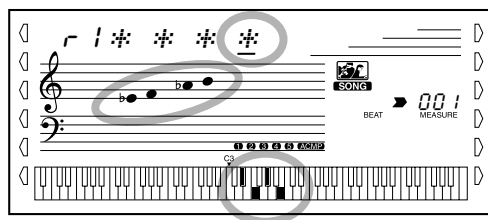
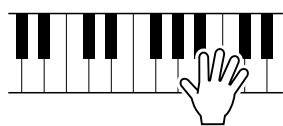
レッスン4を選ぶときは、[右手],[左手]ボタンを、両方同時に押します。



3 レッスンを始めましょう。

レッスン方法を選ぶと同時に、レッスン曲がスタートします。

スタートすると、最初に弾く音が、ディスプレイに表示されます。表示にしたがって練習していきましょう。



メモ

・鍵盤を押すタイミングを、*で表示します。一行は一小節を表します。

・* → #
8分音符より早いタイミングのときは、同じ位置に*と#が表示されます。

1曲が終わると、レッスン結果を採点し表示します。(61ページ参照)

4 レッスンを終わるには・・・

もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します。



ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

レッスントラックの選択

フロッピーディスクのソングで、レッスンをするときのレッスントラックを選択します。
(フロッピーディスクを使用する場合は、69ページを参照ください。)

1 メニュー [R] ボタンを押して、「レッスントラック左手/右手」(LESSON TRACK L/R)を選びます。このとき画面には「L-Part」(左手パート)が表示されます。「R-Part」(右手パート)を選びたいときは、もう一度メニュー [R] ボタンを押します。

メモ

- ・この機能は、SMF=Format0のソングにのみ使用可能です。
- ・トラックオクターブの設定が必要な場合は、70ページを参照ください。

メモ

- ・ソングが鳴っているときは、この操作はできません。

2 数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-] を押して、レッスントラックを選択します。

レッスン1(タイミング)

鍵盤を弾くタイミングを練習しましょう。

練習するパートのリズムに合わせて、右手パートのレッスンでは演奏鍵域(F#2より右側)、左手パートのレッスンでは伴奏鍵域の鍵盤を弾きます。

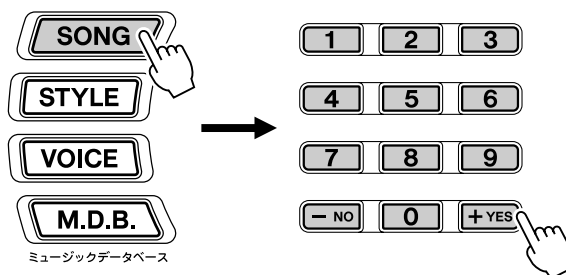
レッスン1では、鍵域内の鍵盤であれば、どの鍵盤でもかまいません。

メモ

- ・リズムに合わせてタイミングよく鍵盤を弾くと、メロディ音が鳴ります。

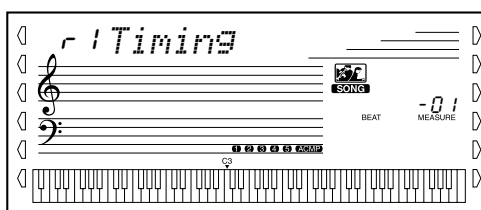
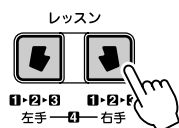
1 練習したい曲を選びます。

[SONG]ボタンを押し、数字ボタン[0]~[9], [+], [-]で、レッスン曲を選びます。



2 レッスン1を選びます。

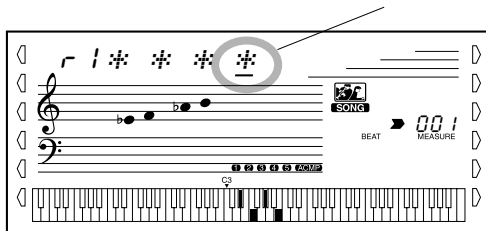
右手を練習したいときは[右手]ボタン、左手を練習したいときは[左手]ボタンを押して、レッスン1を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン1を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾くタイミングがディスプレイに表示されますので、それに合わせて弾きましょう。

現在の位置をアンダーバーで表します。



レッスン2(ウェイティング)

ディスプレイの音符どおりに正しく弾く練習をしましょう。

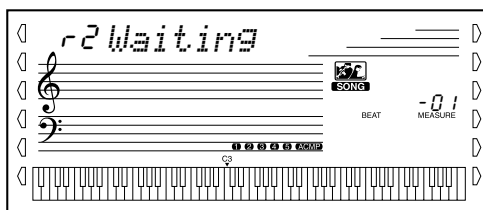
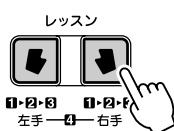
ディスプレイには、押さえる鍵盤と音符が表示されます。正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤と音符がディスプレイに表示されます。

伴奏は、正しい鍵盤が押されるまで待っていてくれます。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン2を選びます。

[右手]または[左手]ボタンを押して、レッスン2を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン2を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。音符どおりに正しい鍵盤を弾いて練習しましょう。

メモ

・レッスン2では、リズムパートの音は鳴りません。

ソングを弾いてみましょう(ソングレッスン)

レッスン3(マイナスイワン)

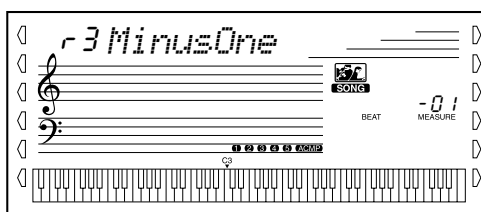
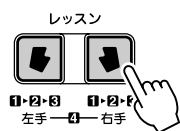
練習しているパート(右手/左手)以外の伴奏が鳴り、ソングの進行に合わせて、弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。

カラオケのように、伴奏に合わせて右手/左手の練習をしましょう。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン3を選びます。

[右手]または[左手]ボタンを押して、レッスン3を選びます。



3 レッスンをスタートします。

レッスン3を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。弾くパートだけが鳴らずに曲が進んでいきますので、曲をよく聞いて弾く練習をしましょう。

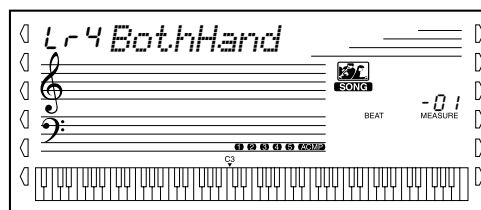
レッスン4(ボースハンド)

レッスン3と同様のマイナスイワンレッスンを両手で行ないます。レッスン1~3で片手づつの演奏ができるようになったら、レッスン4を選び両手で弾く練習をします。

1 レッスン曲を選びます。

2 レッスン4を選びます。

[右手], [左手]ボタンを同時に押します。



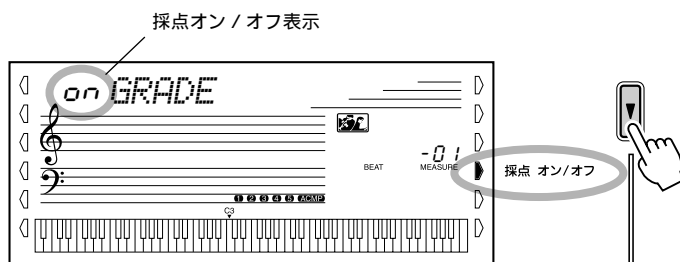
3 レッスンをスタートします。

レッスン4を選ぶと、レッスンが自動的にスタートします。弾く音の音符と鍵盤位置がディスプレイに表示されます。

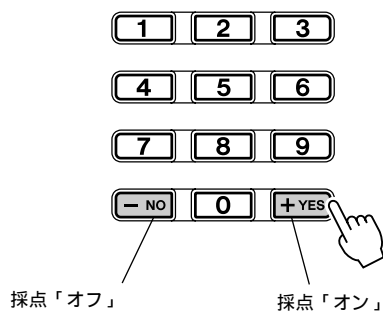
採点

レッスンを使用して1曲終了したとき、レッスン結果を採点します。その結果は4段階 (OK, Good, Very Good!, Excellent!)で表示されます。

- 1 メニュー [R] ボタンを押して、「採点オン/オフ」(GRADE)を選びます。



- 2 数字ボタン [+ / YES] を押して、採点を「オン」にします。



メモ

- ・電源を入れたとき、採点は「オン」になっています。採点を「オフ」にしたいときは、数字ボタン [-] で「オフ」にします。

採点を表示したあと、再びレッスンを始めます。

Excellent!	████████████████
Very Good!	██████████
Good	██████
OK	███



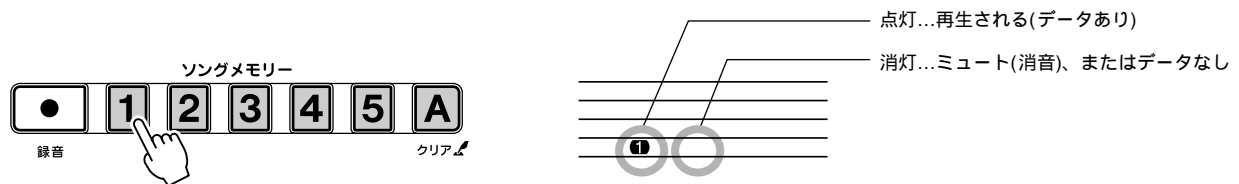
ソングのトラック構成について覚えましょう

DGX-500/300のソングにはプリセットソング100曲と、自分の演奏を録音できるユーザーソング(64ページ参照)5曲があります。

ここでは、ソングのトラック構成について覚えましょう。

ソングメモリー (SONG MEMORY)[1] ~ [5], [A] ボタンを押すと、トラックをオン/オフすることができます。

「オフ」にするとそのトラックの演奏はミュート(消音)され、ディスプレイのトラック表示が消灯します。



ソングトラックの構成は以下のとおりです。

トラック[1] ~ [5] 録音したトラックのオン/オフができます。

トラック[A] 伴奏トラックのオン/オフができます。

特定のトラックを「オフ」にして再生し、そのトラックを自分で弾くこともできます。



録音しましょう

DGX-500/300 は、ソングメモリー機能により自分の演奏をユーザーソングとして5曲 (ソング番号201 ~ 205 : User1 ~ 5) 録音することができます。

録音した内容は、プリセットされているソングと同じように鳴らすことができます。

また録音した内容は、フロッピーディスクに保存(セーブ)できます。(70ページ参照)

演奏を録音する

DGX-500/300 では、鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するようにリアルタイムに録音できます。

ユーザーソング1~5の1曲ごとに6つのトラックを使って録音できます。

メロディトラック[1]~[5].....メロディ演奏を録音します。

伴奏トラック[A].....コード演奏を録音します。

録音できるデータ

メロディトラック1~5に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(押鍵の強弱)
- ・ 楽器番号
- ・ リバーブタイプ*
- ・ DSPタイプ*
- ・ ハーモニータイプ オン/オフ
- ・ サステイン オン/オフ
- ・ テンポ*/拍子*(伴奏トラックが録音されていない場合のみ有効)
- ・ ピッチベンド

伴奏トラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵タイミング
- ・ スタイルパターンの変更
- ・ スタイル番号*
- ・ リバーブタイプ*
- ・ DSPタイプ*
- ・ テンポ
- ・ 拍子*

* 印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。



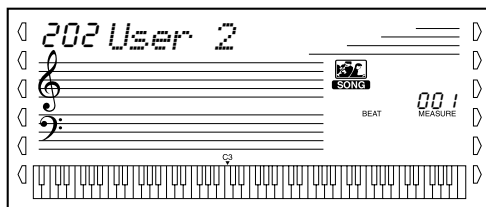
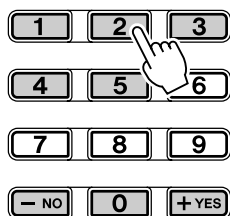
- ・ 録音中に電源を切った場合や、録音中に電源アダプターをコンセントから抜いた場合、電池が切れた場合はソングデータが失われますのでご注意ください。



- ・ スタイルモードで[録音](REC)ボタンとトラックボタンを押した場合、自動的にユーザーソング録音待機状態になります。
- ・ 録音容量：
メロディトラックだけに録音した場合、約10,000の音符数が録音できます。
伴奏トラックだけに録音した場合、約5,500のコード数が録音できます。

1 録音するユーザーソング番号を選びます。

[SONG]ボタンを押したあと、数字ボタン[0]~[5], [+], [-]を押して、ユーザーソング番号(201~205)を選びます。



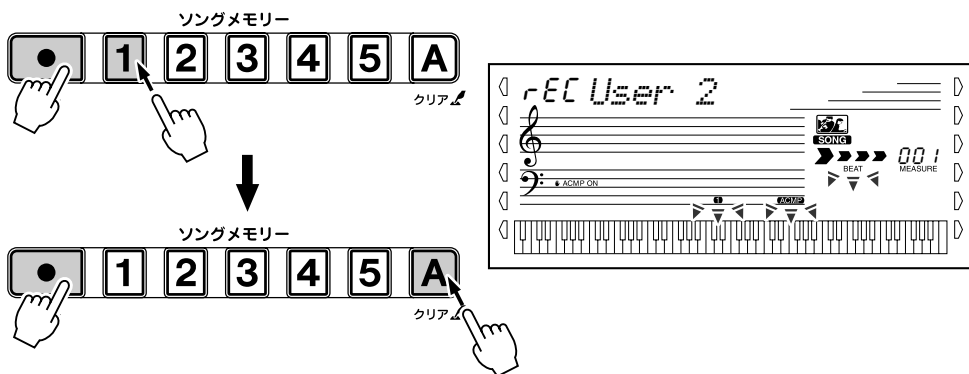
- ・ ユーザーソング番号を選ばないで次の操作をすると、録音されていないユーザーソングが自動的に選ばれます。

録音しましょう

2 録音するトラックを選びます。

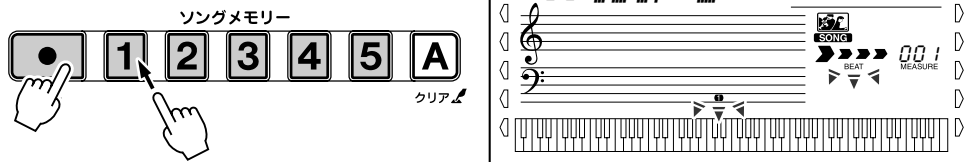
ディスプレイのトラック表示を確認し、録音されていないトラックを選びます。

メロディトラック1つと伴奏トラックを同時に録音する場合



メロディトラックを録音する場合

[録音](REC)ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン(1~5)を選びます。選んだトラックは点滅表示します。



3 録音をスタートします。

鍵盤を弾くと録音がスタートします。また、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押しても、録音がスタートします。

録音中は、ディスプレイに現在の小節番号が表示されます。

4 録音をストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP)または、[録音](REC)ボタンを押すと録音がストップします。



伴奏トラック録音中に、[イントロ エンディング](INTRO ENDING)ボタンを押すと、エンディングセクションを演奏して録音が終了します。

録音を終了すると、ディスプレイの小節番号は「001」に戻り、録音したトラックの表示は点灯に変わります。



・録音されているトラックへ録音すると、元のデータは消去されます。



・録音に伴奏トラックを選ぶと、自動的に伴奏は「オン」になります。
・録音スタート後に、伴奏オン/オフの切り替えはできません。
・スプリット音色を使って録音する場合、スプリットポイントよりも低い音は録音されません。



・伴奏が「オン」で、伴奏トラックがまだ録音されていない場合は、メロディトラックを選ぶと、伴奏トラックも自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディだけを録音したい場合は、[A] ボタンを押して伴奏トラックを消灯させます。
・選択したトラックの録音をキャンセルする場合は、そのトラックボタンを再度押し表示を消します。

他のトラックを録音する場合

手順**2**～**4**をくり返し、他のトラックを録音しましょう。

ソングメモリー (SONG MEMORY)[1]～[5], [A]ボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック表示は消灯)、他のトラックを録音することもできます。

録音をやり直すには...

録音済みのトラックを録音トラックとして選択します。

録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)することができます。

ソングの消去

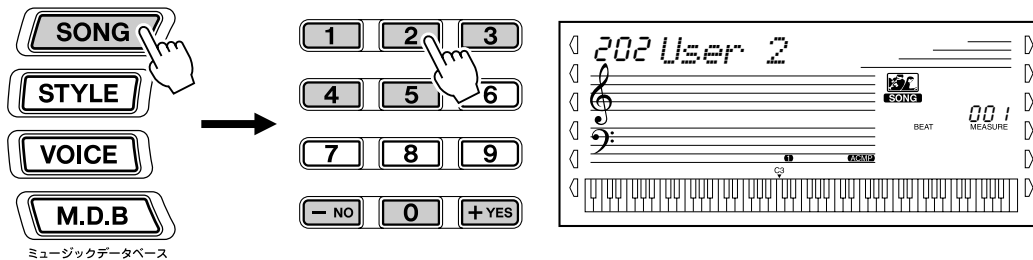
■ ソングクリア.....

録音したユーザーソング、1曲のすべてのトラックをクリア(消去)します。

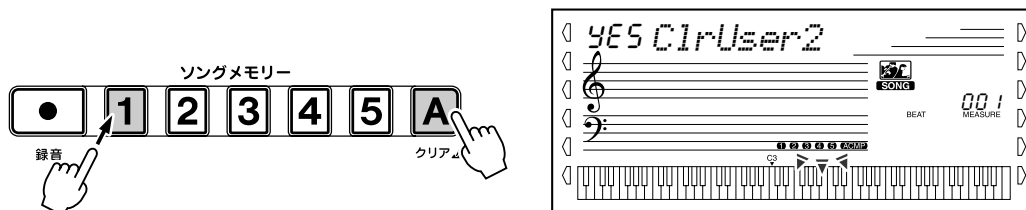


・ユーザーソングの中の特定のトラックを消去したいときは、トラッククリアを行ないます。(66ページ参照)

- 1 [SONG]ボタンを押したあと、数字ボタン[0]～[9], [+], [-]を使って消去したいソング(ソング番号201～205)を選びます。



- 2 ソングメモリー (SONG MEMORY)[A]ボタンを押しながら、ソングメモリー (SONG MEMORY)[1]ボタンを1秒以上押します。ディスプレイのすべてのトラック表示(1～5, A)が点滅します。



録音しましょう

- ③ 数字ボタン[+ /YES]を押します。
“ yES Sure? ” (消去してもいいですか?)と表示されます。
- ④ 消去するときは、もう1度、数字ボタン[+ /YES]を押します。
“ Clear ” と表示され、ソングが消去されます。

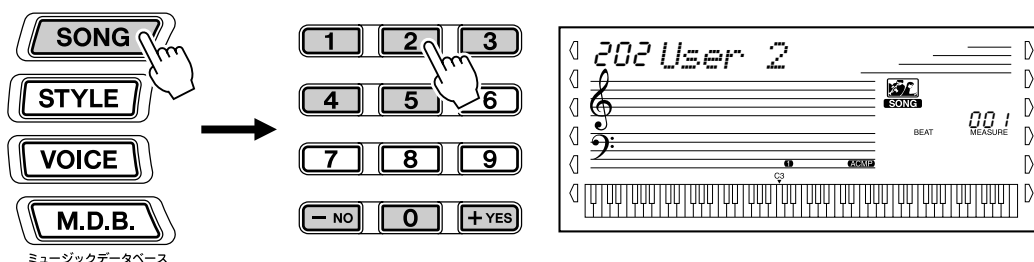


・消去をキャンセルするときは、数字ボタン[- /NO]を押します。

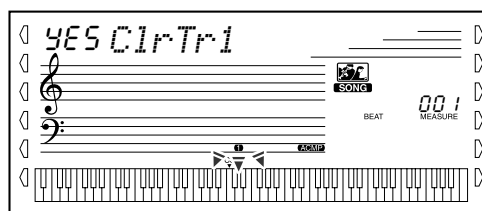
■トラッククリア.....

録音したユーザーソングの、1つのトラックを選んでそのトラックのデータを消去します。

- ① [SONG]ボタンを押したあと、数字ボタン[0] ~ [9], [+], [-]を使って消去したいソング(ソング番号201 ~ 205)を選びます。



- ② 消去したいトラックの番号のソングメモリー (SONG MEMORY)[1] ~ [5], [A]ボタンを1秒以上押します。



- ③ 数字ボタン[+ /YES]を押します。
“ yES Sure? ” (消去してもいいですか?)と表示されます。
- ④ 消去するときは、もう1度、数字ボタン[+ /YES]を押します。
“ Clear ” と表示され、指定したトラックのデータが消去されます。



・消去をキャンセルするときは、数字ボタン[- /NO]を押します。



ディスクを活用しましょう

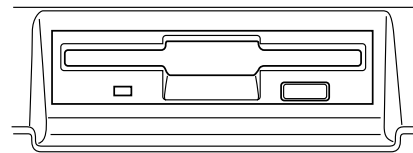
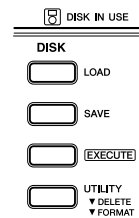
DGX-500/300 には、フロッピーディスクドライブが装備されています。

同梱のディスク、別売のGMソフトやYAMAHA DOC(ディスクオーケストラコレクション)ソフトを再生することができます。

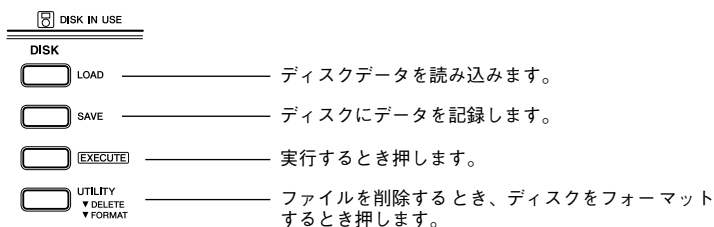
また、Standard MIDI File(SMF) format 0 のデータを再生、保存することもできます。

同梱ディスクにはスタイルデータが入っています。スタイル番号 136 にロード(呼び出し)して、他のスタイル同様に使用することができます。

ディスクの再生やロード方法は、69, 73ページを参照してください。同梱ディスクの内容は、84ページを参照してください。



●ディスクコントロールボタン



メモ

・[ロード], [セーブ], [ユーティリティ] ボタンを押してディスク関連の操作に入ると、他のボタンや鍵盤の操作はできなくなります。

メモ

・ユーザーソング、レジストレーションメモリーとスタイルデータ(スタイル番号136)は1つのファイルとしてセーブ/ロードされます。
・データの保存には、DGX-500/300でフォーマット(75ページ参照)したフロッピーディスクをお使いください。
・ファイル名のうしろ(ピリオドの次)に付ける3文字を拡張子と呼びます。拡張子はファイルの種類を表します。

■ DGX-500/300でセーブ/ロード可能なデータ

拡張子	データの種類	セーブ	ロード
.USR	ユーザーソング ユーザースタイル レジストレーションメモリー	○	○
.STY	スタイルファイル	-	○

■ 別売のミュージックソフトの活用

DGX-500/300 では、以下のロゴマークが付いている市販のミュージックソフト(フロッピーディスク)を扱うことができます。



GM規格に準拠した音色配列を利用して、収録されているソングを再生することができます。

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。DGX-500/300はGMシステムレベル1に対応しています。



ヤマハDOC規格に準拠した音色配列を使用して、収録されたソングを再生することができます。



「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



・ディスク操作をする場合は、電源アダプターの使用をおすすめします。ディスク操作中に電池がなくなると、DGX-500/300のデータやディスクのデータが失われる恐れがあります。

ディスクを活用しましょう

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスク(ドライブ)をご使用いただく場合は、以下のことをお守りください。

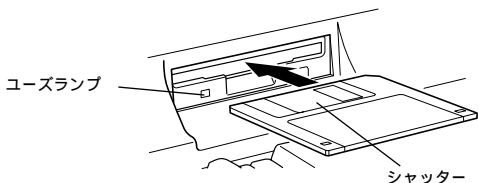
フロッピーディスクの種類

3.5 インチの 2DD、または、2HD フロッピーディスクがご使用になれます。

フロッピーディスクの挿入 / 取り出し

フロッピーディスクの入れかた

- ・フロッピーディスクのシャッターに文字が書かれている方(表面)を上にして、ディスク挿入口にカチッと音がするまでいねいに差し込みます。

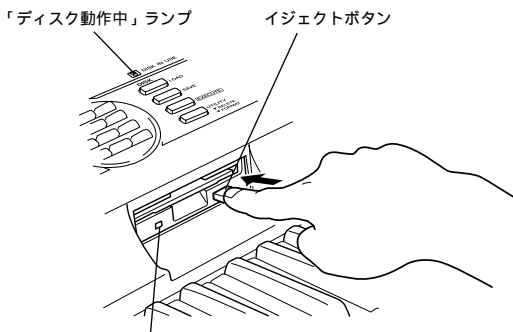


メモ

- ・電源を入れると、ディスク挿入口左下のユーズランプは常に点灯して、フロッピーディスクドライブが使用可能であることを示します。

フロッピーディスクをディスク挿入口から取り出すときの注意

- ・フロッピーディスクを取り出すときは、あらかじめ、「ディスク動作中」ランプが消えたことを確認した上で(ディスクドライブが実行中でないことを確認した上で)、ディスク挿入口の右下にあるイジェクトボタンをしっかりと正確に押し、フロッピーディスクが完全に出了ことを確認してから、ディスクを取り出してください。



ユーズランプ
(このランプは電源を ON にしている間、ずっと点灯しています。)

- ・イジェクトボタンを中途半端に押ししたり、あわてて押し、取り出し機構が正常に作動せず、フロッピーディスクが途中で引っかかり取り出せなくなる場合があります。この場合、無理にフロッピーディスクを取り出そうとすると、ディスクがこわれたり、ディスクドライブユニットが故障したりする原因になります。このような場合は、もう一度イジェクトボタンを押しなおすか、またはフロッピーディスクをディスク挿入口に完全に押し込んで、もう一度イジェクトボタンをしっかりと正確に押しなおして取り出してください。

録音中や再生中などは絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ディスク内容がこわれるだけでなく、ディスクドライブユニットの故障の原因になります。

電源を切るときは、フロッピーディスクはあらかじめディスクドライブユニットから取り出してください。電源を切ったあと、フロッピーディスクを入れたまま長時間放置すると、ディスクが汚れ、データの読み書きにエラーが生じる原因になります。

磁気ヘッドの定期的なクリーニング

ディスクドライブユニットは高精度の磁気ヘッドを使用しています。ディスクドライブユニットを長時間使用していくうちに、磁気ヘッドはフロッピーディスクの磁性粉で汚れてきます。磁気ヘッドが汚れると、録音や再生にエラーが生じることがあります。

ディスクドライブユニットを良好な状態でご使用いただくために、磁気ヘッドを定期的に(1ヵ月に1回程度)クリーニングしていただくことをおすすめします。

ディスクドライブにフロッピーディスク以外の物を入れないようご注意ください。ディスクドライブおよび、フロッピーディスク破損の原因になります。

メモ

- ・磁気ヘッドのクリーニングには、市販の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をご使用ください。なお、取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点で、弊社推奨の「乾式ヘッドクリーニングディスク」をお求めいただくこともできます。

ディスク挿入口にクリーニングディスクを入れると、磁気ヘッドのクリーニングが自動的に始まります。この場合、「Format?」と表示されることがありますが、そのままお待ちください。クリーニングディスクの取扱説明書に記載されているクリーニング時間が経過したらクリーニングは終了です。(弊社推奨クリーニングディスクの場合は約10秒です。)

終了後にイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。

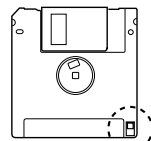
フロッピーディスクについてのご注意

フロッピーディスクの取り扱いと保管

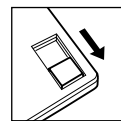
- ⊗ (持ち運ぶ場合も含めて)必ず市販のケースに入れて保管し、落したり、物をのせたり、折り曲げたりしないでください。また、ディスク内部に水やほこりなどが入らないようにしてください。
- ⊗ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところに置かないでください。
- ⊗ ディスクのシャッターを開けて、内部の磁性体に触れないでください。
- ⊗ 磁気を帯びたもの(テレビやスピーカーなど)には近づけないでください。
- ⊗ シャッターやディスク自体が変形しているようなディスクは、使用しないでください。
- ⊗ フロッピーディスクにはラベル以外のもの(メモなど)を貼らないでください。ラベルは所定の位置にはがれないようにしっかりと貼ってください。

誤消去防止

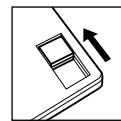
- ・フロッピーディスクには、誤ってデータを消してしまわないようにライトプロテクトタブ(書き込み禁止タブ)が付いています。大切なデータが入っているディスクは、ライトプロテクトタブをオン(タブの窓が開いた状態)にして、書き込みができないようにしてください。逆に、録音する場合などは、ご使用前にディスクのライトプロテクトタブがオフになっていることをご確認ください。



フロッピーディスクの裏側



録音不可
(演奏を録音できません。)



録音可
(演奏を録音できます。)

メモ

- ・市販フロッピーディスクの中には粗悪品もございます。メーカー名をご確認の上、お求めください。

ディスクのソングを鳴らす

同梱ディスク、別売のGMソフト、ピアノプレーヤーソフトやYAMAHA DOC(ディスクオーケストラコレクション)ソフトを鳴らしてみましょう。

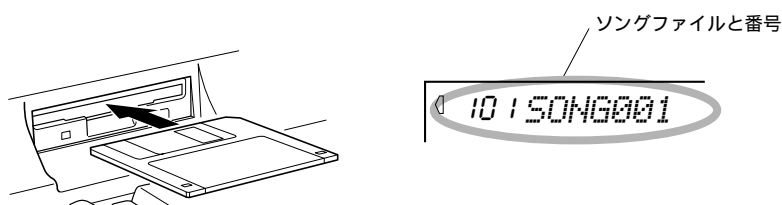


・ソングデータによっては DGX-500/300 の鍵盤の範囲を超えるものもあります。

1 ディスクをディスク挿入口に差し込みます。

ディスクのラベル面を上側にして、シャッター側からディスク挿入口に入れ、カチッと音がするまでしっかりと奥まで差し込みます。

ディスクがセットされると、DGX-500/300は自動的にソングモードになります。



・付属のディスクや市販のディスクソングの中には、曲の実際のテンポとは関係なく、データ上でテンポ一定となっているものがあります。このように設定されたソングをフリーテンポのソフトと呼びます。フリーテンポのディスクソングをDGX-500/300で再生した場合、小節表示が「F t」となり、ビートランプは点滅しません。

2 [ロード]ボタンを押したあと、聞きたいソングの番号を選びます。

数字ボタン[0]~[9], [+], [-]を押して番号を選びます。

3 ソングをスタートします。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、選ばれているソングがスタートします。



4 他のソングを聞く場合は、上記手順2に戻ります。

5 ソングをストップします。

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングがストップします。



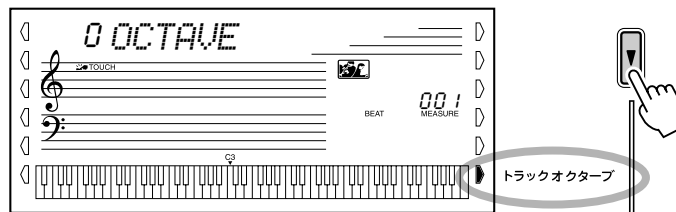
ディスクを活用しましょう

再生しているトラックのオクターブを変更する

ディスクを再生中、再生している音が DGX-500/300 の鍵域を越えた場合ディスプレイに “ OVER ” が点滅し、となりの矢印 (◀または▶) が表示されます。この場合鍵域を超えたトラックの音をオクターブ移動することができます。◀が表示されたときは、DGX-500/300 の鍵域より低い音が入力されたことを意味し、▶が表示されたときは、高い音が入力されたことを意味します。

+2 +1 ◀ ||| OVER ▶ ▶1 ▶2

- 1 再生を止めて、メニュー [R] をボタンを押し、「トラックオクターブ」(TRACK OCTAVE) を選びます。



- 2 トラックオクターブ変更する値を設定します。
[+], [-] ボタン、または数字ボタン [0], [1], [2] で設定します。

メモ

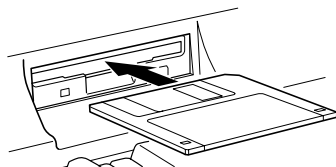
・トラックオクターブ設定は再生が止まっているときに設定できます。

セーブ

ユーザーソング(ソング番号 201 ~ 205)をフロッピーディスクにセーブ(保存)することができます。

- 1 フォーマット済みのフロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。

フォーマットについては「ユーティリティ フォーマット(フロッピーディスクの初期化)」(75ページ)を参照してください。

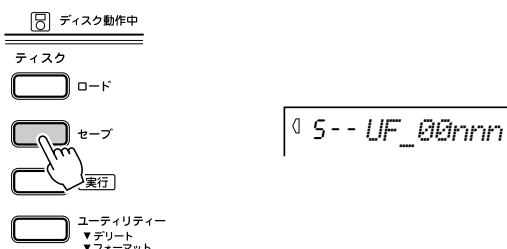


2 [セーブ](SAVE)ボタンを押します。

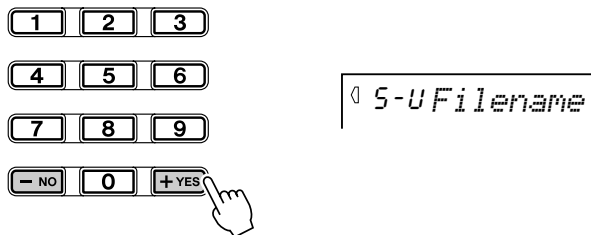
セーブされる新規ファイルのファイルネーム(「UF_00nnn」など)がディスプレイに表示されます。

このファイルネームは自動的に付けられます。

セーブをキャンセルする場合は[セーブ](SAVE)ボタンをもう2回押します。



ファイルを書き替えるには
フロッピーディスク内にすでにセーブされているファイルを書き替える場合は、数字ボタン[+]、[-]を使って、書き替えるファイルを選びます。



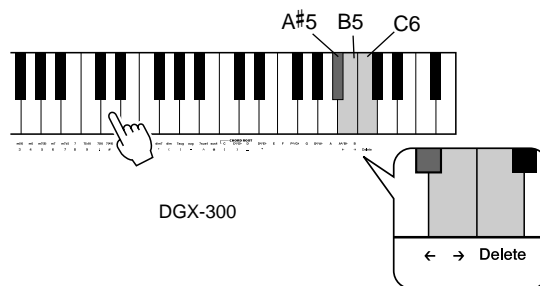
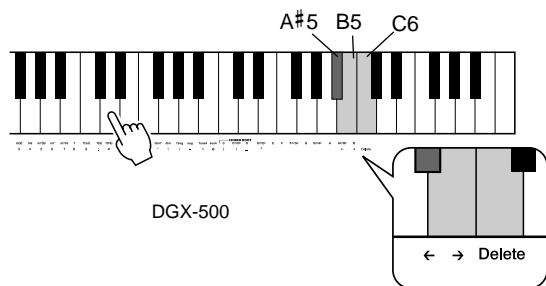
メモ

- ・フロッピーディスクがディスク挿入口に入っていない状態で[セーブ](SAVE)ボタンを押すと、ディスプレイに「No disk」と表示され、セーブ操作はできません。
- ・ライトプロテクトタブがオン(68ページ)にセットされている、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーディスクが挿入された場合は、ディスプレイに「Protect」と表示され、セーブ操作はできません。

3 必要に応じて、ファイルネームを変更します。

ディスプレイに表示されているファイルネームを、鍵盤を押して変更します。ファイルネームの文字数は最大8文字です。

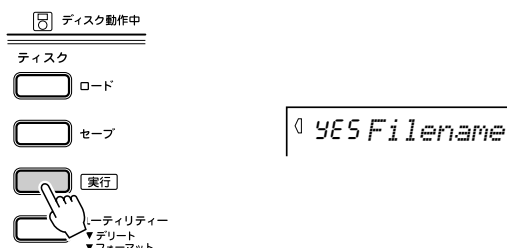
- ・鍵盤を押すと、その鍵盤の下側にある文字が、カーソルのある位置に入力されます。
- ・A#5鍵盤でカーソルを左へ、B5鍵盤でカーソルを右へ移動します。
- ・C6鍵盤を押すと、カーソル位置の文字を消す(空白)ことができます。



メモ

- ・ファイルを書き替えるためにすでにセーブされているファイルを選んでいても、ファイルネームを変更すると、別のファイルとしてセーブされ、ファイルは書き替えられません。

4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。

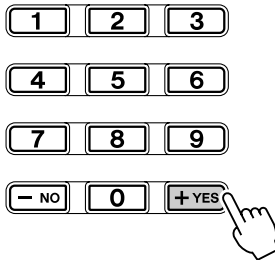


メモ

- ・すでにセーブされているファイルを選んでいる場合は、ディスプレイに「yES Over Wr?(書き替えてもいいですか?)」と表示されます。

5 セーブを実行します。

数字ボタン[+ / YES]を押すと、セーブがスタートします。
セーブ中はディスプレイに「Saving」と表示されます。



◁ 5-U Saving

セーブをキャンセルする場合は、数字ボタン[- / NO]を押します。
セーブから抜けるときは[ロード](LOAD) ボタンを2回押します。

セーブが終了すると、ディスプレイに「Complete」と表示されます。

◁ Complete



・セーブの実行中(「Saving」表示中)は、キャンセルできません。フロッピーディスクを取り出したり電源を切るとは絶対にしないでください。



・フロッピーディスクの空き容量が足りない場合は、ディスプレイに「DiskFull」と表示され、セーブ操作は行なえません。そのフロッピーディスクにセーブされている不要なファイルをデリートする(74ページ参照)か、新しいフロッピーディスクと交換して、もう一度セーブをしてください。

・セーブ中に書き込みエラーが発生した場合、ディスプレイに「Error」と表示されます。もう一度操作をやり直しても繰り返しエラーが起こった場合は、フロッピーディスクに問題がある可能性があります。フロッピーディスクを交換してもう一度操作をやり直してください。

SMF Format 0 でセーブする

DGX-500/300 のソングデータを SMF Format 0 でセーブする場合は上記手順 2 の操作を以下のように行ないます。

2-1 上記手順 2 で[セーブ](SAVE)ボタンを押したあと、もう一度[セーブ](SAVE)ボタンを押して SMF Format 0 でセーブするモードに入ります。



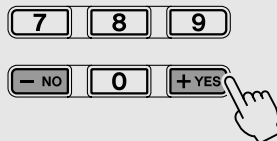
◁ to SMF?

2-2 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



◁ 5-5 User1

2-3 数字ボタン[+], [-]を使用して、セーブするソング番号を選びます。



2-4 [実行](EXECUTE)ボタンを押してセーブを実行します。



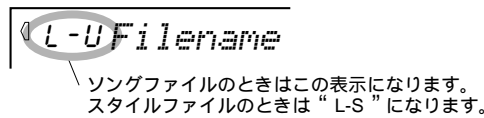
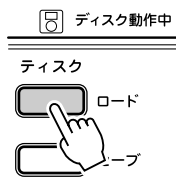
以下の操作は上記手順 3 に続きます。

ロード

フロッピーディスクにセーブしたユーザーソングや同梱のディスクスタイルのデータを、DGX-500/300本体にロード(読み込み)することができます。

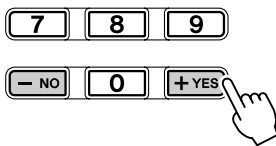
1 フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。
ロードしたいデータの入ったフロッピーディスクを差し込みます。

2 [ロード](LOAD)ボタンを押します。
ディスプレイにファイル名が表示されます。
[ロード](LOAD)ボタンをもう1度押すとロード画面から抜けます。



・フロッピーディスクがディスク挿入口に入っていない状態で[ロード](LOAD)ボタンを押すと、ディスプレイに「No disk」と表示され、ロード操作は行なえません。

3 ロード(読み込み)するファイルを選びます。
数字ボタン[+], [-]を使って、ロードしたいファイルのファイル名をディスプレイに表示させます。

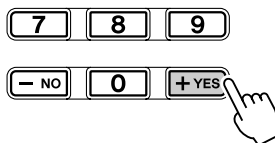


・フロッピーディスクにファイルが入っていない場合は、ディスプレイに「No File」と表示され、ロード操作は行なえません。

4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



5 ロードを実行します。
数字ボタン[+ / YES]を押すと、ロードがスタートします。ロード中はディスプレイに「Loading」と表示されます。



・ロードの実行中(「Loading」表示中)は、キャンセルできません。フロッピーディスクを取り出したり電源を切ることは絶対にしないでください。

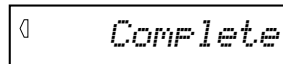
ロードをキャンセルする場合は、数字ボタン[- / NO]を押します。
ロードから抜ける場合は[ロード](LOAD)ボタンを押します。



・フロッピーディスクのデータをDGX-500/300本体にロードすると、本体に記録されていたデータはフロッピーディスクのデータに書き替えられます。大切なデータはロードする前にフロッピーディスクにセーブしておきましょう。

ディスクを活用しましょう

ロードが終了すると、ディスプレイに「Complete」と表示されます。



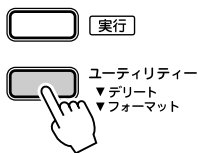
```
Complete
```

ユーティリティ — デリート

フロッピーディスクにセーブされたデータをデリート(削除)します。

1 フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。
デリートしたいデータの入ったフロッピーディスクを差し込みます。

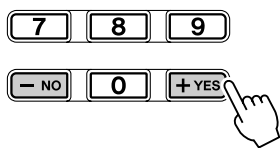
2 [ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。
ディスプレイにファイルネームが表示されます。
ユーティリティ画面から抜ける場合は、[ユーティリティ](UTILITY)ボタンをさらに2回押します。



メモ

- ・フロッピーディスクがディスク挿入口に入っていない状態で [ユーティリティ](UTILITY) ボタンを押すと、ディスプレイに「No disk」と表示され、デリート操作はできません。
- ・ライトプロテクトタブがオン (68 ページ) にセットされている、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーディスクが挿入されている場合は、ディスプレイに「Protect」と表示され、デリート操作はできません。
- ・DGX-500/300でデリート(削除)できるファイルは、DGX-500/300でセーブ(保存)したファイルだけです。ディスクに DGX-500/300 でデリートできるファイルがない場合は、ディスプレイにファイルネームが表示されず、フォーマット(75ページ)の画面になります。

3 デリート(削除)するファイルを選びます。
数字ボタン[+], [-]を使って、デリートしたいファイルのファイルネームをディスプレイに表示させます。



```
d-U filename
```

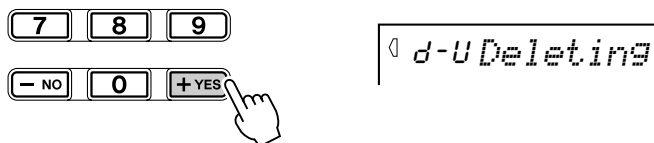
4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



```
YES filename
```

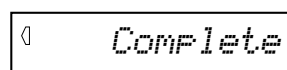

5 デリートを実行します。

数字ボタン [+ / YES] を押すと、デリートがスタートします。
 デリート中はディスプレイに「Deleting」と表示されます。



デリートをキャンセルする場合は、数字ボタン [- / NO] を押します。
 デリートから抜ける場合は [ユーティリティ] (UTILITY) ボタンを2回押します。

デリートが終了すると、ディスプレイに「Complete」と表示されます。



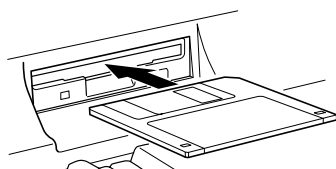
・デリートの実行中（「Deleting」表示中）は、キャンセルできません。フロッピーディスクを取り出したり電源を切るとは絶対にしないでください。

ユーティリティ — フォーマット(フロッピーディスクの初期化)

市販のフロッピーディスク(3.5インチ、2HD/2DDタイプ)をDGX-500/300で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)と呼びます。

■ 未フォーマットのフロッピーディスクのフォーマット……………

- ① フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。
 市販の3.5インチフロッピーディスク(未フォーマットのもの)を差し込みます。



未フォーマットのフロッピーディスクを入ると、DGX-500/300は自動的にフォーマットのモードになります。
 フォーマット画面から抜ける場合は、[ユーティリティ] (UTILITY) ボタンをもう一度押します。



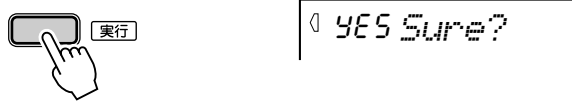
・ライトプロテクトタブがオン(68ページ)にセットされている、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーディスクが挿入されている場合は、ディスプレイに「Protect」と表示され、フォーマット操作は行なえません。ディスクを取り出しライトプロテクトタブをオフにしてから、もう一度差し込んでください。



・DGX-500/300で読めないフォーマットタイプのディスクを挿入した場合、未フォーマットディスクが挿入された時と同じ状態になります。大切なデータをフォーマットで消してしまわないように注意してください。

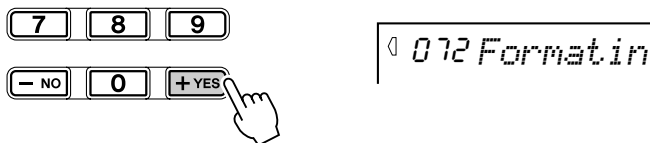
ディスクを活用しましょう

- ② [実行](EXECUTE)ボタンを押します。



ディスプレイには「yES Sure?(フォーマットしてもいいですか?)」と表示されます。

- ③ フォーマットを実行します。
数字ボタン [+ / YES] を押すと、フォーマットがスタートします。



フォーマット中はディスプレイに「Formatin」と表示されます。

フォーマットをキャンセルする場合は、数字ボタン [- / NO] を押します。
フォーマットを抜けるときは[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

フォーマットが終了すると、ディスプレイに「Complete」と表示されます。

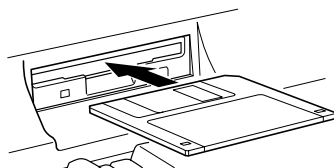


- ・フォーマットの実行中(「Formatin」表示中)は、キャンセルできません。フロッピーディスクを取り出したり電源を切るとは絶対にしないでください。

■ フォーマット済みのフロッピーディスクのフォーマット……………

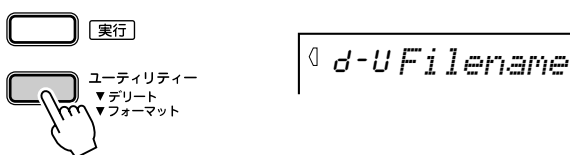
すでにフォーマット済みで使用しているディスクのファイルをまとめて消去する場合などに便利な方法です。

- ① フロッピーディスクをディスク挿入口に差し込みます。



- ・データが入っているフロッピーディスクをフォーマットすると、中に記録されていたデータはすべて消えてしまいます。大切なデータをフォーマットで消してしまわないように注意してください。

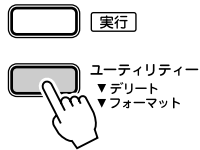
- ② [ユーティリティ](UTILITY) ボタンを押します。



- ・フロッピーディスクがディスク挿入口に入っていない状態で[ユーティリティ](UTILITY) ボタンを押すと、ディスプレイに「No Disk」と表示され、フォーマット操作はできません。

ディスクにファイルがない場合は自動的に次の手順(手順③)の表示になります。

- ③ もう一度[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。
フォーマットを中止する場合は、さらにもう一度[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。



◁ CUE Format?



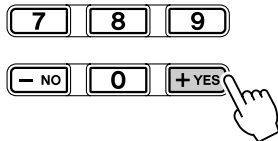
・ライトプロテクトタブがオン(68 ページ) にセットされている、またはコピープロテクトが設定されているフロッピーディスクが挿入されている場合は、ディスプレイに「Protect」と表示され、フォーマット操作はできません。

- ④ [実行](EXECUTE)ボタンを押します。
ディスプレイには「yES Sure?(フォーマットしてもいいですか?)」と表示されます。



◁ yES Sure?

- ⑤ フォーマットを実行します。
数字ボタン[+ /YES]を押すと、フォーマットがスタートします。



◁ 072 Formatin



・フォーマットの実行中(「Formatin」表示中)は、キャンセルできません。フロッピーディスクを取り出したたり電源を切るとは絶対にしないでください。

フォーマット中はディスプレイに「Formatin」と表示されます。

フォーマットを中止する場合は、数字ボタン[- /NO]を押します。
フォーマットから抜ける場合は[ユーティリティ](UTILITY)ボタンを押します。

フォーマットが終了すると、ディスプレイに「Complete」と表示されます。

◁ Complete



MIDI機器を接続して演奏しましょう

DGX-500/300 はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、DGX-500/300のMIDI関連の操作方法などについて説明します。

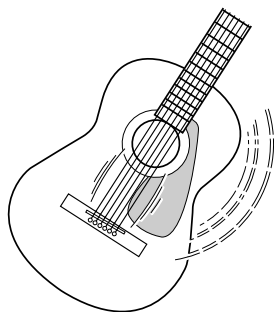
MIDIって何？

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか？今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

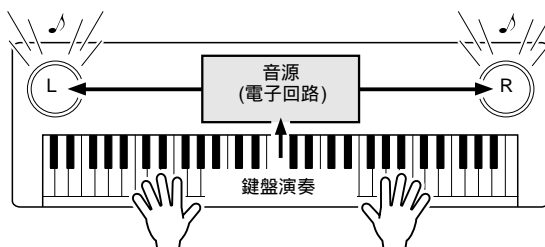
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか？

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう？

たとえば、DGX-500/300をグランドピアノの音色で、「ド」の鍵盤を4分音符の長さで、強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どの楽器で」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えられて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音を鳴らすのです。

[演奏情報の例]

楽器番号(どの楽器で)	1(ライブ!ピアノ)
ノート番号(どの鍵盤を)	60(ド: C3)
ノート「オン」(いつ押さえたか) & ノート「オフ」(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

MIDI(ミディ)は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなどと)演奏情報のやりとりを行なうために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器(機器)をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ(データ)には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

チャンネルメッセージ

DGX-500/300は16チャンネル扱える電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	DGX-500/300の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報(ノートナンバーとベロシティで構成)
プログラムチェンジ	楽器の設定(コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定)
コントロールチェンジ	楽器の設定(ボリューム、パンポットなど)など

システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	DGX-500/300の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップなど

MIDIインプリメンテーションチャート(98ページ参照)にDGX-500/300で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。

「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。

DGX-500/300はGMシステムレベル1に対応しています。

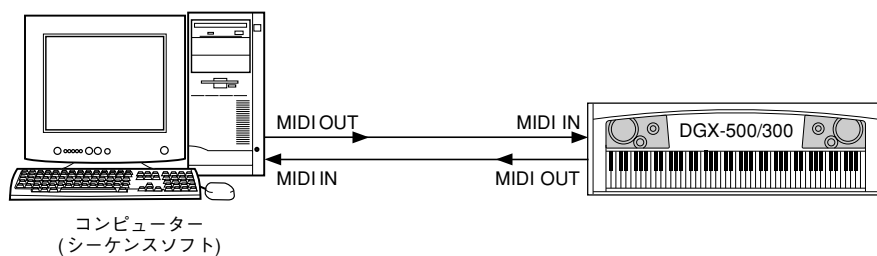
パーソナルコンピュータと接続する

DGX-500/300のMIDI端子とパソコン(パーソナルコンピュータ)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

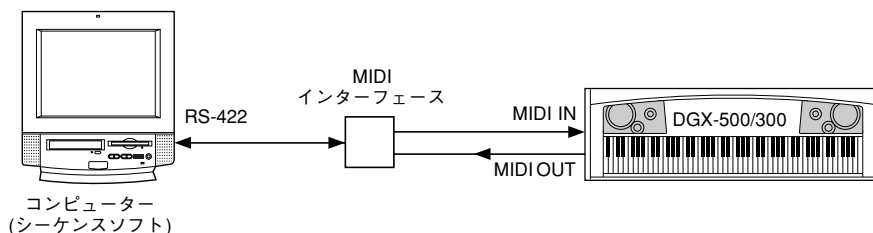
コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェイス機器を使用して、コンピューターとDGX-500/300のMIDI端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

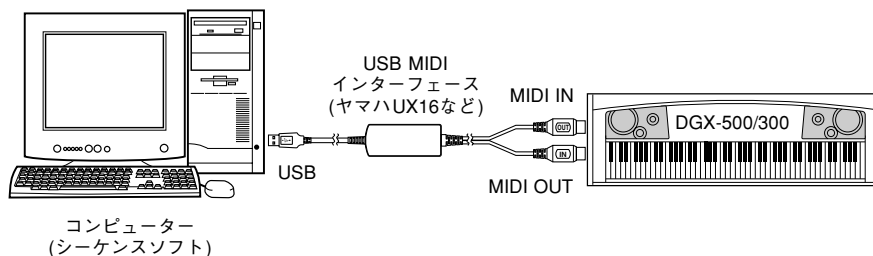
- コンピューターとDGX-500/300のMIDI端子を接続します。



- MacintoshシリーズにMIDIインターフェイス(別売)を使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェイスを下図のように接続します。



- USB 端子付属のコンピューターとDGX-500/300を接続する場合は、USB専用の「USB MIDIインターフェイス」が必要になります。



* Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェイスの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェイスのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をお読みください。

ローカルオン/オフを設定する

ローカルコントロールの設定を行いません。ローカルコントロールとは、DGX-500/300の演奏を、DGX-500/300の内部音源で鳴らす(オン)か鳴らさない(オフ)かの設定です。

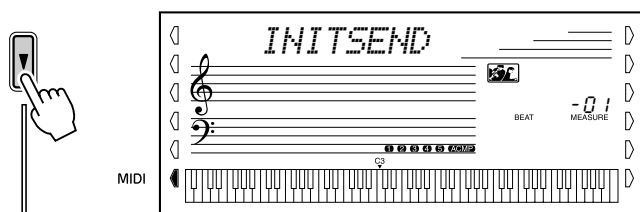
on (ローカルオン)..... 本体の演奏は通常どおり DGX-500/300 で発音します。また、MIDI INから受信した情報もDGX-500/300で発音します。

oFF (ローカルオフ)..... 本体の演奏は DGX-500/300 で発音しません。ただし、演奏データはMIDI OUTから送信されます。また、MIDI INから受信した情報はDGX-500/300で発音します。



・ローカルオン/オフを「オフ」にすると、鍵盤を弾いても本体から音が出なくなります。

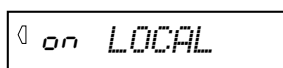
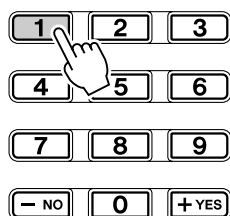
1 メニュー [L] ボタンを押してMIDIを選びます。



すでに「LOCAL」が表示されている場合は、手順**3**に進みます。

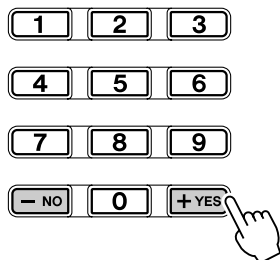
2 ローカルコントロールの設定を選びます。

数字ボタン[1]を押してローカルコントロールの設定に入ります。



3 ローカルオン/オフを設定します。

ローカルオンにするときは数字ボタン[+ /YES]を、ローカルオフにするときは数字ボタン[- /NO]を押します。

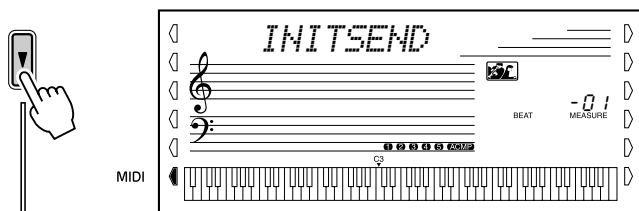


DGX-500/300のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

DGX-500/300のパネル設定を外部機器に送信します。

シーケンサーなどに録音するとき、演奏の前にイニシャルセンドを行なうことにより、再生時に、録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

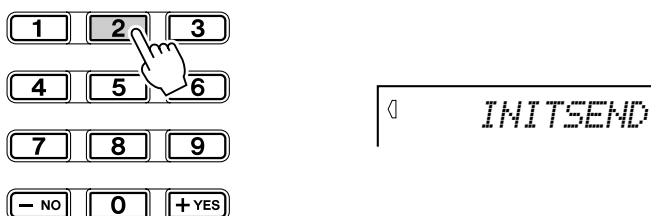
1 メニュー [L] ボタンを押してMIDIを選びます。



すでに「INITSEND」が表示されている場合は、手順**3**に進みます。

2 イニシャルセンドの設定を選びます。

数字ボタン[2]を押してイニシャルセンドの設定に入ります。



3 送信します。



送信が終了すると「End」が表示されます。



クロックを設定する

DGX-500/300をMIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに、同期させる場合この設定を行ないます。

内部クロックに同期させる
(インターナルクロック) DGX-500/300の通常の設定です。

外部クロックに同期させる
(エクスターナルクロック) 接続した外部機器のクロックで動作します。
(外部からクロック信号が入力されない場合、
ソング、スタイルやデモはスタートしません。)



・エクスターナルクロックに設定すると、外部クロックが入力されない限り、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押しても、ソング、スタイル、M.D.B.はスタートしません。

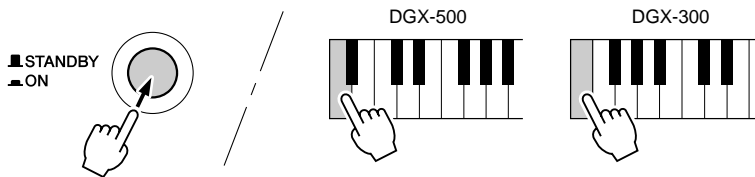
- 1 [テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。
- 2 数字ボタン[+]を数値が280になるまで押し続けます。
- 3 数字ボタン[+]をもう一度押します。

ECL TEMPO

ディスプレイには「ECL」が表示され外部クロックに同期する設定になりました。
インターナルクロックに戻す場合は、上記の手順で数字ボタン[-]を押し「ECL」から抜け、テンポ値を設定します。

LSB レシーブキャンセル

バンクセレクトのLSBデータを受けるか受けないかの設定を行ないます。
一番左の鍵盤を押しながら[電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを押し、電源をオンにします。



電源を入れ直すと、この設定は解除されます。



バックアップデータと初期化(イニシャライズ)の方法

■ バックアップデータ.....

DGX-500/300 のパネル上の設定は、電源を入れ直すとそれぞれの初期設定値に戻りますが、下記の設定データは[電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを「切」にしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

- ・ ユーザーソングのデータ
- ・ ソング音量
- ・ レジストレーションメモリーのデータ
- ・ レジストレーションメモリーバンク番号
- ・ メトロノーム音量
- ・ タッチレスポンス オン/オフ
- ・ チューニング
- ・ 採点 オン/オフ

■ 初期化(イニシャライズ)の方法

DGX-500/300 のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

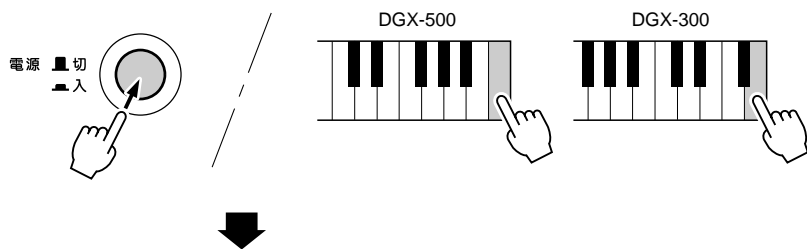
- ① [電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を切ります。
- ② 鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら、[電源 入/切](STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了するとディスプレイに「CLR Backup」が表示されます。



・ 初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますので、ご注意ください。



・ DGX-500/300 が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行なってください。



CLR Backup

同梱ディスクの内容

ソング

ソング番号	ソング名	LCD 表示	作曲者
1	オールウェイズ	ALWAYS	Original
2	アラベスク	ARABESQU	C.A. Debussy
3	月の光	CLARLUNE	C.A. Debussy
4	DXエレビ	DX_EP	Original
5	アイネ・クライネ・ナハトムジーク	EINKLEIN	W.A. Mozart
6	ファンキーエレビ	FUNKY_EP	Original
7	ホンキートンクピアノ	HNKYTONK	Original
8	ジャズオルガン	JAZZORG	Original
9	レイドバック	LAIDBACK	Original
10	へ調のメロディ	MELODY_F	A. Rubinstein
11	モスクワの思い出	MOSCOU	H. Wieniawski
12	ロッキン	ROCKIN'	Original
13	愛のロマンス	ROMANCE	Traditional
14	ロンド	RONDO	W.A. Mozart
15	ロック・メロン・パン	R_M_VAMP	Original
16	タンゴ(スペインより)	TANGO	I. Albeniz

スタイル

スタイル番号	スタイル名	LCD 表示
1	8ビートポップ	8BT_POP
2	スローロック	SLW_ROCK
3	グランドビート	GRNDBEAT
4	ディスコファンク	DSC_FUNK
5	ディスコフォックス	DSC_FOX
6	ディスコパーティー	DSCPARTY
7	ビッグバンドバラード2	BB_BLD2
8	ビバップ	BEBOP
9	ソウルシャッフル	SOUL_SHF
10	カントリーバラード	CNTRYBLD



楽器リスト

■ 最大同時発音数について.....

DGX-500/300 の最大同時発音数は 32 音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が 32 音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32 音以上になると、後着優先で発音します。



- ・MIDI を使って DGX-500/300 の楽器を鳴らす場合は、MIDI プログラムチェンジ No. を使用してください。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[楽器リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラムチェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
ピアノ				
001	000	113	000	ライブ! ピアノ
002	000	112	000	グランド ピアノ
003	000	112	001	ブライト ピアノ
004	000	112	003	ホンキートンク ピアノ
005	000	112	002	ミディ グランド ピアノ
006	000	113	002	CP 80
007	000	112	006	ハーブシコード
エレクトリックピアノ				
008	000	114	004	ギャラクシー エレクトリックピアノ
009	000	112	004	ファンキー エレクトリック ピアノ
010	000	112	005	DX モダン エレクトリック ピアノ
011	000	113	005	ハイパー タインズ
012	000	114	005	ビーナス エレクトリック ピアノ
013	000	112	007	クラビ
オルガン				
014	000	118	018	クール! オルガン
015	000	112	016	ジャズ オルガン 1
016	000	113	016	ジャズ オルガン 2
017	000	112	017	クリック オルガン
018	000	116	016	ブライト オルガン
019	000	112	018	ロック オルガン
020	000	114	018	パープル オルガン
021	000	118	016	16' + 2' オルガン
022	000	119	016	16' + 4' オルガン
023	000	114	016	シアター オルガン
024	000	112	019	チャーチ オルガン
025	000	113	019	チャペル オルガン
026	000	112	020	リード オルガン
アコーディオン				
027	000	113	021	トラディショナル アコーディオン
028	000	112	021	ミュゼット アコーディオン
029	000	113	023	バンドネオン
030	000	112	022	ハーモニカ
ギター				
031	000	112	024	クラシック ギター
032	000	112	025	フォーク ギター
033	000	113	025	12 弦ギター
034	000	112	026	ジャズ ギター
035	000	113	026	オクターブ ギター
036	000	112	027	クリーン ギター
037	000	117	027	60 年代風 クリーンギター
038	000	112	028	ミュート ギター
039	000	112	029	オーバードライブ ギター
040	000	112	030	ディストーション ギター
ベース				
041	000	112	032	アコースティック ベース
042	000	112	033	フィンガー ベース

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラムチェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
043	000	112	034	ピック ベース
044	000	112	035	フレットレス ベース
045	000	112	036	スラップ ベース
046	000	112	038	シンセ ベース
047	000	113	038	ハイ Q ベース
048	000	113	039	ダンス ベース
ストリングス				
049	000	112	048	ストリングス
050	000	112	049	チェンバー ストリングス
051	000	112	050	シンセ ストリングス
052	000	113	049	スロー ストリングス
053	000	112	044	トレモロ ストリングス
054	000	112	045	ピチカート ストリングス
055	000	112	055	オーケストラ ヒット
056	000	112	040	バイオリン
057	000	112	042	チェロ
058	000	112	043	コントラバス
059	000	112	105	バンジョー
060	000	112	046	ハーブ
コーラス				
061	000	112	052	コーラス
062	000	113	052	ボーカル アンサンブル
063	000	112	053	ヴォクス フマーナ
064	000	112	054	エア コーラス
サククス				
065	000	112	064	ソプラノ サククス
066	000	112	065	アルト サククス
067	000	117	066	スイートテナー
068	000	114	066	プレッシャー テナー サククス
069	000	112	066	テナー サククス
070	000	112	067	バリトン サククス
071	000	112	068	オーボエ
072	000	112	069	イングリッシュホルン
073	000	112	070	バスーン
074	000	112	071	クラリネット
トランペット				
075	000	112	056	トランペット
076	000	112	059	ミュートトランペット
077	000	112	057	トロンボーン
078	000	113	057	トロンボーン セクション
079	000	112	060	フレンチホルン
080	000	112	058	チューバ
ブラス				
081	000	112	061	ブラス セクション
082	000	113	061	ビッグバンド ブラス
083	000	119	061	メロー ホーン
084	000	112	062	シンセ ブラス
085	000	113	062	ジャンプ ブラス
086	000	114	062	テクノ ブラス

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
フルート				
087	000	114	073	スイートフルート
088	000	112	073	フルート
089	000	112	072	ピッコロ
090	000	112	075	パンフルート
091	000	112	074	リコーダー
092	000	112	079	オカリナ
シンセリード				
093	000	112	080	矩形波 リード
094	000	112	081	ノコギリ波 リード
095	000	112	085	ボイス リード
096	000	112	098	スター ダスト
097	000	112	100	ブライトネス
098	000	115	081	アナログン
099	000	119	081	ファーゴ
シンセパッド				
100	000	112	088	ファンタジア
101	000	113	100	ベル パッド
102	000	112	091	ゼノン パッド
103	000	112	094	イクイ ノックス
104	000	113	089	ダーク ムーン
パーカッション				
105	000	112	011	ビブラフォン
106	000	112	012	マリンバ
107	000	112	013	シロフォン
108	000	112	114	スチール ドラム
109	000	112	008	チェレスタ
110	000	112	014	チューブラー ベル
111	000	112	047	ティンパニ
112	000	112	010	ミュージック ボックス
スプリット				
113	000	112	000	アコースティックベース / ライブ! ピアノ
114	000	112	001	フィンガーベース / グランドピアノ
115	000	112	005	フレットレスベース /DX モダン エレクトリック ピアノ
116	000	112	011	アコースティックベース / ビブラフォン
117	000	113	061	フレットレスベース / プラスセクション
118	000	112	082	アナログン / ノコギリ波リード
119	000	112	007	スラップベース / クラビ
120	000	112	073	クラシックギター / スイートフルート
121	000	112	000	ストリングス / ライブ! ピアノ
122	000	112	052	ヴォクス フマーナ / コーラス
ドラムキット				
123	127	0	000	スタンダード キット 1
124	127	0	001	スタンダード キット 2
125	127	0	008	ルーム キット
126	127	0	016	ロック キット
127	127	0	024	エレクトロニック キット
128	127	0	025	アナログ キット
129	127	0	027	ダンス キット
130	127	0	032	ジャズ キット
131	127	0	040	ブラッシュ キット
132	127	0	048	シンフォニーキット
133	126	0	000	SFX キット 1
134	126	0	001	SFX キット 2

[XG 楽器リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
ピアノ				
135	000	000	000	グランドピアノ
136	000	001	000	グランドピアノ KSP
137	000	018	000	メローグランドピアノ
138	000	040	000	ピアノストリングス
139	000	041	000	ドリーム
140	000	000	001	ブライトピアノ
141	000	001	001	ブライトピアノ KSP
142	000	000	002	エレクトリックグランドピアノ
143	000	001	002	エレクトリックグランドピアノ KSP
144	000	032	002	デチューンド CP 80
145	000	040	002	レイヤード CP1
146	000	041	002	レイヤード CP2
147	000	000	003	ホンキートンクピアノ
148	000	001	003	ホンキートンクピアノ KSP
149	000	000	004	エレクトリックピアノ 1
150	000	001	004	エレクトリックピアノ 1 KSP
151	000	018	004	メローエレクトリックピアノ 1
152	000	032	004	コーラスエレクトリックピアノ 1
153	000	040	004	ハードエレクトリックピアノ
154	000	045	004	ペロシティックロスフェード エレクトリックピアノ 1
155	000	064	004	60's エレクトリックピアノ 1
156	000	000	005	エレクトリックピアノ 2
157	000	001	005	エレクトリックピアノ 2 KSP
158	000	032	005	コーラスエレクトリックピアノ 2
159	000	033	005	DX エレクトリックピアノ / ハード
160	000	034	005	DX レジェンド
161	000	040	005	DX フェイズエレクトリックピアノ
162	000	041	005	DX + アナログエレクトリック ピアノ
163	000	042	005	DX コトエレクトリックピアノ
164	000	045	005	ペロシティックロスフェード エレクトリックピアノ 2
165	000	000	006	ハーブシコード
166	000	001	006	ハーブシコード KSP
167	000	025	006	ハーブシコード 2
168	000	035	006	ハーブシコード 3
169	000	000	007	クラビ
170	000	001	007	クラビ KSP
171	000	027	007	クラビワウ
172	000	064	007	パルスクラビ
173	000	065	007	ピアスクラビ
クロマチック				
174	000	000	008	チェレスタ
175	000	000	009	グロッケンシュピール
176	000	000	010	ミュージックボックス
177	000	064	010	オルゴール
178	000	000	011	ビブラフォン
179	000	001	011	ビブラフォン KSP
180	000	045	011	ハードビブラフォン
181	000	000	012	マリンバ
182	000	001	012	マリンバ KSP
183	000	064	012	サインマリンバ
184	000	097	012	バリンバ
185	000	098	012	ログドラム
186	000	000	013	シロフォン
187	000	000	014	チューブラーベル
188	000	096	014	チャーチベル

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
189	000	097	014	カリヨン
190	000	000	015	ダルシマー
191	000	035	015	ダルシマー 2
192	000	096	015	ツィンパロン
193	000	097	015	サントゥール
オルガン				
194	000	000	016	ドローパーオルガン
195	000	032	016	デチューンドドローパーオルガン
196	000	033	016	60's ドローパーオルガン 1
197	000	034	016	60's ドローパーオルガン 2
198	000	035	016	70's ドローパーオルガン 1
199	000	036	016	ドローパーオルガン 2
200	000	037	016	60's ドローパーオルガン 3
201	000	038	016	イーブンバー
202	000	040	016	16' + 2' 2/3
203	000	064	016	オルガンベース
204	000	065	016	70's ドローパーオルガン 2
205	000	066	016	チージオルガン
206	000	067	016	ドローパーオルガン 3
207	000	000	017	パーカッシブオルガン
208	000	024	017	70's パーカッシブオルガン
209	000	032	017	デチューンドパーカッシブオルガン
210	000	033	017	ライトオルガン
211	000	037	017	パーカッシブオルガン 2
212	000	000	018	ロックオルガン
213	000	064	018	ロータリーオルガン
214	000	065	018	スローロータリー
215	000	066	018	ファストロータリー
216	000	000	019	チャーチオルガン
217	000	032	019	チャーチオルガン 3
218	000	035	019	チャーチオルガン 2
219	000	040	019	ノートルダム
220	000	064	019	オルガンフルート
221	000	065	019	トレモロオルガンフルート
222	000	000	020	リードオルガン
223	000	040	020	パフオルガン
224	000	000	021	アコーディオン
225	000	032	021	アコードイット
226	000	000	022	ハーモニカ
227	000	032	022	ハーモニカ 2
228	000	000	023	タンゴアコーディオン
229	000	064	023	タンゴアコーディオン 2
ギター				
230	000	000	024	ナイロン弦ギター
231	000	016	024	ナイロン弦ギター 2
232	000	025	024	ナイロン弦ギター 3
233	000	043	024	ペロシティギターハーモニクス
234	000	096	024	ウクレレ
235	000	000	025	スチール弦ギター
236	000	016	025	スチール弦ギター 2
237	000	035	025	12 弦ギター
238	000	040	025	ナイロン & スチール弦ギター
239	000	041	025	スチール弦ギター & ボディサウンド
240	000	096	025	マンドリン
241	000	000	026	ジャズギター
242	000	018	026	メローギター
243	000	032	026	ジャズアンプ
244	000	000	027	クリーンギター
245	000	032	027	コーラスギター

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
246	000	000	028	ミュートギター
247	000	040	028	ファンクギター 1
248	000	041	028	ミュートスチール弦ギター
249	000	043	028	ファンクギター 2
250	000	045	028	ジャズマン
251	000	000	029	オーバードライブギター
252	000	043	029	ギターピンチ
253	000	000	030	ディストーションギター
254	000	040	030	フィードバックギター
255	000	041	030	フィードバックギター 2
256	000	000	031	ギターハーモニクス
257	000	065	031	ギターフィードバック
258	000	066	031	ギターハーモニクス 2
ベース				
259	000	000	032	アコースティックベース
260	000	040	032	ジャズリズム
261	000	045	032	ペロシティックロスフェード アップライトベース
262	000	000	033	フィンガーベース
263	000	018	033	フィンガーダーク
264	000	027	033	フランジベース
265	000	040	033	ベース & ディストーションギター
266	000	043	033	フィンガースラップベース
267	000	045	033	フィンガーベース 2
268	000	065	033	モジュラーテッドベース
269	000	000	034	ビックベース
270	000	028	034	ミュートビックベース
271	000	000	035	フレットレスベース
272	000	032	035	フレットレスベース 2
273	000	033	035	フレットレスベース 3
274	000	034	035	フレットレスベース 4
275	000	096	035	シンセフレットレス
276	000	097	035	スムーズフレットレス
277	000	000	036	スラップベース 1
278	000	027	036	レゾナントスラップ
279	000	032	036	パンチサムベース
280	000	000	037	スラップベース 2
281	000	043	037	ペロシティスイッチスラップ
282	000	000	038	シンセベース 1
283	000	018	038	シンセベース 1 ダーク
284	000	020	038	ファストレゾナントベース
285	000	024	038	アシッドベース
286	000	035	038	クラビベース
287	000	040	038	テクノシンセベース
288	000	064	038	オービター
289	000	065	038	スクエアベース
290	000	066	038	ラバーベース
291	000	096	038	ハマー
292	000	000	039	シンセベース 2
293	000	006	039	メローシンセベース
294	000	012	039	シーケンスドベース
295	000	018	039	クリックシンセベース
296	000	019	039	シンセベース 2 ダーク
297	000	032	039	スムーズシンセベース
298	000	040	039	モジュラーシンセベース
299	000	041	039	DX ベース
300	000	064	039	エックスワイヤーベース
バイオリン				
301	000	000	040	バイオリン

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
302	000	008	040	スローバイオリン
303	000	000	041	ピオラ
304	000	000	042	チェロ
305	000	000	043	コントラバス
306	000	000	044	トレモロストリングス
307	000	008	044	スロートレモロストリングス
308	000	040	044	サスペンスストリングス
309	000	000	045	ピチカートストリングス
310	000	000	046	ハーブ
311	000	040	046	ヤンチン
312	000	000	047	ティンパニ
アンサンブル				
313	000	000	048	ストリングス 1
314	000	003	048	ステレオストリングス
315	000	008	048	スローストリングス
316	000	024	048	アルコストリングス
317	000	035	048	60's ストリングス
318	000	040	048	オーケストラ
319	000	041	048	オーケストラ 2
320	000	042	048	トレモロオーケストラ
321	000	045	048	ペロシティストリングス
322	000	000	049	ストリングス 2
323	000	003	049	ステレオスローストリングス
324	000	008	049	レガートストリングス
325	000	040	049	ウォームストリングス
326	000	041	049	キングダム
327	000	064	049	70's ストリングス
328	000	065	049	ストリングス 3
329	000	000	050	シンセストリングス 1
330	000	027	050	レゾナントストリングス
331	000	064	050	シンセストリングス 4
332	000	065	050	シンセストリングス 5
333	000	000	051	シンセストリングス 2
334	000	000	052	クワイアア
335	000	003	052	ステレオクワイア
336	000	016	052	クワイアア 2
337	000	032	052	メロークワイア
338	000	040	052	クワイアストリングス
339	000	000	053	ボイスウー
340	000	000	054	シンセボイス
341	000	040	054	シンセボイス 2
342	000	041	054	コラール
343	000	064	054	アナログボイス
344	000	000	055	オーケストラヒット
345	000	035	055	オーケストラヒット 2
346	000	064	055	インパクト
ブラス				
347	000	000	056	トランペット
348	000	016	056	トランペット 2
349	000	017	056	ブライトトランペット
350	000	032	056	ウォームトランペット
351	000	000	057	トロンボーン
352	000	018	057	トロンボーン 2
353	000	000	058	チューバ
354	000	016	058	チューバ 2
355	000	000	059	ミュートトランペット
356	000	000	060	フレンチホルン
357	000	006	060	フレンチホルンソロ
358	000	032	060	フレンチホルン 2
359	000	037	060	ホルンオーケストラ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
360	000	000	061	ブラスセクション
361	000	035	061	トランペット & トロンボーン セクション
362	000	040	061	ブラスセクション 2
363	000	041	061	ハイブラス
364	000	042	061	メローブラス
365	000	000	062	シンセブラス 1
366	000	012	062	クァックブラス
367	000	020	062	レゾナントシンセブラス
368	000	024	062	ポリブラス
369	000	027	062	シンセブラス 3
370	000	032	062	ジャンプブラス
371	000	045	062	アナログペロシティブラス 1
372	000	064	062	アナログブラス 1
373	000	000	063	シンセブラス 2
374	000	018	063	ソフトブラス
375	000	040	063	シンセブラス 4
376	000	041	063	クワイアブラス
377	000	045	063	アナログペロシティブラス 2
378	000	064	063	アナログブラス 2
リード				
379	000	000	064	ソプラノサククス
380	000	000	065	アルトサククス
381	000	040	065	サククスセクション
382	000	043	065	ハイパーアルトサククス
383	000	000	066	テナーサククス
384	000	040	066	プレッシャーテナーサククス
385	000	041	066	ソフトテナーサククス
386	000	064	066	テナーサククス 2
387	000	000	067	バリトンサククス
388	000	000	068	オーボエ
389	000	000	069	イングリッシュホルン
390	000	000	070	バスーン
391	000	000	071	クラリネット
パイプ				
392	000	000	072	ピッコロ
393	000	000	073	フルート
394	000	000	074	リコーダー
395	000	000	075	パンフルート
396	000	000	076	ボトル
397	000	000	077	尺八
398	000	000	078	ホイッスル
399	000	000	079	オカリナ
シンセリード				
400	000	000	080	スクエアリード
401	000	006	080	スクエアリード 2
402	000	008	080	LMスクエア
403	000	018	080	ハロー
404	000	019	080	シュラウド
405	000	064	080	メロー
406	000	065	080	ソロサイン
407	000	066	080	サインリード
408	000	000	081	ソートゥースリード
409	000	006	081	ソートゥースリード 2
410	000	008	081	シックソートゥース
411	000	018	081	ダイナミックソートゥース
412	000	019	081	デジタルソートゥース
413	000	020	081	ビッグリード
414	000	024	081	ヘビーシンセ
415	000	025	081	ワスピーシンセ

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
416	000	040	081	パルスソートゥース
417	000	041	081	ドクターリード
418	000	045	081	ベロシティリード
419	000	096	081	シーケンスドアナログ
420	000	000	082	カリオベリード
421	000	065	082	ピュアパッド
422	000	000	083	チフリード
423	000	064	083	ルビー
424	000	000	084	チャランリード
425	000	064	084	ディストーションリード
426	000	065	084	ワイヤーリード
427	000	000	085	ボイスリード
428	000	024	085	シンセアー
429	000	064	085	ボックスリード
430	000	000	086	5 度リード
431	000	035	086	ビッグファイブ
432	000	000	087	ベース & リード
433	000	016	087	ビッグ & ロー
434	000	064	087	ファット & パーキー
435	000	065	087	ソフトホワール
シンセパッド				
436	000	000	088	ニューエイジパッド
437	000	064	088	ファンタジー
438	000	000	089	ウォームパッド
439	000	016	089	シックパッド
440	000	017	089	ソフトパッド
441	000	018	089	サインパッド
442	000	064	089	ホルンパッド
443	000	065	089	ロータリースtringス
444	000	000	090	ポリシンセパッド
445	000	064	090	ポリパッド 80
446	000	065	090	クリックパッド
447	000	066	090	アナログパッド
448	000	067	090	スクエアパッド
449	000	000	091	クワイアパッド
450	000	064	091	ヘブン
451	000	066	091	アイトピア
452	000	067	091	CC パッド
453	000	000	092	ポウドパッド
454	000	064	092	グレイシャー
455	000	065	092	グラスパッド
456	000	000	093	メタリックパッド
457	000	064	093	タインパッド
458	000	065	093	パンパッド
459	000	000	094	ハローパッド
460	000	000	095	スウィープパッド
461	000	020	095	シュイマー
462	000	027	095	コンバージ
463	000	064	095	ボラーパッド
464	000	066	095	シレスティアル
シンセエフェクト				
465	000	000	096	レイン
466	000	045	096	クラビパッド
467	000	064	096	ハーモレイン
468	000	065	096	アフリカンウィンド
469	000	066	096	カリブ
470	000	000	097	サウンドトラック
471	000	027	097	ブローグ

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
472	000	064	097	アンセストラル
473	000	000	098	クリスタル
474	000	012	098	シンセドラムコンプ
475	000	014	098	ポップコーン
476	000	018	098	タイニーベル
477	000	035	098	ラウンドグロックンシュピール
478	000	040	098	グロックンシュピールチャイム
479	000	041	098	クリアーベル
480	000	042	098	コーラスベル
481	000	064	098	シンセマレット
482	000	065	098	ソフトクリスタル
483	000	066	098	ラウドグロックンシュピール
484	000	067	098	クリスマスベル
485	000	068	098	ピブラフォンベル
486	000	069	098	デジタルベル
487	000	070	098	エアーベル
488	000	071	098	ベルハーブ
489	000	072	098	ガムリンバ
490	000	000	099	アトモスフィア
491	000	018	099	ウォームアトモスフィア
492	000	019	099	ハローリリース
493	000	040	099	ナイロンエレクトリックピアノ
494	000	064	099	ナイロンハーブ
495	000	065	099	ハーブボックス
496	000	066	099	アトモスフィアパッド
497	000	067	099	プラネット
498	000	000	100	ブライトネス
499	000	064	100	ファンタジーベル
500	000	096	100	スモーカー
501	000	000	101	ゴブリン
502	000	064	101	ゴブリンシンセ
503	000	065	101	クリーパー
504	000	066	101	リングパッド
505	000	067	101	リチュアル
506	000	068	101	トゥヘブン
507	000	070	101	ナイト
508	000	071	101	グリスン
509	000	096	101	ベルクワイア
510	000	000	102	エコー
511	000	008	102	エコー 2
512	000	014	102	エコーパン
513	000	064	102	エコーベル
514	000	065	102	ビッグパン
515	000	066	102	シンセピアノ
516	000	067	102	クリエーション
517	000	068	102	スターダスト
518	000	069	102	レゾナント & パンニング
519	000	000	103	サイエンスフィクション
520	000	064	103	スターズ
ワールド				
521	000	000	104	シタール
522	000	032	104	デチューンドシタール
523	000	035	104	シタール 2
524	000	096	104	タンブラ
525	000	097	104	タンブーラ
526	000	000	105	パンジョー
527	000	028	105	ミュートパンジョー
528	000	096	105	ラパーブ

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
529	000	097	105	ゴピチャント
530	000	098	105	ウッド
531	000	000	106	三味線
532	000	000	107	琴
533	000	096	107	大正琴
534	000	097	107	カヌーン
535	000	000	108	カリンバ
536	000	000	109	バグパイプ
537	000	000	110	フィドル
538	000	000	111	シャナイ
539	000	064	111	シャナイ 2
540	000	096	111	ブーンギ
541	000	097	111	箏篋 (ひちりき)
パーカッション				
542	000	000	112	ティンクルベル
543	000	096	112	ボナン
544	000	097	112	アルマイル
545	000	098	112	ガムラン
546	000	099	112	ステレオガムラン
547	000	100	112	ラマシンバル
548	000	101	112	アジアンベル
549	000	000	113	アゴゴ
550	000	000	114	スチールドラム
551	000	097	114	グラスパーカッション
552	000	098	114	タイベル
553	000	000	115	ウッドブロック
554	000	096	115	カスターネット
555	000	000	116	和太鼓
556	000	096	116	グランカッサ
557	000	000	117	メロディックタム
558	000	064	117	メロディックタム 2
559	000	065	117	リアルタム
560	000	066	117	ロックタム
561	000	000	118	シンセドラム
562	000	064	118	アナログタム
563	000	065	118	エレクトロニックパーカッション
564	000	000	119	リバーシンバル
サウンドエフェクト				
565	000	000	120	フレットノイズ
566	000	000	121	ブレスノイズ
567	000	000	122	海辺
568	000	000	123	鳥のさえずり
569	000	000	124	電話
570	000	000	125	ヘリコプター
571	000	000	126	拍手
572	000	000	127	銃声
573	064	000	000	カッティングノイズ
574	064	000	001	カッティングノイズ 2
575	064	000	003	ストリングスラップ
576	064	000	016	フルートキークリック
577	064	000	032	雨
578	064	000	033	雷
579	064	000	034	風
580	064	000	035	小川
581	064	000	036	泡
582	064	000	037	フィード
583	064	000	048	犬
584	064	000	049	馬

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
585	064	000	050	鳥のさえずり 2
586	064	000	054	ゴースト
587	064	000	055	マオウ
588	064	000	064	フォーンコール
589	064	000	065	ドアのきしみ
590	064	000	066	ドアが閉まる
591	064	000	067	スクラッチカット
592	064	000	068	スクラッチスプリット
593	064	000	069	ウィンドチャイム
594	064	000	070	電話 2
595	064	000	080	エンジンスタート
596	064	000	081	ブレーキ
597	064	000	082	レーシングカー
598	064	000	083	クラッシュ
599	064	000	084	サイレン
600	064	000	085	トレイン
601	064	000	086	ジェット機
602	064	000	087	宇宙船
603	064	000	088	バースト
604	064	000	089	ローラーコースター
605	064	000	090	潜水艦
606	064	000	096	笑い声
607	064	000	097	絶叫
608	064	000	098	パンチ
609	064	000	099	鼓動
610	064	000	100	足音
611	064	000	112	マシンガン
612	064	000	113	レーザーガン
613	064	000	114	爆発音
614	064	000	115	花火

[DJ 楽器リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No.	楽器名
	MSB	LSB		
DJ				
615	000	123	118	DJ セット 1
616	000	123	119	DJ セット 2
617	000	123	120	DJ セット 3
618	000	123	121	DJ セット 4
619	000	123	122	DJ セット 5

[DJ 楽器リスト]

楽器 No.		615	616	617	618	619
MSB/LSB/PC		000/123/118	000/123/119	000/123/120	000/123/121	000/123/122
Note No.	Note	DJ セット 1	DJ セット 2	DJ セット 3	DJ セット 4	DJ セット 5
036	C 1	BD Analog H	Bass Drum Soft	BD Analog H	BD Analog H	BD Analog H
037	C# 1	Analog Side Stick	Side Stick	Analog Side Stick	Analog Side Stick	Analog Side Stick
038	D 1	Analog Snare 1	Snare M	Analog Snare 1	Analog Snare 1	Analog Snare 1
039	D# 1	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap	Hand Clap
040	E 1	Analog Snare 2	Snare H Hard	Analog Snare 2	Analog Snare 2	Analog Snare 2
041	F 1	Analog Tom 1	Floor Tom L	Analog Tom 1	Analog Tom 1	Analog Tom 1
042	F# 1	Analog HH Closed 1	Hi-Hat Closed	Analog HH Closed 1	Analog HH Closed 1	Analog HH Closed 1
043	G 1	Analog Tom 2	Floor Tom H	Analog Tom 2	Analog Tom 2	Analog Tom 2
044	G# 1	Analog HH Closed 2	Hi-Hat Pedal	Analog HH Closed 2	Analog HH Closed 2	Analog HH Closed 2
045	A 1	Analog Tom 3	Low Tom	Analog Tom 3	Analog Tom 3	Analog Tom 3
046	A# 1	Analog HH Open	Hi-Hat Open	Analog HH Open	Analog HH Open	Analog HH Open
047	B 1	Analog Tom 4	Mid Tom L	Analog Tom 4	Analog Tom 4	Analog Tom 4
048	C 2	Analog Tom 5	Mid Tom H	Analog Tom 5	Analog Tom 5	Analog Tom 5
049	C# 2	Analog Cymbal	Crash Cymbal 1	Analog Cymbal	Analog Cymbal	Analog Cymbal
050	D 2	Analog Tom 6	High Tom	Analog Tom 6	Analog Tom 6	Analog Tom 6
051	D# 2	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1	Ride Cymbal 1
052	E 2	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal	Chinese Cymbal
053	F 2	Ride Cymbal Cup	Ride Cymbal Cup	Ride Cymbal Cup	Ride Cymbal Cup	Ride Cymbal Cup
054	F# 2	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine	Tambourine
055	G 2					
056	G# 2					
057	A 2					
058	A# 2					
059	B 2					
060	C 3					
061	C# 3					
062	D 3					
063	D# 3	Ohh2	FX01	ORCH	signal	Go
064	E 3					
065	F 3					
066	F# 3					
067	G 3					
068	G# 3					
069	A 3					
070	A# 3					
071	B 3					
072	C 4					
073	C# 4					
074	D 4					
075	D# 4					
076	E 4					
077	F 4	FX02	Onemoretime	Onemoretime	Uhh-Hit	Huea
078	F# 4					
079	G 4					
080	G# 4					
081	A 4					
082	A# 4					
083	B 4					
084	C 5	Joo	Go	GetUp	Huihu	GetUp
085	C# 5	Reverse	Ohh2	signal	Joo	Reverse
086	D 5	Huihu	Heau	Joo	ComeOn	Joo
087	D# 5	FXTBrs	FX02	FXTBrs	Onemoretime	FX01
088	E 5	Huea	Huihu	Go	Go	Ohh1
089	F 5	GetUp	GetUp	Huihu	GetUp	Ohh2
090	F# 5	Ohh1	Reverse	FX01	Huea	Onemoretime
091	G 5	Go	signal	ComeOn	Ohh2	ComeOn
092	G# 5	Scratch 1	Scratch 1	Scratch 1	Scratch 1	Scratch 1
093	A 5	Scratch 2	Scratch 2	Scratch 2	Scratch 2	Scratch 2
094	A# 5	Scratch 3	Scratch 3	Scratch 3	Scratch 3	Scratch 3
095	B 5	Scratch 4	Scratch 4	Scratch 4	Scratch 4	Scratch 4
096	C 6	Scratch 5	Scratch 5	Scratch 5	Scratch 5	Scratch 5



スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
8 ビート	
001	8BeatModern
002	60'sGtrPop
003	8BeatAdria
004	60's8Beat
005	8Beat
006	OffBeat
007	60'sRock
008	HardRock
009	RockShuffle
010	8BeatRock
16 ビート	
011	16Beat
012	PopShuffle1
013	PopShuffle2
014	GuitarPop
015	16BtUptempo
016	KoolShuffle
017	JazzRock
018	HipHopLight
バラード	
019	PianoBallad
020	LoveSong
021	6/8ModernEP
022	6/8SlowRock
023	OrganBallad
024	PopBallad
025	16BeatBallad1
026	16BeatBallad2
ダンス	
027	EuroTrance
028	Ibiza
029	HouseMusik
030	SwingHouse
031	TechnoPolis
032	Clubdance
033	ClubLatin
034	Garage1
035	Garage2
036	TechnoParty
037	UKPop
038	HipHopGroove
039	HipShuffle
040	HipHopPop
ディスコ	
041	70'sDisco1
042	70'sDisco2
043	LatinDisco
044	DiscoPhilly
045	SaturdayNight
046	DiscoChocolate
047	DiscoHands
スウィング & ジャズ	
048	BigBandFast
049	BigBandMid
050	BigBandBallad
051	BigBandShfl
052	JazzClub

スタイル No.	スタイル名
053	Swing1
054	Swing2
055	Five/Four
056	JazzBallad
057	Dixieland
058	Ragtime
059	AfroCuban
060	Charleston
リズム & ブルース	
061	Soul
062	DetroitPop1
063	60'sRock&Roll
064	6/8Soul
065	CrocoTwist
066	Rock&Roll
067	DetroitPop2
068	BoogieWoogie
069	ComboBoogie
070	6/8Blues
カントリー	
071	Country8Beat
072	CountryPop
073	CountrySwing
074	Country2/4
075	CowboyBoogie
076	CountryShuffle
077	Bluegrass
ラテン	
078	BrazilianSamba
079	BossaNova
080	PopBossa
081	Tijuana
082	DiscoLatin
083	Mambo
084	Salsa
085	Beguine
086	GypsyRumba
087	RmbFlamenca
088	Rumbalsland
089	Reggae
ボールルーム	
090	VienneseWaltz
091	EnglishWaltz
092	Slowfox
093	Foxtrot
094	Quickstep
095	Tango
096	Pasodoble
097	Samba
098	ChaChaCha
099	Rumba
100	Jive
トラディショナル	
101	USMarch
102	6/8March
103	GermanMarch
104	PolkaPop
105	OberPolka

スタイル No.	スタイル名
106	Tarantella
107	Showtune
108	ChristmasSwing
109	ChristmasWaltz
110	ScottishReel
111	Hawaiian
ワルツ	
112	GuitarSerenade
113	SwingWaltz
114	JazzWaltz1
115	JazzWaltz2
116	CountryWaltz
117	OberWalzer
118	Musette
DJ	
119	DJ-HipHop
120	DJ-DanceSwing
121	DJ-House
122	DJ-GarageHouse
123	DJ-PopR&B
ピアニスト	
124	Stride
125	PianoSwing
126	PianoRag
127	Arpeggio
128	Musical
129	Habanera
130	SlowRock
131	8BeatPianoBallad
132	PianoMarch
133	6/8PianoMarch
134	PianoWaltz
135	PianoBegguine



ミュージックデータベースリスト

M.D.B. No.	M.D.B. 名
ポップヒット	
001	AlvFever
002	CrocoRk
003	DayPdise
004	EasySday
005	GoMyWay
006	HowDeep!
007	HurryLuv
008	I1 m Torn
009	Imagine
010	ISurvive
011	JustCall
012	JustWay
013	NikitTrp
014	ProudGtr
015	SailingSx
016	Sept.Pop
017	SultanSw
018	SweetLrd
019	ThnkMsic
020	TitanicH
021	WatchGrl
022	WhatALoo
023	WhitePle
024	YestDGtr
スウィング & ジャズ	
025	AlexRag
026	Blue Set
027	DayOfW&R
028	HighMoon
029	MistySax
030	MoonLit
031	New York
032	PanthrSw
033	PatrolBr
034	PatrolSx
035	PetiteCl
036	RedRoses
037	SaintMch
038	SatinWd
039	SaxMood
040	SFHeart
041	ShearJz
042	Showbiz
043	SplnkyTb
044	SunnySde
045	TstHoney
046	TwoFoot5
047	WhatsNew
048	WildCat
049	WondrLnd
イージーリスニング	
050	BlackFst
051	CaliBlue
052	CiaoCpri
053	Close2U
054	DAmorStr
055	DolanesM
056	EiCondor
057	Entrtain
058	Frippers
059	LuckySax
060	LuvStory
061	MyPrince
062	OSoleMio
063	PalomaGt
064	PuppetBr
065	Raindrop
066	RedMouln
067	R1 ticGtr
068	Schiwago
069	ShadowGt
070	SingRain
071	SmallWld
072	SpkSoft

M.D.B. No.	M.D.B. 名
073	SpnishEy
074	StrangeN
075	TieRibbn
076	TimeGoes
077	WhteXmas
078	WishStar
079	WondrWld
ロマンティックバラード	
080	AdelineB
081	ArgenCry
082	BeautBdy
083	BI Bayou
084	CatMemry
085	CavaSolo
086	E Weiss
087	ElvGhett
088	Feeling
089	Fly Away
090	Fnl Date
091	GreenSlv
092	GtCncert
093	HrdToSay
094	LonlyPan
095	MBoxDnce
096	Mn Rivr
097	Norw.Flt
098	OnMyMnd
099	OverRbow
100	Red Lady
101	ReleseMe
102	SavingLv
103	Shore Cl
104	SierraMd
105	SilverMn
106	SmokyEye
107	SndOfSil
108	TblWater
109	WhisprSx
ロック & フェュージョン	
110	DavAgain
111	JumpRock
112	OyComCha
113	PickUpPc
114	RdRiverR
115	SatsfyGt
116	Sheriff
117	SmokeWtr
118	TwistAgn
119	VenusPop
リズム & ブルース	
120	AmazingG
121	BoogiePf
122	ClockRk
123	CU later
124	HappyDay
125	JohnnyB
126	MercyBrs
127	RisingSn
128	S Preems
129	SuperStv
130	YehOrgn
ヒップホップハウス	
131	2 of US
132	B Leave
133	BackSt
134	FunkyTwn
135	KillSoft
136	MiamiTrn
137	NinePM
138	SharpRap
139	SingBack
140	StrandD
ラテン	
141	BambaBrs
142	BambaFlt

M.D.B. No.	M.D.B. 名
143	BeHappy!
144	CopaLola
145	DayNight
146	Ipanema
147	MarinaAc
148	MuchoTrb
149	SmoothLt
150	SunOfLif
151	Sunshine
152	TicoOrg
153	TrbWave
カントリー & ウェスタン	
154	BlownWnd
155	Bonanza
156	BoxerGtr
157	CntryRds
158	GreenGrs
159	Jambala
160	LondonSt
161	LooseEL
162	TopWorld
163	YlwRose
ディスコ & パーティー	
164	AlhHwaih
165	Babylon
166	Barbados
167	BirdySyn
168	FestaMex
169	HandsPty
170	LuvTheme
171	ModrnTlk
172	NxtAlice
173	PalomaFl
174	PubPiano
175	Tijuana
176	WhyMCA?
ボールルーム	
177	BrazilBr
178	CherryBr
179	CherryOr
180	DanubeWv
181	MantoStr
182	SandmnFx
183	SundyNvr
184	TangoPiz
185	Tea4Two
186	TulipWtz
187	YesSirQk
トラディショナル	
188	AlpenTri
189	Balalaik
190	Ceilidh
191	CielPari
192	ClPolka
193	Comrades
194	Funiculi
195	HappyPlk
196	Herzlin
197	HornPipe
198	JinglBel
199	Kufstein
200	MexiHat
201	MickyFit
202	NavyAway
203	RIBarrel
204	SnowWtz
205	StarMrch
206	WashPost
207	WdCuttrs
208	XmasWalz



ドラムキットリスト

“ ”は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

DGX-500/300の鍵盤(Keyboard)の Note No. と Note は、MIDIの Note No. と Note よりも 1 オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シークリックH (MIDI Note No.24/Note C0)」を DGX-500/300の鍵盤で鳴らす場合は、Note No.36/Note C1 を押さえます。

「Alternate assign」欄のオルタネート番号(1~4)が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

「Key off」の欄に 印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります(キーオフされます)。

	楽器 No.						123	124	125	126	127	128
	MSB/LSB/PC						127/000/000	127/000/001	127/000/008	127/000/016	127/000/024	127/000/025
	Keyboard	MIDI		Key Off	Alternate assign		スタンダードキット 1	スタンダードキット 2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット
	Note No.	Note	Note No.	Note								
C#0	25	C# 0	13	C# -1		3	スルドミュート					
D#0	26	D 0	14	D -1		3	スルドオープン					
E0	27	D# 0	15	D# -1			ハイキュー					
F0	28	E 0	16	E -1			ウィップスラップ					
F#0	29	F 0	17	F -1		4	スクラッチブッシュ					
G0	30	F# 0	18	F# -1		4	スクラッチブル					
G#0	31	G 0	19	G -1			フィンガースナップ					
A0	32	G# 0	20	G# -1			クリックノイズ					
A#0	33	A 0	21	A -1			メトロノームクリック					
B0	34	A# 0	22	A# -1			メトロノームベル					
C1	35	B 0	23	B -1			シークリックL					
C#1	36	C 1	24	C 0			シークリックH					
D1	37	C# 1	25	C# 0			ブラッシュタップ					
D#1	38	D 1	26	D 0	O		ブラッシュスワール					
E1	39	D# 1	27	D# 0			ブラッシュスラップ					
F1	40	E 1	28	E 0	O		ブラッシュタップスワール				リバースシンバル	リバースシンバル
F#1	41	F 1	29	F 0	O		スネアロー					
G1	42	F# 1	30	F# 0			カスターネット				ハイキュー2	ハイキュー2
G#1	43	G 1	31	G 0			スネアHソフト	スネアHソフト 2		スネアロックH	スネアL	スネアロックH
A1	44	G# 1	32	G# 0			スティックス					
A#1	45	A 1	33	A 0			バスドラムソフト				バスドラムH	バスドラムH
B1	46	A# 1	34	A# 0			オープンリムショット	オープンリムショット2				
C2	47	B 1	35	B 0			バスドラムハード			バスドラムH	バスドラムロック	バスドラムアナログL
C#2	48	C 2	36	C 1			バスドラム	バスドラム2		バスドラムロック	バスドラムゲート	バスドラムアナログH
D2	49	C# 2	37	C# 1			サイドスティック					アナログサイドスティック
D#2	50	D 2	38	D 1			スネアM	スネアM2				アナログスネア1
E2	51	D# 2	39	D# 1			ハンドクラップ					
F2	52	E 2	40	E 1			スネアHハード	スネアHハード 2				
F#2	53	F 2	41	F 1			フロアタムL		スネアルームH	スネアロックリム	スネアロックH	アナログスネア1
G2	54	F# 2	42	F# 1	1		ハイハットクローズ			ロックタム1	エレクトロニックタム1	アナログタム1
G#2	55	G 2	43	G 1			フロアタムH	ルームタム2	ロックタム2	エレクトロニックタム2		アナログハイハットクローズ1
A2	56	G# 2	44	G# 1	1		ハイハットベダル					アナログタム2
A#2	57	A 2	45	A 1			ロータム	ルームタム3	ロックタム3	エレクトロニックタム3		アナログハイハットクローズ2
B2	58	A# 2	46	A# 1	1		ハイハットオープン					アナログタム3
C3	59	B 2	47	B 1			ミッドタムL	ルームタム4	ロックタム4	エレクトロニックタム4		アナログハイハットオープン
C#3	60	C 3	48	C 2			ミッドタムH	ルームタム5	ロックタム5	エレクトロニックタム5		アナログタム4
D3	61	C# 3	49	C# 2			クラッシュシンバル1					アナログタム5
D#3	62	D 3	50	D 2			ハイタム	ルームタム6	ロックタム6	エレクトロニックタム6		アナログシンバル
E3	63	D# 3	51	D# 2			ライドシンバル1					アナログタム6
F3	64	E 3	52	E 2			チャイニーズシンバル					
F#3	65	F 3	53	F 2			ライドシンバルカップ					
G3	66	F# 3	54	F# 2			タンバリン					
A3	67	G 3	55	G 2			スブラッシュシンバル					
A#3	68	G# 3	56	G# 2			カウベル					アナログカウベル
B3	69	A 3	57	A 2			クラッシュシンバル2					
C4	70	A# 3	58	A# 2			ビブラスラップ					
C#4	71	B 3	59	B 2			ライドシンバル2					
D4	72	C 4	60	C 3			ボンゴH					
D#4	73	C# 4	61	C# 3			ボンゴL					
E4	74	D 4	62	D 3			コンガHミュート					アナログコンガH
F4	75	D# 4	63	D# 3			コンガHオープン					アナログコンガM
F#4	76	E 4	64	E 3			コンガL					アナログコンガL
G4	77	F 4	65	F 3			ティンバレスH					
A4	78	F# 4	66	F# 3			ティンバレスL					
A#4	79	G 4	67	G 3			アゴゴH					
B4	80	G# 4	68	G# 3			アゴゴL					
C5	81	A 4	69	A 3			カバサ					
C#5	82	A# 4	70	A# 3			マラカス					アナログマラカス
D5	83	B 4	71	B 3	O		サンバホイッスルH					
D#5	84	C 5	72	C 4	O		サンバホイッスルL					
E5	85	C# 5	73	C# 4			ギロショット					
F5	86	D 5	74	D 4	O		ギロロング					
F#5	87	D# 5	75	D# 4			クラブス					アナログクラブス
G5	88	E 5	76	E 4			ウッドブロックH					
A5	89	F 5	77	F 4			ウッドブロックL					
A#5	90	F# 5	78	F# 4			クワイカミュート				スクラッチブッシュ	スクラッチブッシュ
B5	91	G 5	79	G 4			クワイカオープン				スクラッチブル	スクラッチブル
C6	92	G# 5	80	G# 4		2	トライアングルミュート					
C#6	93	A 5	81	A 4		2	トライアングルオープン					
D6	94	A# 5	82	A# 4			シェイカー					
D#6	95	B 5	83	B 4			ジングルベル					
E6	96	C 6	84	C 5			ベルツリー					
F6	97	C# 6	85	C# 5								
F#6	98	D 6	86	D 5								
G6	99	D# 6	87	D# 5								
	100	E 6	88	E 5								
	101	F 6	89	F 5								
	102	F# 6	90	F# 5								
	103	G 6	91	G 5								

ドラムキットリスト

	楽譜 No.						123	129	130	131	132	133	134
	MSB/LSB/PC						127/000/000	127/000/027	127/000/032	127/000/040	127/000/048	126/000/000	126/000/001
	Keyboard	MIDI	Key	Alternate			スタンダードキット 1	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニックキット	SFX キット 1	SFX キット 2
NoteNo.	Note	NoteNo.	Note	Off	assign								
D0	C#0	25	C#0	13	C#-1		3						
	D#0	26	D#0	14	D-1		3						
E0	D#0	27	D#0	15	D#-1								
	F#0	28	E#0	16	E-1								
F0	F#0	29	F#0	17	F-1		4						
	G#0	30	F#0	18	F#-1		4						
G0	G#0	31	G#0	19	G-1								
	A#0	32	G#0	20	G#-1								
A0	A#0	33	A#0	21	A-1								
	B#0	34	A#0	22	A#-1								
B0	B#0	35	B#0	23	B-1								
	C#1	36	C#1	24	C#0								
C1	C#1	37	C#1	25	C#0								
	D#1	38	D#1	26	D#0	O							
D1	D#1	39	D#1	27	D#0								
	E#1	40	E#1	28	E#0	O							
E1	E#1	41	F#1	29	F#0	O							
	F#1	42	F#1	30	F#0								
F1	F#1	43	G#1	31	G#0								
	G#1	44	G#1	32	G#0								
G1	G#1	45	A#1	33	A#0								
	A#1	46	A#1	34	A#0								
A1	A#1	47	B#1	35	B#0								
	B#1	48	C#2	36	C#1								
B1	B#1	49	C#2	37	C#1								
	C#2	50	D#2	38	D#1								
D1	C#2	51	D#2	39	D#1								
	D#2	52	E#2	40	E#1								
E1	D#2	53	F#2	41	F#1								
	F#2	54	F#2	42	F#1	1							
F1	F#2	55	G#2	43	G#1								
	G#2	56	G#2	44	G#1	1							
G1	G#2	57	A#2	45	A#1								
	A#2	58	A#2	46	A#1	1							
A1	A#2	59	B#2	47	B#1								
	B#2	60	C#3	48	C#2								
B1	C#3	61	C#3	49	C#2								
	C#3	62	D#3	50	D#2								
D1	D#3	63	D#3	51	D#2								
	D#3	64	E#3	52	E#2								
E1	D#3	65	F#3	53	F#2								
	F#3	66	F#3	54	F#2								
F1	F#3	67	G#3	55	G#2								
	G#3	68	G#3	56	G#2								
G1	G#3	69	A#3	57	A#2								
	A#3	70	A#3	58	A#2								
A1	A#3	71	B#3	59	B#2								
	B#3	72	C#4	60	C#3								
B1	C#4	73	C#4	61	C#3								
	C#4	74	D#4	62	D#3								
D1	D#4	75	D#4	63	D#3								
	D#4	76	E#4	64	E#3								
E1	F#4	77	F#4	65	F#3								
	F#4	78	F#4	66	F#3								
F1	G#4	79	G#4	67	G#3								
	G#4	80	G#4	68	G#3								
G1	A#4	81	A#4	69	A#3								
	A#4	82	A#4	70	A#3								
A1	A#4	83	B#4	71	B#3	O							
	B#4	84	C#5	72	C#4	O							
B1	C#5	85	C#5	73	C#4								
	C#5	86	D#5	74	D#4	O							
D1	D#5	87	D#5	75	D#4								
	D#5	88	E#5	76	E#4								
E1	F#5	89	F#5	77	F#4								
	F#5	90	F#5	78	F#4								
F1	G#5	91	G#5	79	G#4								
	G#5	92	G#5	80	G#4	2							
G1	A#5	93	A#5	81	A#4	2							
	A#5	94	A#5	82	A#4								
A1	B#5	95	B#5	83	B#4								
	B#5	96	C#6	84	C#5								
B1	C#6	97	C#6	85	C#5								
	D#6	98	D#6	86	D#5								
D1	D#6	99	D#6	87	D#5								
	E#6	100	E#6	88	E#5								
E1	F#6	101	F#6	89	F#5								
	F#6	102	F#6	90	F#5								
F1	G#6	103	G#6	91	G#5								



エフェクトタイプリスト






















[リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解説
1 ~ 2	Hall 1 ~ 2 (ホール 1 ~ 2)	ホールで弾いたときのようなリバーブ (残響) がかけられます。
3 ~ 4	Room 1 ~ 2 (ルーム 1 ~ 2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ (残響) がかけられます。
5 ~ 6	Stage 1 ~ 2 (ステージ 1 ~ 2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
7 ~ 8	Plate 1 ~ 2 (プレート 1 ~ 2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
9	Off (オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。

[DSPタイプリスト]

No.	タイプ	解説
01 ~ 02	Hall 1 ~ 2 (ホール 1 ~ 2)	ホールで弾いたときのようなリバーブ (残響) がかけられます。
03 ~ 04	Room 1 ~ 2 (ルーム 1 ~ 2)	部屋で弾いたときのようなリバーブ (残響) がかけられます。
05 ~ 06	Stage 1 ~ 2 (ステージ 1 ~ 2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07 ~ 08	Plate 1 ~ 2 (プレート 1 ~ 2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09 ~ 10	Early Reflection 1 ~ 2 (アーリーリフレクション 1 ~ 2)	リバーブの初期反射音のみ取り出したエフェクトです。
11	Gate Reverb (ゲートリバーブ)	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
12	Reverse Gate (リバースゲート)	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
13 ~ 14	Chorus 1 ~ 2 (コーラス 1 ~ 2)	音が自然に広がるコーラス効果がかけられます。
15 ~ 16	Flanger 1 ~ 2 (フランジャー 1 ~ 2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
17	Symphonic (シンフォニック)	音にうねりと広がりを与える効果です。
18	Phaser (フェーザー)	位相 (フェイズ) を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
19 ~ 20	Rotary Speaker 1 ~ 2 (ロータリースピーカー 1 ~ 2)	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
21 ~ 22	Tremolo 1 ~ 2 (トレモロ 1 ~ 2)	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
23	Guitar Tremolo (ギタートレモロ)	エレキギター用のトレモロをシミュレートしたものです。
24	Auto Pan (オートパン)	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
25	Auto Wah (オートワウ)	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
26	Delay Left - Center - Right (ディレイ Left - Center - Right)	Left, Center, Right の 3 本のディレイ音を発生するプログラムです。
27	Delay Left - Right (ディレイ Left - Right)	Left, Right の 2 本のディレイ音を発生するプログラムです。2 本のフィードバックディレイを持っています。
28	Echo (エコー)	Left, Right の 2 本のディレイと、Left, Right 独立のフィードバックディレイを持っています。
29	Cross Delay (クロスディレイ)	2 本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
30	Karaoke (カラオケ)	カラオケ用のエコーです。
31	Distortion Hard (ディストーションハード)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
32	Distortion Soft (ディストーションソフト)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
33	Overdrive (オーバードライブ)	音にマイルドな歪みを与えます。NOISE GATE が入っていますので、A/D 入力にも向いています。
34	Amp Simulation (ギターアンプシミュレーション)	ギターアンプをシミュレートしたものです。NOISE GATE が入っていますので、A/D 入力にも向いています。
35	EQ Disco (イコライザーディスコ)	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られます。
36	EQ Telephone (イコライザーテレフォン)	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。
37	3Band EQ (3バンドイコライザー)	LOW, MID, HIGH のイコライジングが可能な MONO EQ です。
38	2Band EQ (2バンドイコライザー)	LOW, MID のイコライジングが可能な STEREO EQ です。DRUM パートに最適です。
39	No Effect (ノーエフェクト)	DSP エフェクトはかかりません。

[ハーモニータイプリスト]

No.	タイプ	解 説	
01	Duet (デュエット)	メロディに音が重なり、二声になります。	
02	Trio (トリオ)	メロディに、メロディより下の二つの付加音が重なり三声になります。	
03	Block (ブロック)	メロディ音に近い音域の三つのハーモニー音が加わることで、四声のコード音になります。	
04	Country (カントリー)	デュエットのように、メロディに音が重なりますが、この付加音はメロディ音よりも上の音程になります。	
05	Octave (オクターブ)	メロディに1オクターブ下の音が付加されます。	
06	Trill 1/4 (トリル 1/4)		2つの音を押さえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードで繰り返し発音します。
07	Trill 1/6 (トリル 1/6)		
08	Trill 1/8 (トリル 1/8)		
09	Trill 1/12 (トリル 1/12)		
10	Trill 1/16 (トリル 1/16)		
11	Trill 1/24 (トリル 1/24)		
12	Trill 1/32 (トリル 1/32)		
13	Tremolo 1/4 (トレモロ 1/4)		
14	Tremolo 1/6 (トレモロ 1/6)		
15	Tremolo 1/8 (トレモロ 1/8)		
16	Tremolo 1/12 (トレモロ 1/12)		
17	Tremolo 1/16 (トレモロ 1/16)		
18	Tremolo 1/24 (トレモロ 1/24)		
19	Tremolo 1/32 (トレモロ 1/32)		
20	Echo 1/4 (エコー 1/4)		メロディに、選ばれたスピードのエコー (こだま) 効果がかかります。
21	Echo 1/6 (エコー 1/6)		
22	Echo 1/8 (エコー 1/8)		
23	Echo 1/12 (エコー 1/12)		
24	Echo 1/16 (エコー 1/16)		
25	Echo 1/24 (エコー 1/24)		
26	Echo 1/32 (エコー 1/32)		



MIDIインプリメンテーションチャート

YAMAHA [Portable Grand™]
Model DGX-500/300 MIDIインプリメンテーションチャート

Date : 12-MAR-2002
Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 - 16チャンネル x	1 - 16チャンネル *1 x	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	3 x *****	3 x x	
ノート番号	音域	0 - 127 *****	0 - 127 0 - 127	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	9nH, v=1 - 127 9nH, v=0	9nH, v=1 - 127 9nH, v=0 or 8nH	
アフタータッチ	キー別 チャンネル別	x x	x x	
ピッチベンダー		x		
コントロールチェンジ	0, 32 1 6 38 7 10 11 64 71 72 73 74 84 91, 93, 94 96, 97 100, 101	x *2 x *2 x *2 x *2 x *2 x *2 x *2 x *2		バンクセレクト モジュレーションホイール データエントリー (MSB) データエントリー (LSB) パートボリューム パン エクスプレッション サステイン ハーモニックコンテンツ リリースタイム アタックタイム ブライトネス ポルタメントコントロール エフェクトデプス RPNデータインクリメント, デクリメント RPN LSB, MSB
プログラムチェンジ	設定可能	0 - 127 *****	0 - 127	
エクスクルーシブ			*3	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	x x x	x x x	
リアルタイム	クロック コマンド		*4	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントロール ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	x x x x x	(120, 126, 127) (121) (122) *5 (123 - 125) x	

モード1 : オムニ・オン、ポリ
モード3 : オムニ・オフ、ポリ

モード2 : オムニ・オン、モノ
モード4 : オムニ・オフ、モノ

: あり
x : なし

- *1 MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、自動伴奏、およびソングに影響します。
- MIDI マスターチューン
 - リバーブ、コーラス、DSP の各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ
- *2 これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、伴奏またはハーモニー演奏中に送信されることがあります。
- *3 エクスクルーシブ
- < GMシステムオン >
F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H
- MIDI マスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。
- < MIDI マスターボリューム >
F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, II, mm, F7H
- 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
 - mm の値を MIDI マスターボリューム値として使用します。(IIは無視)
- < MIDI マスターチューニング >
F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, mm, II, cc, F7H
- 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
 - mm, II の値を MIDI マスターチューニング値として使用します。
 - mm, II のデフォルトは 08H, 00H です。また、n および cc の値は任意です。
- < リバーブタイプ >
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, IIH, mmH, F7H
- II: リバーブタイプ MSB
 - mm: リバーブタイプ LSB
- 詳細はエフェクトマップ(100ページ)を参照してください。
- < コーラスタイプ >
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, IIH, mmH, F7H
- II: コーラスタイプ MSB
 - mm: コーラスタイプ LSB
- 詳細はエフェクトマップ(100ページ)を参照してください。
- < DSP タイプ >
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, IIH, mmH, F7H
- II: DSP タイプ MSB
 - mm: DSP タイプ LSB
- 詳細はエフェクトマップ(100ページ)を参照してください。
- < ドライレベル >
F0H, 43H, 1nH, 4CH, 08H, 0mH, 11H, IIH, F7H
- II: ドライレベル
 - 0m: チャンネル番号
- *4 伴奏やソングのスタート時に FAH を、ストップ時に FCH を送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH (伴奏のスタート)、FCH (伴奏のストップ)を受信します。
- *5 ローカル オン/オフ
< ローカル オン > Bn, 7A, 7F
< ローカル オフ > Bn, 7A, 00
• n: 無視されます。

MIDIインプリメンテーションチャート

■ エフェクトマップ.....

- ・ TYPE LSB に、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、LSB=0 のタイプとなります。
- ・ () 内の番号 / 名前はパネルディスプレイ上でのものです。
- ・ 外部機器からの MIDI エクスクループデータを DGX-500/300 に送信すれば、DGX-500/300 のパネル操作では設定できないリバーブ / コーラス / DSP タイプを設定することができます。その場合、各エフェクトタイプの設定画面では「 - 」が表示されます。

[リバーブ]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(1)Hall1					(2)Hall2				
002	Room					(3)Room1		(4)Room2		
003	Stage				(5)Stage1	(6)Stage2				
004	Plate				(7)Plate1	(8)Plate2				
005...127	No Effect									

[コーラス]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000...064	No Effect									
065	Chorus		Chorus2							
066	Celeste					Chorus1				
067	Flanger			Flanger1		Flanger2				
068...127	No Effect									

[DSP]

TYPE MSB	TYPE LSB									
	00	01	02	08	16	17	18	19	20	
000	No Effect									
001	(1)Hall1					(2)Hall2				
002	Room					(3)Room1		(4)Room2		
003	Stage				(5)Stage1	(6)Stage2				
004	Plate				(7)Plate1	(8)Plate2				
005	Delay L,C,R				(26)Delay L,C,R					
006	(27)Delay L,R									
007	(28)Echo									
008	(29)Cross Delay									
009	(9)Early Reflection1	(10)Early Reflection2								
010	(11)Gate Reverb									
011	(12)Reverse Gate									
012...019	No Effect									
020	(30)Karaoke									
021...064	No Effect									
065	Chorus		(14)Chorus2							
066	Celeste					(13)Chorus1				
067	Flanger			(15)Flanger1		(16)Flanger2				
068	Symphonic				(17)Symphonic					
069	Rotary Speaker				(19)Rotary Speaker1					
070	Tremolo				(21)Tremolo1					
071	Auto Pan				(24)Auto Pan		(20)Rotary Speaker2	(22)Tremolo2	(23)Guitar Tremolo	
072	(18)Phaser									
073	Distortion									
074	(33)Overdrive									
075	(34)Amp Simulation				(31)Distortion Hard	(32)Distortion Soft				
076	(37)3Band EQ				(35)EQ Disco	(36)EQ Telephone				
077	(38)2Band EQ									
078	Auto Wah				(25)Auto Wah					
079...127	No Effect									



故障かな?と思ったら

現象	原因	解決方法
[電源入 / 切] (STANDBY/ON) スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなった。 音質が劣化した。 リズムが止まる。 ソングなどの録音内容が、正しく演奏(再生)されない。 突然ディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。 	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池に交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
DGX-500/300 から雑音が出る。	DGX-500/300 の近くで携帯電話を使っています。(または呼び出し音が鳴っています)	DGX-500/300 の近くでは携帯電話の電源を切ってください。DGX-500/300 の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT [ヘッドフォン / 外部出力]端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	「コードディクショナリー」が「オン」になっています。	「コードディクショナリー」を「オフ」にしてください。
	MIDI のローカルが「オフ」に設定されています。	ローカルの設定を「オン」にしてください。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、自動伴奏やソングの演奏音が途中で途切れる。	DGX-500/300 の最大同時発音数を越えています。	DGX-500/300 の最大同時発音数は 32 です。自動伴奏やソングなどを含めて最大 32 音の範囲で鳴らすことができます。
スタイルで [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押してもリズム音が鳴らない。	スタイル番号 124 ~ 135 : ピアニストが選ばれています。	故障ではありません。スタイル番号 124 ~ 135 : ピアニストが選ばれている場合は、ピアノだけの伴奏が鳴ります。
スタイルがスタートしない。	クロックの設定が「エクスターナル」に設定されていて、外部クロックが入力されていません。	83 ページの「クロックを設定する」の項を参照して、クロックを「インターナル」に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっています。	43 ページを参照して、スタイル音量の設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切です。	28 ページの「スプリットポイントの変更」の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。
フットスイッチのオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう 1 度電源を入れ直してください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	DGX-500/300 で採用している AWM 音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにわけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。

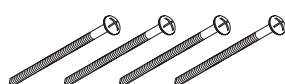
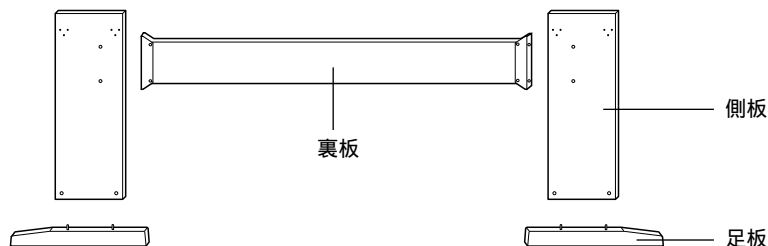
キーボードスタンドの組み立てかた (DGX-500のみ)

プラス (+) のドライバーを用意します。

すべての部品を取り出し、下記イラストの部品がそろっているかどうかを確認します。

組み立て手順に従って必要な部品を使用します。

組み立て部品 (DGX-500 のみ)



① 6 x 70 mm ネジ (頭丸) x 4



② ジョイントコネクター x 4



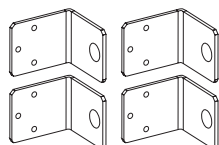
③ 3.5 x 16 mm タッピングネジ x 12



④ 6 x 30 mm ネジ (頭丸) x 4



⑤ 5 x 16 mm ネジ (頭丸) x 4



⑥ L 金具 x 4

安全上のご注意

組立作業、およびご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について

この説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示します。



～しないでくださいという「禁止」を示します。



「必ず実行」してくださいという強制を示します。



注意

以下の内容を無視した取り扱いをすると、障害を負う可能性、または、物的損害が発生する可能性が想定されます。



必ず実行

部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順どおりに組み立てる。



必ず実行

組み立ては、必ず 2 人以上で行なう。



必ず実行

部品の取り付けは、必ず付属のネジを使用する。付属のネジ以外のネジを使用すると、他の部品を傷つけたり、スタンドとしての機能を果たさなかったりします。



必ず実行

スタンド / キーボードは、組み立てが完了した状態で使用する。未完成の状態で使用すると、キーボードが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。



禁止

傾斜地や不安定な場所に設置しない。スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



禁止

指定のキーボード以外の目的に使用しない。指定のキーボード以外のものは取り付けられません。また、指定のキーボード以外のものをのせたり、スタンドにのったり、スタンドにもたれ掛かったりすると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。



禁止

スタンドの上のキーボードに必要な以上の力を加えない。スタンドが転倒したりして危険です。



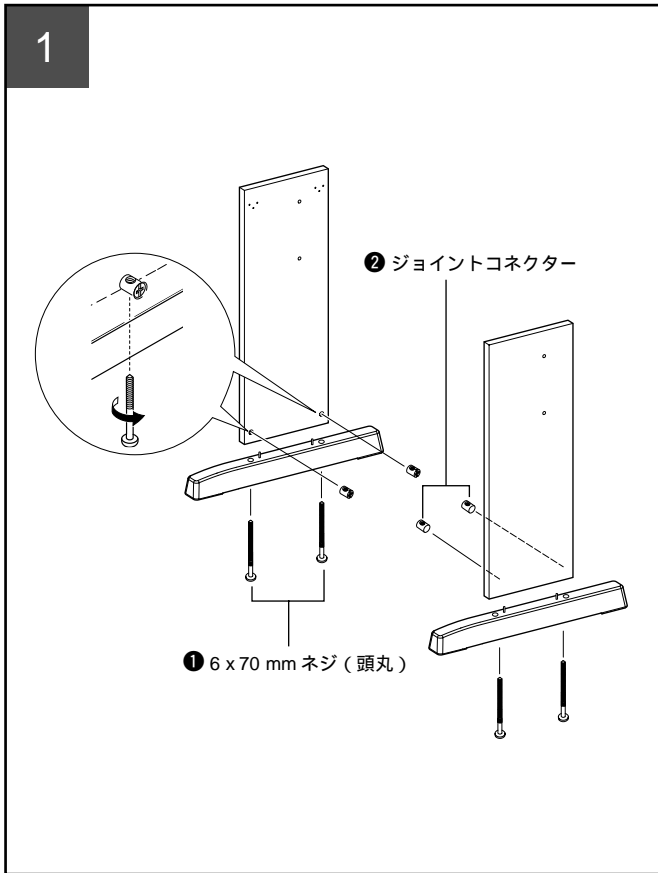
必ず実行

使用前に安全点検をする。使用する前に、ネジが確実にしまっているか、必ず確認してください。ネジがゆるんでいると、スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

スタンドを分解するときは、組み立てと逆の手順で行なう。



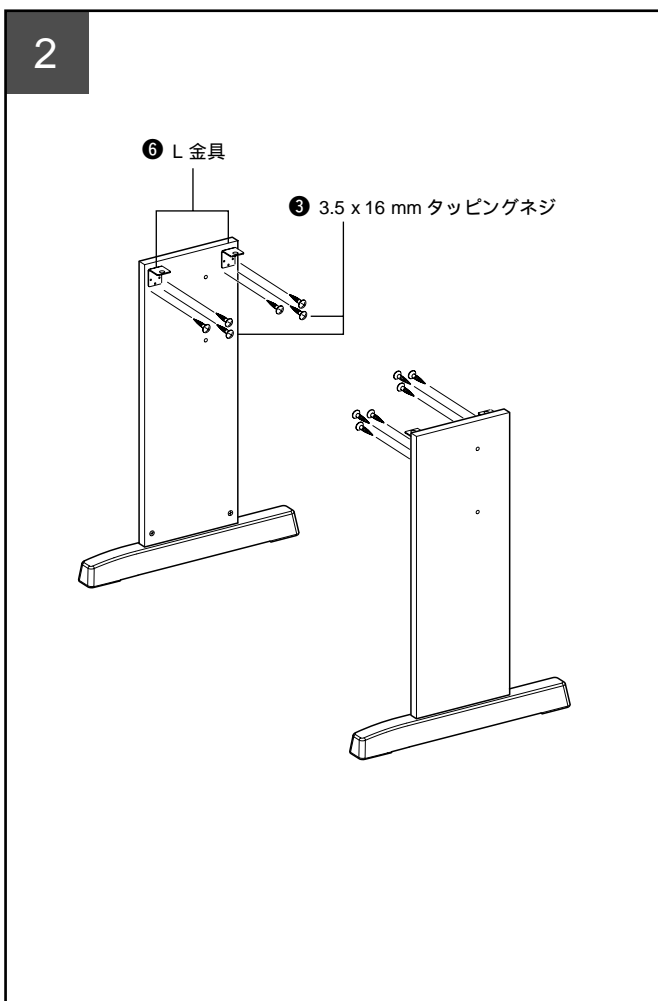
1 左右の足板を側板に固定します。

左右の側板はジョイントコネクターが内側になる位置に合わせて置いてください。

② のジョイントコネクターを左右の側板に差し込みます。ジョイントコネクターはプラスの面が外から見える方向に差し込みます。

足板を ① のネジで固定します。

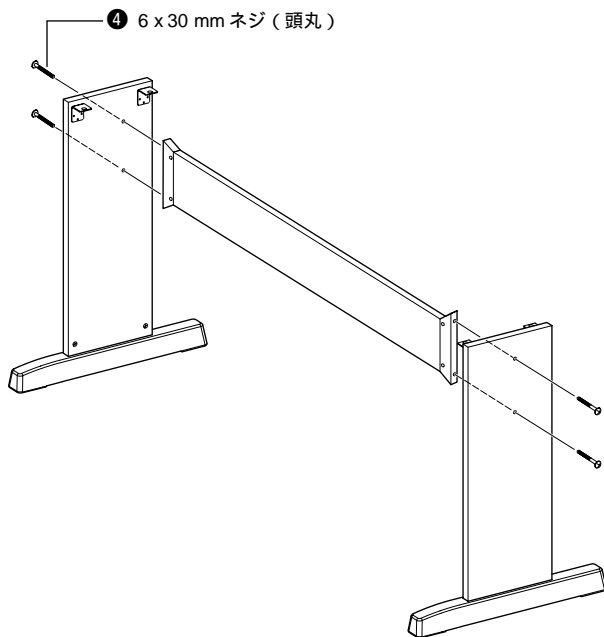
足板の前後方向を間違えると、① のネジは入りません。ジョイントコネクターにネジがうまく入らない場合は、ドライバーを使用してジョイントコネクターを回転させます。



2 L 金具を固定します。

⑥ の L 金具を ③ のネジで固定します。

3



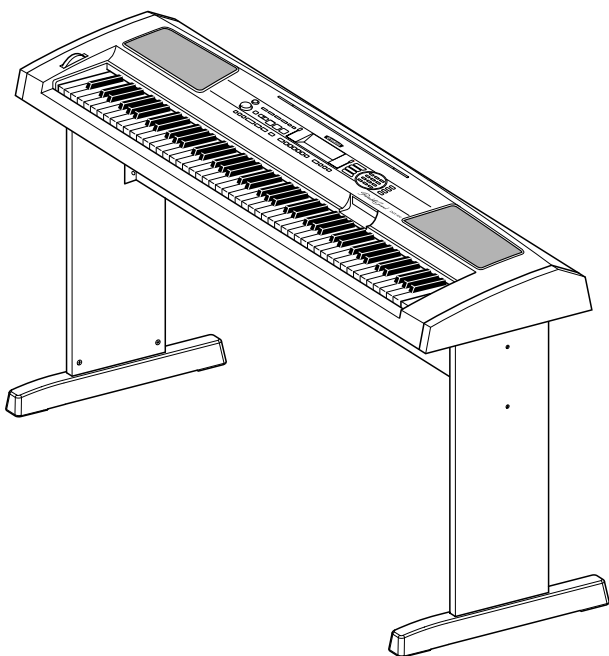
3 裏板を固定します。

裏板を 4 のネジで固定します。



・裏板を落としたり、金具部分に触れてけがをしないようにしてください。

4



4 スタンドに楽器をのせます。

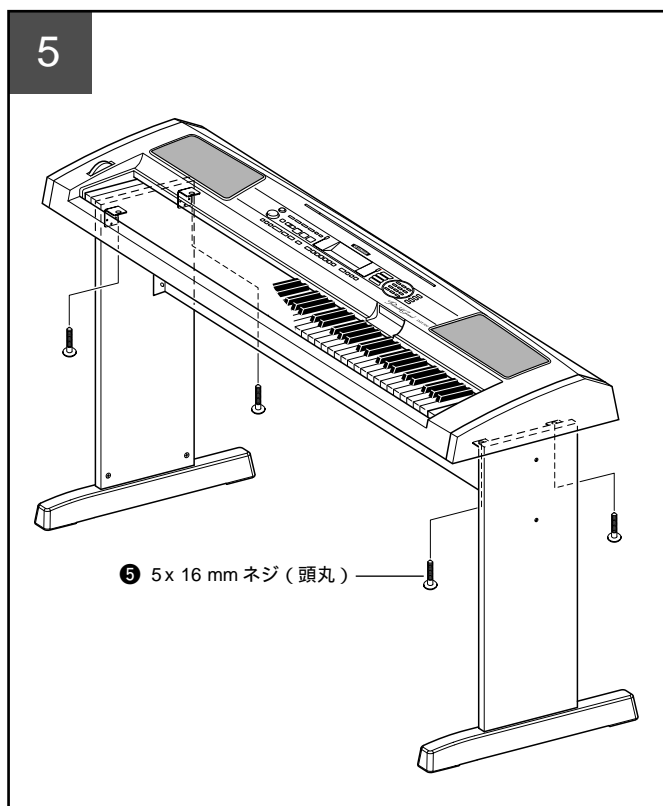
注意して楽器をスタンドにのせます。

⌋ 金具の穴と楽器の下側の穴が合うように、ゆっくりと楽器の位置を調節してください。



・指をはさんだり、楽器を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

5



5 楽器をスタンドに固定します。

5 のネジで楽器を固定します。

組み立てチェックリスト

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- ・ 部品が余っていませんか？
組み立て手順を再確認してください。
- ・ 部屋のドアなどにあたりませんか？
あたらない位置に移動してください。
- ・ 楽器 / スタンドがゆれませんか？
ネジを確実に締めてください。
- ・ 使用中に楽器がきしむ、横ゆれする、グラつくなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。



オプション(別売)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000
	HPE-30	¥3,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000
	FC5	¥1,500

DGX-500 には、フットスイッチ (FC5) が同梱されています。

MIDIケーブル	MIDI-03(3m)	¥1,100
----------	-------------	--------

商品の金額には、消費税は含まれておりません。



仕様一覧

鍵盤

- DGX-500...レギュラーサイズ 88 鍵
(A-1 ~ C7 : タッチレスボンス付)
- DGX-300...レギュラーサイズ 76 鍵
(E0 ~ G6 : タッチレスボンス付)

ディスプレイ

- 大型液晶ディスプレイ (バックライト付き)

セットアップ

- 電源 入 / 切スイッチ
- 全体音量コントロール : 大 ~ 小

コントロール

- メニュー [L], [R] ボタン、SONG ボタン、VOICE ボタン、STYLE ボタン、M.D.B. ボタン、グランドピアノボタン、スプリットボタン、メトロノームボタン、数字ボタン [0] ~ [9], [+], [-], デモボタン、タッチレスボンスボタン、ハーモニーボタン、デュアルボタン、コードディクショナリーボタン、[左手], [右手] ボタン、テンポ / タップボタン

楽器

- 楽器 122 音色 + 12 ドラムキット + 480XG 音色 + 5DJ
(最大同時発音数 32)

自動伴奏

- 135 伴奏 + ディスク
- 伴奏コントロール :
伴奏、シンクロストップ、シンクロスタート、スタート / ストップ、イントロ エンディング、メイン / フィルイン
- マルチフィンガリング
- 伴奏音量

YES (レッスン機能)

- ディクショナリー
- レッスン 1 ~ 4

ワンタッチセッティング

全体設定

- | | |
|----------------|--------------------|
| • トランスポーズ | • ハーモニー |
| • スタイル / ソング音量 | • リバーブ |
| • メトロノーム音量 | • DSP |
| • ピッチバンドレンジ | • 採点 オン / オフ |
| • チューニング | • レッスントラック 右手 / 左手 |
| • MIDI | • トラックオクターブ |

エフェクト

- リバーブ : 8 種類
- DSP : 38 種類
- ハーモニー : 26 種類

ソング

- ソング 100 曲 + ユーザーソング 5 曲
- ソングクリア、トラッククリア
- ソング音量

録音

- ソング
ユーザーソング : 5 曲
録音トラック : 1, 2, 3, 4, 5 / 伴奏

ディスク

- ソング再生、セーブ、ロード、デリート、フォーマット、左手 / 右手ガイドトラック選択、SMF セーブ / ロード

MIDI

- クロック
- ローカル オン / オフ
- イニシャルセンド

付属端子

- MIDI IN/OUT、FOOT SWITCH、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V

アンプ実用最大出力

- 電源アダプター PA-5D 使用時 : 6W + 6W (EIAJ)

スピーカー

- 12cm x 2 + 3cm x 2

電源

- アダプター : PA-5D
- 電池 : 単 1 乾電池 (1.5V) x 6

電池寿命

- DGX-500 : アルカリ電池で約 9 時間
 - DGX-300 : アルカリ電池で約 10 時間
- 電池寿命の測定方法 :
デモを 4 時間再生後、15 時間休止、4 時間再生の繰り返し
全体音量コントロールの位置は最大の 70%

消費電力

- 電源アダプター PA-5D 使用時 : 27W

寸法 (幅 x 奥 x 高 mm)

- DGX-500 : 1,380 x 430 x 173
- DGX-300 : 1,178 x 410 x 168

質量 (kg)

- DGX-500 : 14 (乾電池含まず)
DGX-500 同梱スタンド : 7.6
- DGX-300 : 10 (乾電池含まず)

付属品

- DGX-500 : 電源アダプター、譜面立て、和文シート、取扱説明書、ソングブック、保証書、スタンド、フットスイッチ、フロッピーディスク
- DGX-300 : 電源アダプター、譜面立て、和文シート、取扱説明書、ソングブック、保証書、フロッピーディスク

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。



インデックス

D			
DJ 楽器リスト	90		
DSP	33		
DSP タイプリスト	33, 96		
G			
GM	67		
GM システムレベル 1	79		
L			
LSB レシーブチャンネル	83		
M			
MIDI	78		
MIDI インプリメンテーションチャート	98		
MIDI 端子	9		
S			
SMF Format 0 でセーブ	72		
イ			
一時停止	52		
イニシャルセンド	82		
イントロ	44		
イントロシンクロスタート	37		
ウ			
ウェイティング	59		
エ			
エフェクトタイプリスト	96		
演奏の準備	8		
エンディング	45		
オ			
オクターブ	70		
オプション商品	105		
音符表示	22		
音量の調節	20		
カ			
外部出力端子	9		
各部の名称	10		
楽器	25		
乾電池	8		
ク			
グランドピアノ	23		
クロック	83		
コ			
コードタイプ (ディクショナリー)	41		
コード (和音)	42		
コード表示	22		
コーラスタイプリスト	100		
故障かな?と思ったら	101		
サ			
最大同時発音数	85		
採点	61		
サステイン	9		
シ			
システムメッセージ	79		
仕様	106		
小節表示	22		
初期化 (イニシャライズ)	84		
シングルフィンガー	39		
シンクロスタート	36		
ス			
数字ボタン	21		
スタート	36		
スタイルリスト	92		
ストップ	37		
スプリット	28		
スプリットポイント	28		
セ			
セーブ	70		
ソ			
ソング	51		
ソングクリア	65		
ソングコントロール	52		
ソングトラックの構成	62		
ソングレッスン	56		
ソング音量の調節	54		
タ			
タイミング	58		
タッチレスポンス	31		
タッチ感度	31		
チ			
チャンネルメッセージ	79		
チューニング	29		
テ			
ディクショナリー	41		
デモ	51		
デリート	74		
電源アダプター	8		
電源の準備	8		
テンポ	38, 53		
ト			
同梱ディスク	84		
トラック	62		
トラッククリア	66		
ドラムキット	25		
ドラムキットリスト	94		
トランスポーズ	29		
ハ			
パーソナルコンピューター	80		
ハーモニー	34		
ハーモニータイプリスト	97		
バックアップ	84		
早送り	52		
伴奏	35		
伴奏音量	43		
伴奏鍵域	35		
伴奏トラック	64		
ヒ			
ビート表示	22		
ピッチベンド	30		
拍子 (メトロノーム)	24		
フ			
フィンガード	39		
フォーマット	75		
フットスイッチ端子	9		
譜面立て	9		
プログラムチェンジ	85		
フロッピー (同梱ディスク)	84		
ヘ			
ヘッドフォン	9		
ホ			
ボースハンド	60		
保証とアフターサービス	108		
マ			
マイナスイオン	60		
巻戻し	52		
マルチフィンガリング	39		
メ			
メイン	44		
メトロノーム	23		
メトロノーム音量	24		
メニュー	20		
メロディトラック	63		
ユ			
ユーザー	63		
リ			
リアルタイム録音	63		
リタルダンド	45		
リバーブ	32		
リバーブタイプリスト	96		
ル			
ルート音 (ディクショナリー)	41		
レ			
レッスン	56		
ロ			
ローカルオン / オフ	81		
ロード	73		
録音	63		
ワ			
和文シート	9		
ワンタッチセッティング	26		

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1番1号 京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	TEL (03) 5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7(株)ヤマハミュージック神戸高松店内	TEL (087) 822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] CSセンター	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1	TEL (053) 465-1158

◆ ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-5272

● 受付日 月曜日～土曜日（日・祝日およびセンターの休業日を除く） ● 受付時間 10:30～19:00

● <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

国内楽器営業本部

EM営業統括部企画推進室 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5476

PA・DMI事業部

EKB営業部 CL・PK営業課 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

◆ インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

- ・ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>
- ・電子ピアノ/キーボードのホームページ <http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
- ・ヤマハマニュアルライブラリー <http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>
- ・「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」
ミュージックイークラブ・ドットコム <http://www.music-eclub.com/>
- ・よくあるご質問(Q&A/FAQ) <http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

ヤマハ株式会社